

地方独立行政法人
大阪府立環境農林水産総合研究所
「令和6事業年度に係る業務の実績に関する報告書」
添付資料集

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所

令和6事業年度に係る業務の実績に関する報告書 添付資料集

目 次

01	【数値目標1】受託研究の実績	1
02	【数値目標2】受託研究に対する利用者の総合評価	1
03	(参考) 共同研究の実績	1
04	【数値目標3】事業者からの技術相談	2
05	【数値目標4】事業者への情報発信実績	3
06	(参考) 主な情報発信ツールの一覧	4
07	【数値目標5】令和6年度における行政依頼事項に係る調査研究に対する大阪府からの総合評価	6
08	(参考) 令和7年度に実施する行政依頼事項	7
09	(参考) 行政支援に係る現地指導・モニタリング及び行政依頼検体分析	8
10	【数値目標6】農業大学校運営実績	10
11	【数値目標7】地域社会への貢献活動実績	12
12	(参考) 役員・委員等一覧	15
13	【数値目標8】報道資料の提供実績	20
14	(参考) 新聞掲載記事、テレビ・ラジオ放送、専門紙掲載記事	23
15	(参考) 所属学会・参加した学会等・公設試験研究機関等ネットワーク・客員研究員	27
16	(参考) 法人が参加するコンソーシアム	29
17	【数値目標9】競争的外部研究資金による調査研究課題の実施及び応募実績	31
18	(参考) 競争的資金へのチャレンジ支援研究	36
19	【数値目標10】競争的外部研究資金により実施する調査研究課題の外部有識者による総合評価	37
20	【数値目標11】学術論文及び学会発表等の実績	38
21	【数値目標12】セミナー、展示会、体験会等のイベントの開催実績	45
22	【数値目標13】外部からの講演・講義依頼の受諾実績	48
23	(参考) 知的財産保有状況	53
24	(参考) 法人職員が受講した研修及び取得した資格	56
25	(参考) 目的積立金使途計画及び実績	59

01【数値目標1】受託研究の実施件数（実績報告書 p8）

分野	第1期平均	第2期平均	第3期平均	R06
	(H24-27)	(H28-R01)	(R02-R05)	
環境・自然関連	1	2	4	3
農林関連	15	15	15	20
水産関連	2	1	4	8
食品関連	1	3	2	0
計	19	21	25	31
金額（千円）	9,070	12,581	39,456	34,155

※ 受託研究の具体的な内容は高度な秘匿性を有するため、非公表

02【数値目標2】受託研究利用者の総合評価（実績報告書 p8）

4段階評価 4：満足 3：概ね満足 2：やや不満 1：不満

受託研究利用者 アンケート	問1	問2	問3	問4	問5	問6
	職員態度	契約手続	報告書の提出時期	報告書の難易度	報告内容の水準	総合評価
クライアントA	4	4	4	4	4	4
クライアントB	4	3	3	4	3	4
クライアントC	4	3	3	4	4	4
クライアントD	4	4	3	4	3	4
クライアントE	4	4	4	4	4	4
クライアントF	4	4	4	4	4	4
クライアントG	4	4	4	4	4	4
クライアントH	4	4	4	4	4	4
クライアントI	4	4	4	4	4	4
クライアントJ	4	4	4	4	4	4
クライアントK	3	4	4	4	3	4
クライアントL	4	3	4	3	3	4
クライアントM	4	4	4	4	4	4
クライアントN	4	4	3	3	3	3
クライアントO	3	3	3	4	2	3
クライアントP	4	4	3	4	3	3
クライアントQ	4	4	4	3	4	4
クライアントR	4	3	3	3	4	3
クライアントS	4	4	4	4	4	4
クライアントT	4	4	4	4	4	4
クライアントU	4	4	4	3	3	3
クライアントV	4	3	4	4	4	3
クライアントW	4	4	4	4	4	4
平均値	3.9	3.7	3.7	3.8	3.6	3.7

※ 令和6年度に完了した受託研究のうち、アンケートの回答があったクライアントのみ記載

03（参考）事業者との共同研究の実施件数（実績報告書 p8）

分野	R06
環境・自然関連	1
農林関連	5
水産関連	1
食品関連	0
計	7

※ 共同研究の具体的な内容は高度な秘匿性を有するため、非公表

04【数値目標3】事業者からの技術相談件数（実績報告書 p10）

分野	第1期平均	第2期平均	第3期平均	R06
	(H24-27)	(H28-R01)	(R02-R05)	
環境関連	26	13	38	65
農林関連	89	103	134	134
水産関連	91	118	126	108
食品関連	154	218	159	169
生物多様性関連		28	31	54
その他		12	18	10
計	360	492	506	540

● 令和6年度 事業者からの技術相談件数の内訳

分野	事業者	農協	農業者	漁協	漁業者	その他	計
環境関連	58	0	0	0	0	7	65
農林関連	33	21	73	0	0	7	134
水産関連	44	0	1	17	35	11	108
食品関連	81	0	76	1	7	4	169
生物多様性関連	38	0	0	0	0	16	54
その他	7	0	1	0	0	2	10
計	261	21	151	18	42	47	540

05【数値目標4】事業者への情報発信実績（実績報告書 p12）

分野	第3期平均	R06
	(R02-R05)	
環境関連	59	69
農林関連	257	452
水産関連	410	417
食品関連	96	67
生物多様性関連	8	1
その他	13	1
計	844	1,007

● 令和6年度 事業者への情報発信の内訳

	報道	HP	メルマガ	Facebook	チラシ	個別	郵送	FAX	X(旧Twitter)	その他	計
環境研究部	0	7	25	0	1	0	0	0	39	9	81
食と農の研究部	4	39	34	10	1	5	0	0	0	6	99
水産研究部	1	190	0	0	0	65	13	54	83	0	406
農業大学校	0	1	3	1	3	0	0	0	66	66	140
企画部	0	0	280	0	0	0	0	0	0	1	281
計	5	237	342	11	5	70	13	54	188	82	1,007

06（参考）主な情報発信ツールの一覧（実績報告書 p12）

（１）危機管理情報（緊急性が高く、府民の健康や業に影響がある情報）

No.	名称と情報発信の方法	内 容	対 象 者 ＜配信登録者数＞	発信時期・頻度
1	大阪湾赤潮情報 （大阪湾赤潮速報・月別赤潮発生状況・ 有害プランクトン情報） Eメール 、 ホームページ	プランクトン観測結果 （赤潮・有害）	漁業関係者 行政関係者 一般府民	速報・有害：月２～５回 （年間 56 回） 月別：年 12 回
2	大阪湾貝毒原因プランクトン情報 Eメール 、 ホームページ	プランクトン観測結果 （貝毒）	漁業関係者 行政関係者 一般府民	月２～５回 （年間 56 回）
3	淀川河口域貝毒原因プランクトン情報 FAX 、 ホームページ	プランクトン観測結果 （貝毒）	漁業関係者 行政関係者 一般府民	８回（４、５月）、 ２回（３月）

（２）総合情報（研究所本体や各サイトのホームページも含む）

No.	名称と情報発信の方法	内 容	対 象 者 ＜配信登録者数＞	発信時期・頻度
1	大阪府立環境農林水産総合研究所 ホームページ	研究所の概要、研究内容、研究 成果、栽培技術情報、各種お知 らせ、施設紹介、イベント情報 など	農林漁業関係者 事業者 行政関係者 一般府民	常時（随時更新）
2	環農水研メルマガ（旧 大阪府環境農林 水産総合研究所メールマガジン） Eメール	研究所が実施する事業に関す る最新情報やイベントの案内 など	一般府民 行政機関等 ＜1,444＞	月０～４回 （年間 22 件）
3	環農水研フェイスブック フェイスブック	研究所からの各種お知らせ、研 究成果紹介など	農林漁業関係者 事業者 行政関係者 一般府民	随時 （年間 43 件）
4	おおさか気候変動情報メール配信サ ービス Eメール	環境技術に関する最新情報や 講習会の案内など	配信登録企業 ＜1,438＞	随時 （年間 25 件）
5	農業大学校 ホームページ 、報道提供	農業大学校の課程・施設・行事 などの概要、募集案内、無料職 業紹介事業など	農業関係者 事業者 一般府民	常時（随時更新） ・学生募集：11 月、1 月 ・短期実践課程募集 10 月 ・農業入門講座募集 8、1 月
6	水産技術センター ホームページ	水産技術センターの概要、大阪 府の漁業概要、大阪湾の海況、 大阪湾の生きものの紹介、イ ベント情報など	漁業関係者 行政関係者 一般府民	常時（随時更新）
7	生物多様性センター ホームページ	生物多様性センターの概要、イ ベント情報、府内の生物多様性 などに関する情報など	事業者 行政関係者 一般府民	常時（随時更新）
8	おおさか気候変動適応センター ホームページ	大阪府内の気候変動の影響や 適応に関する科学的知見やイ ベントの情報など	事業者 行政関係者 一般府民	常時（随時更新）
9	水産技術センター・メールマガジン Eメール	研究所主共催のイベント情報、 貝毒発生状況、ホームページ更 新情報、水産技術センターのイ ベント情報など	一般府民等 ＜417＞	随時（年間 3 件）
10	おおさか生物多様性リンク・メーリン グリスト Eメール	「おおさか生物多様性リンク」 連携団体に係るイベント情 報、生物多様性に関する情報 共有、取り組み相談など	「おおさか生物多様性リ ンク」連携 11 団体	随時（年間 11 件）

（３）技術普及および技術支援情報（各種公表データ）

No.	名称と情報発信の方法	内 容	対 象 者 ＜配信登録者数＞	発信時期・頻度
1	過去に寄せられたよくある質問 ホームページ	府民から寄せられた代表的な 技術相談の QA	一般府民 NPO 行政関係者等	常時（随時更新）
2	環境技術コーディネート事業 ホームページ	在阪企業の環境分野における 技術開発を関係機関との連携 体制でサポートする事業	事業者	常時（随時更新）
3	省エネ・省 CO ₂ 相談窓口 ホームページ	中小事業者の省エネルギーの 取組支援を通じて温暖化対策 を推進する相談窓口	事業者	常時（随時更新）

No.	名称と情報発信の方法	内 容	対 象 者 ＜配信登録者数＞	発信時期・頻度
4	環境調査・検査業務に係る技術認定制度 <u>ホームページ、報道提供</u>	環境調査・検査業務の適正な履行を確保するため、これらの業務を受託しようとする事業者の技術的適性の認定制度	事業者	常時（随時更新）
5	微小粒子状物質（PM _{2.5} ）成分分析 <u>ホームページ</u>	微小粒子状物質（PM _{2.5} ）成分分析の結果	行政関係者 一般府民	年 1 回
6	防除マニュアルの公開 <u>ホームページ</u>	「赤色 LED によるアザミウマ類防除マニュアル」を公開	農業指導者等	常時（随時更新）
7	水稻栽培技術情報 <u>ホームページ</u>	新奨励品種情報、水稻栽培の手引き、水稻奨励品種特性表など	農業関係者 行政関係者 教育関係者	常時（随時更新）
8	研究所露地デラウェアのジベレリン（GA）処理適期情報 <u>ホームページ</u>	研究所内の露地デラウェアの展葉枚数の調査に基づく、デラウェアのジベレリン処理適期予測	農業関係者	年 5 回（4 月）
9	研究所露地デラウェアの発芽日予測 <u>ホームページ</u>	気温による発育予測モデルを用いた、研究所露地デラウェアの発芽日予測	農業関係者	年 4 回（3 月）
10	おおさかアグリメール <u>Eメール</u>	大阪府内主要農作物の栽培技術情報、気象情報、市況、各種お知らせ（府の施策等）など	農業関係者 行政関係者など ＜1,009＞	随時 （年間 210 件）
11	食と農研究ニュース <u>ホームページ、メールマガジン</u>	食と農の研究部の研究成果の発表	農業関係者 行政関係者など	年 4 回
12	食品技術ニュース <u>Eメール</u>	食品関連事業者向けの当研究所の設備利用や技術支援の制度、研究成果発表、イベント・セミナーの案内など	事業者 農林漁業関係者 行政関係者 ＜288＞	月 0 ～ 2 回及びイベント案内などの情報提供は随時（8 回）
13	緑化技術研修会の案内 <u>ホームページ、Eメール、</u> <u>通送、報道提供</u>	緑化技術研修会の開催案内	行政関係者 教育関係者 一般府民	随時（年 2 回）
14	漁況通報 <u>ホームページ、郵送、通送</u>	主な魚介類の種別漁獲量	漁業関係者 行政関係者 一般府民 （郵送・通送 37 カ所）	月 1 回
15	藻類養殖情報 <u>ホームページ、郵送、FAX</u>	ノリ・ワカメ養殖に関する情報	漁業関係者 行政関係者 （郵送 5 カ所、FAX 2 カ所）	月 1 回 （11 ～ 3 月）
16	大阪湾水温速報 <u>ホームページ、FAX</u>	水温定置観測結果	漁業関係者 行政関係者 一般府民 （FAX 26 カ所）	毎日 （FAX は毎週月曜日）
17	大阪湾全域水温速報 <u>FAX</u>	水温観測結果	漁業関係者 （26 カ所）	月 2 回
18	大阪湾貧酸素水塊分布情報 <u>ホームページ</u>	貧酸素水塊の発生状況モニタリング結果	漁業関係者 行政関係者 一般府民	月 2 ～ 5 回 （4 ～ 10 月）
19	大阪湾カタクチイワシ卵稚仔情報 <u>ホームページ、FAX、Eメール</u>	カタクチイワシ卵稚仔の採集状況	漁業関係者 行政関係者 一般府民 （FAX、Eメール 41 カ所）	月 1 回
20	大阪湾シラス情報（速報） <u>FAX</u>	シラス全長組成情報	漁業関係者 （13 カ所）	月 2 ～ 3 回 （1、3 月はなし）
21	大阪湾シラス・イカナゴ新子（しんこ）漁況予報 <u>ホームページ、FAX</u>	シラス漁・イカナゴ漁に関する情報	漁業関係者 行政関係者 一般府民 （FAX：イカナゴ 36 カ所、シラス 29 カ所）	5・9・11・2 月
22	生物・植物図鑑 <u>ホームページ</u>	大阪湾や府内の魚類や水草、両生類、甲殻類、外来種などの情報	事業者 行政関係者 一般府民	常時
23	直売切り花技術情報 <u>ホームページ</u>	直売切り花技術マニュアル	農業関係者 一般府民	常時
24	気候変動適応の関連情報 <u>ホームページ</u>	適応関連の研究成果、日常生活の中で役立つ適応、気候リスク管理、適応ビジネスに関する情報	農林漁業関係者 事業者 行政関係者 一般府民	常時

07【数値目標5】令和6年度における行政依頼事項に係る調査研究に対する大阪府からの総合評価

(実績報告書 p15-16)

4段階評価 4：大変よい 3：標準的 2：やや不十分 1：不十分

部会名	分野	課題名	評価項目
			到達水準
みどり・森林部会	みどり	公園や街路樹のサクラ等におけるクビアカツヤカミキリの防除技術の普及啓発支援	3
		府内における生物多様性の普及啓発支援	3
環境部会	環境	反応性大気汚染に関する研究	3
		河川における水生生物生息状況等調査データの集積	3
		産業廃棄物最終処分場等からのPOPs浸出実態の把握	3
		大阪湾における窪地埋戻しに関する研究	3
		大阪湾の湾奥部における水質改善（底層D0・栄養塩）に関する研究	3
農政・食品部会	野菜	データ駆動型スマート農業技術の現場導入に向けての技術確立	3
		きゅうりの黄化えそ病および退緑黄化病対策について	3
	果樹	研究所育成品種ぶどうの栽培方法の確立	4
		大阪府特産生食用及び醸造用ぶどう品種の選抜・育成	3
		くり立ち枯れ症状の原因と対策の探求	3
		いちじく株枯病抵抗性台木「励広台1号」の普及および経年調査	3
	花き	切り枝花木類の鮮度保持法及び開花調節技術の開発	3
	水稲	水稲の高温障害対策について	3
農大	多様な担い手育成に係る新たな入門講座の開設検討	4	
水産部会	水産	府民の健康や生命、財産を守るための緊急対応（有毒プランクトン）に関する調査・研究	4
		大阪府域における持続可能な資源管理型漁業の推進に関する調査・研究	4
		水産資源の回復・維持と漁業生産の向上をめざした栽培漁業技術開発に関する調査研究	4
		大阪府沿岸域に存在する藻場における炭素貯留効果の実態把握のための調査	4
		養殖技術の調査研究及び漁業者等への養殖技術の指導	4
野生動物部会・畜産部会	畜産	畜産環境保全対策の技術支援	4
		府内の飼養環境に適応した乳用牛群の改良に関する研究	4
	野生動物	ヌートリアのモニタリング調査	3
		アライグマのモニタリング調査	4
		野生鳥獣のモニタリング調査	4
平均			3.42

08（参考）令和7年度に実施する行政依頼事項（実績報告書p15-16）

みどり・森林部会

課題番号	課 題 名
みどりー1	公園や街路樹のサクラ等におけるクビアカツヤカミキリの防除技術の普及啓発支援
みどりー2	府内における生物多様性の普及啓発支援

環境部会

課題番号	課 題 名
環境ー1	反応性大気汚染に関する研究
環境ー2	河川における水生生物生息状況等調査データの集積
環境ー3	産業廃棄物最終処分場等からのPOPs浸出実態の把握
環境ー4	大阪湾における窪地埋戻しに関する研究
環境ー5	大阪湾の湾奥部における水質改善（底層D0・栄養塩）に関する研究
環境ー6	大阪府の石綿濃度測定方法への電子顕微鏡法追加の検討

農政・食品部会

課題番号	課 題 名
野菜ー1	データ駆動型スマート農業技術の現場導入に向けての技術確立
野菜ー2	きゅうりの黄化えそ病および退緑黄化病対策について
野菜ー3	泉州地域特産野菜の高温対策技術の確立
果樹ー1	研究所育成品種ぶどうの栽培方法の確立
果樹ー2	大阪府特産生食用及び醸造用ぶどう品種の選抜・育成
果樹ー3	いちじく株枯病抵抗性台木「励広台1号」の普及および経年調査
花きー1	切り枝花木類の鮮度保持法及び開花調節技術の開発
花きー2	花き栽培における温暖化対策技術の確立
水稲ー1	水稲の高温障害対策について
農産加工ー1	きくなの一次加工品の品質向上

水産部会

課題番号	課 題 名
水産ー1	府民の健康や生命、財産を守るための緊急対応（有毒プランクトン）に関する調査・研究
水産ー2	大阪府域における持続可能な資源管理型漁業の推進に関する調査・研究
水産ー3	水産資源の回復・維持と漁業生産の向上をめざした栽培漁業技術開発に関する調査研究
水産ー4	大阪府沿岸域に存在する藻場における炭素貯留効果の実態把握のための調査
水産ー5	養殖技術の調査研究及び漁業者への養殖技術の指導
水産ー6	未利用・低利用資源の有効活用について

畜産・野生動物部会

課題番号	課 題 名
畜産ー1	畜産環境保全対策の技術支援
畜産ー2	府内の飼養環境に適応した乳用牛群の改良に関する研究
野生動物ー1	ヌートリアのモニタリング調査
野生動物ー2	アライグマのモニタリング調査
野生動物ー3	野生鳥獣のモニタリング調査

09 行政支援に係る現地技術指導、モニタリング及び依頼検体の分析(実績報告書 p16-17,p20)

(1) 現地指導

No	内 容	場 所 (回 数) 等
1	クビアカツヤカミキリ発生状況確認への現地対応	17回
2	ため池養殖業者への魚病・外来種対策巡回指導と魚病検査用個体の採取	2 地点 (2 回)
3	釣り堀事業者への魚病指導、水産用医薬品指導	1 地点 (1 回)
4	吉見早生タマネギの採種方法の実演、および注意点などについての意見交換会	研究所 (2 回)
5	アイリス切り花の貯蔵技術に関する現地指導	JA大阪泉州南部営農センター (3 回)
6	豊能花木研究会勉強会：切り花花木の鮮度保持技術	JA大阪北部桜井谷支店 (1 回)
7	農作物の生育障害について	6 回
8	農産物の病害虫の診断及び防除の助言について	104回
9	シャインマスカット現地巡回指導	計23地点
10	ブドウ園微量要素欠乏について	1 地点
11	デラウェア排水不良圃地指導	2 地点
12	水産防疫対策要綱に基づく着地検査 (バナメイエビ)	3 カ所
13	養殖および生食についての指導および意見交換	研究所 (1 回)
14	貝毒簡易検査勉強会	大阪府漁連 (1 回)
15	貝毒簡易検査技術指導	大阪府鯉巾着網漁協事業部 (1 回)
16	メイトガレイ巡回指導	尾崎漁協 (2 回)、岸和田漁協 (1 回)、泉佐野漁協 (1 回)、深日漁協 (1 回)、計 5 回
17	ワカメ種系生産指導	谷川漁協 (11月から12月の週 1 回、計 8 回)
18	牡蠣養殖指導	志岡漁協、春木漁協、泉佐野漁協、岡田浦漁協、尾崎漁協、深日漁協、小島漁協、大阪府鯉巾着網漁協 (計48回)
19	藻類養殖指導	田尻漁協、岡田浦漁協、尾崎漁協、西島取漁協、下荘漁協、谷川漁協 (11月から3月の月 1 回、計30件)
20	有害有毒プランクトン発生時および魚類斃死発生時の現地確認およびプランクトン検鏡	0 回

(2) モニタリング調査

No	名 称	内 容
1	微小粒子状物質 (PM _{2.5}) 成分分析	1 地点、年 4 季×16日、53項目
2	有害大気汚染物質モニタリング調査	6 地点、月 1 回、最大22項目
3	野生鳥獣のモニタリング調査	各種モニタリングデータの解析・野外調査
4	アライグマのモニタリング調査	捕獲データ・農業被害アンケートデータの解析
5	ヌートリアのモニタリング調査	捕獲データ・農業被害アンケートデータの解析
6	環境及び生物モニタリング調査	環境調査および生物調査 (魚類・底生動物・付着藻類)
7	農作物病害虫の発生モニタリング調査	発生予察巡回調査 計47回
8	土壌のモニタリング調査	現地調査、土壌分析 計22回
9	大阪湾・淀川河口域の貝毒原因プランクトンモニタリング調査	大阪湾：月 2 ～ 5 回、計52回、淀川河口域：5 回
10	生物モニタリング調査	大阪湾のベントスモニタリング (年 2 回)
11	大阪湾貧酸素水塊モニタリング	大阪湾の貧酸素水塊モニタリング (月 4 ～ 5 回、計27回)
12	漁業資源モニタリング調査	大阪湾の漁業資源のモニタリング (月10日ほど、計71回)
13	牡蠣養殖場環境モニタリング	西島取漁協 (月 1 回ほど、計10回)、深日漁協 (計 4 回)
14	藻類養殖環境モニタリング	7 地点 (月 1 回)

(3) 依頼検体の分析

No	事 例	検 体 数
1	建築物解体工事等に伴うアスベスト分析	大気：21件 84検体
2	廃棄物焼却炉等の排ガス中のダイオキシン類分析	6
3	ダイオキシン特措法の特定施設からの排水中のダイオキシン類分析	1
4	ごみ焼却施設等からの燃えがら・ばいじん中のダイオキシン類分析	9
5	ダイオキシン類の環境基準超過河川における原因特定及び汚染範囲確定の調査・分析	14
6	ばい煙等発生施設からの排ガス中のVOC、水銀及び有害物質の分析	19
7	千里川におけるヒ素の継続監視分析	4
8	自然海浜保全地区の水質検査 (窒素、リン等)	10
9	ゴルフ場排水の農業検査	10
10	地下水・用水中のPF0A	8

No	事 例	検 体 数
11	地下水・河川水中のPF0A及びPF0S等、イオン成分等	13
12	農空間整備事業に係るため池・農業用水路の水質分析	25
13	エコ農産物および直売所農産物の残留農業分析	36
14	異常水質に伴う原因究明調査	1
15	クロスチェック（公共用水域調査ほか）	30
16	石綿環境モニタリングの精度管理にかかるアスベスト分析	2
17	環境中のVOCの測定	1地点、月1回、25項目
18	異常水質等、魚類へい死事故発生時の魚病検査魚病の所内検査	0
19	コイヘルペスウイルス病の検査（診断）	0（7）
20	農作物の生育障害診断のための無機成分分析	32
21	土壌改良のための無機成分分析	花壇苗土壌（計13検体）、水5検体
22	有機質資材（牛ふん堆肥等）安定供給のための成分分析	堆肥（計9件）
23	畜産経営安定対策推進事業における飼料分析	飼料1検体
24	バイオ炭の電子顕微鏡観察	炭3検体
25	肥料の登録申請に係る肥料見本の分析	2検体

10 【数値目標6】 農業大学校運営実績(実績報告書 p23-25)

(1) 養成科コース

① 新入生の志願者・入学者状況

入学年度	R03	R04	R05	R06
志願者数	28	20	31	26
入学者数※ ¹	18 (3)	18 (2)	23 (9)	17 (6)
うち女子	4	1	8	4
充足率(%)	76	76※ ²	92	68
平均年齢	20.3	25.1	28.3	27.2

※¹入学定員 25 名。括弧内は短大、大学、大学院の卒業生数。

※²原級留置 1 名を含む。

② 履修時間

1 学年 学科 400 時間、実習 570 時間、課外学習・研修 88 時間で合計 1,058 時間

2 学年 学科 400 時間、実習 540 時間、課外学習・研修 60 時間で合計 1,000 時間

③ 履修科目

1 学年 作物・果樹・野菜・花きなど 12 科目

2 学年 農業経営、マーケティング論、農産加工など 16 科目

④ 実習

1 学年 農場実習：農大教育ほ場及び各研究部門での技術実習と販売実習

農家実習：先進的な農家である大阪府「農の匠」宅等での農作業

2 学年 専攻実習：農大教育ほ場及び当研究所の研究部での卒業論文

⑤ 卒業生の就農・農分野での就職意向

卒業年度	R03	R04	R05	R06
入学者数	24	18	18	23
卒業生数	19	14	14	18
就農・農分野での就職を希望した者	15	14	12	17
うち就農・農分野で就職した者	15	14	12	17
就職率(%)※ ¹	100	100	100	100

※¹養成科卒業生のうち、就農就職を希望する者の農業関係就職率

⑥ 卒業生の進路(就農就職者のみ)

卒業年度	R03	R04	R05	R06
自営就農	1	1	0	1
新規就農	0	2	2	6
雇用就農	9	5	5	7
就職 (JA)	2	0	0	1
関連企業等	3	6	7	2

(2) 短期プロ農家養成研修集中講座・農業入門講座

講座別の応募・受講状況

年 度	R04			R05			R06		
コース ／分野	集中講座		入門 講座	集中講座		入門 講座	集中講座		入門 講座
	野菜	果樹		野菜	果樹		野菜	果樹	
応募者数	63	44	61	28	30	29	22	20	52
受講者数	20	16	40	20	16	29	20	16	33

【備考】募集定員は野菜 20 名、果樹 16 名、入門 40 名(年 2 回、各 20 名募集)

(3) 無料職業紹介

厚生労働大臣の許可制である無料職業紹介所を開設（H24 年 9 月 1 日許可）し、養成科コースの学生を対象に、農業生産法人や JA 等農業関連企業への就職を斡旋

農業大学校への募集件数の推移

R03 年度：41 件 → R04 年度：45 件 → R05 年度：48 件 → R06 年度：49 件

11【数値目標7】地域社会への貢献活動実績（実績報告書 p29）

No.	依頼元	対応種別	内 容	実 施 日
1	大阪公立大学	委員等派遣	非常勤講師	
2	大阪府学校農業クラブ連盟	委員等派遣	大阪府学校農業クラブ連盟研究発表会審査員	
3	大阪府立農芸高等学校	委員等派遣	農芸高等学校学校協議会委員	
4	神於山保全活動推進協議会	委員等派遣	協議会会員	
5	同志社大学	委員等派遣	嘱託講師（1）	
6	同志社大学	委員等派遣	嘱託講師（2）	
7	明治の森箕面自然休養林管理運営協議会	委員等派遣	委員	
8	岸和田市教育委員会	委員等派遣	令和6年度岸和田市立きしわだ自然資料館専門員	
9	水辺に親しむ会	委員等派遣	例会出席	
10	大阪生物多様性保全ネットワーク	委員等派遣	専門委員	
11	京都大学	サンプル・データ提供	実験に使用する海水の提供	2024年5月8日
13	大阪成蹊大学	サンプル・データ提供	共同で行うマイワシの減塩レシピ開発	2024年7月25日 2024年9月6日 2024年9月10日 2024年9月20日 2025年2月28日
12	大阪成蹊大学	サンプル・データ提供	共同で行う泉州きくなの減塩レシピ開発	2024年9月6日 2024年9月24日
14	ボランティアグループ	施設の提供	福祉農園でのボランティア活動及び社会福祉法人等の受け入れ、活動支援（通年の活動、毎週金曜日）	2024年4月5日
15	相愛大学	施設の提供	おからの乾燥および粉末化	2024年10月4日
16	市民団体	その他	園芸活動を通じた自立支援（ボランティア活動への参加を受け入れ）	毎週金曜日
17	京都大学	その他	研究所が参画する環境研究総合推進費S-21について、テーマ3の京都大学の研究チームが大阪の都市公園で実施するアンケート調査についてコメント提供（オンライン会議） ・アンケート調査項目の追加アドバイス ・城北公園付近で生物多様性保全活動を行っているイタセンネットによるアンケート協力 ・公園でのアンケート実施に際しての許可等や申請窓口の紹介など	2024年4月19日
19	NPO法人	視察・見学受入	水産技術センターの見学	2024年5月22日
18	NPO法人	視察・見学受入	水産技術センターの業務紹介と大阪漁業についての講義、栽培漁業センターの見学解説を実施	2024年7月8日
20	NPO法人	視察・見学受入	生物多様性センターの見学と研修、もんどり・昆虫採集体験	2024年10月16日
21	NPO法人	視察・見学受入	生物多様性センターの見学と研修	2024年12月11日
22	大阪府立大手前高校	視察・見学受入	生物多様性センターの見学と研修	2024年12月6日
23	大阪府立園芸高等学校	視察・見学受入	葡萄に関する研修受け入れ	2024年8月28日
25	市民団体	視察・見学受入	生物多様性センターの見学と研修	2024年6月6日
26	市民団体	視察・見学受入	水産技術センターの見学とプランクトン観察	2024年11月15日
28	市民団体	視察・見学受入	寝屋川の生きものについて	2025年1月27日
24	市民団体	視察・見学受入	大阪産（もん）及び6次産業化に関する研究の取組みについて紹介	2025年3月12日
27	市民団体	視察・見学受入	水産技術センターの見学と研修	2025年3月31日
29	一般府民	視察・見学受入	所内イチジク園場の視察	2024年11月28日
30	河内長野市立小学校	視察・見学受入	河内長野市小学校教員の社会科部員に対し、大阪の漁業に関する講義と水産技術センターの業務紹介、場内の見学解説を実施	2024年8月7日
31	京都教育大学	視察・見学受入	生物多様性センターの見学と研修	2024年12月4日
32	近畿大学	視察・見学受入	環境管理学専門実験・実習において、水産技術センター見学対応を実施	2024年11月8日
33	熊本県立御船高校	視察・見学受入	生物多様性センターにおける外来生物対策および普及展示状況の視察	2025年2月13日

No.	依 頼 元	対応種別	内 容	実 施 日
34	公立鳥取環境大学	視察・見学受入	大阪ぶどうネットワークの取組み状況に関する聞き取り調査及びワイナリー見学	2025年1月31日
35	寝屋川市立北小学校	視察・見学受入	生物多様性センターの見学と研修	2024年11月15日
36	摂南大学	視察・見学受入	生物多様性センターの見学と研修	2024年12月3日
37	摂南大学	視察・見学受入	生物多様性センターの見学と研修	2025年1月7日
38	泉南市中学校教育研究会 理科部会	視察・見学受入	泉南市中学校の理科教員に対し、大阪の漁業と環境変化に関する講義、水産技術センターの業務紹介、場内の見学解説を実施。	2024年10月23日
39	泉南市立西信達中学校	視察・見学受入	翌月の見学・研修に先立ち下見の対応を実施	2024年9月20日
40	大阪ECO動物海洋専門学校	視察・見学受入	見学対応や以下の講義、実習を実施 ・生物多様性とは ・イタセンバラ保護活動 ・場内管理、魚類等の飼育管理 ・昆虫相調査、ダニ調査 ・森林調査	2024年5月18日から 2024年5月22日
41	大阪ECO動物海洋専門学校	視察・見学受入	見学対応や以下の講義、実習を実施 ・生物多様性とは ・二枚貝計測 ・場内管理 ・機械学習、試料計測、分析 ・昆虫相調査、ダニ調査 ・哺乳類自動撮影カメラ解析 ・森林調査	2024年8月19日から 2024年8月23日
42	大阪はびきの観光局	視察・見学受入	羽曳野市教育旅行プログラムの一環として倉吉西高校の施設見学を受入れ	2024年10月24日
43	大阪教育大学	視察・見学受入	森林・林業についての研修	2025年1月22日
44	大阪公立大学	視察・見学受入	生物多様性センターで行っている在来種保護と外来種防除、普及広報活動などを紹介した後に、淀川の環境変化と在来魚種の減少、外来魚種の増加などを講演	2024年10月15日
46	大阪公立大学	視察・見学受入	水産技術センターでの共同研究打ち合わせ会議の後、見学の対応を実施	2024年4月30日
47	大阪公立大学	視察・見学受入	大阪大学に世界各地から来ている国費留学生に対し、水産技術センターの業務紹介、場内の見学解説、栽培漁業に関するレクチャーを実施	2024年10月29日
45	大阪公立大学	視察・見学受入	所内醸造用ブドウ園場の見学	2025年1月10日
48	大阪産業大学	視察・見学受入	生物多様性センターの見学と研修	2024年11月26日
49	大阪電気通信大学	視察・見学受入	生物多様性センターの見学と研修	2024年4月26日
50	大阪電気通信大学	視察・見学受入	生物多様性センターの見学と研修	2024年8月2日
51	大阪府立藤井寺支援学校	視察・見学受入	障がいのある児童に対する農業体験プログラムの提供	2024年5月23日
52	大阪府立藤井寺支援学校	視察・見学受入	障がいのある児童に対する農業体験プログラムの提供	2024年9月26日
53	大阪府立藤井寺支援学校	視察・見学受入	障がいのある児童に対する農業体験プログラムの提供	2024年10月31日
54	大阪府立岬高等学校	視察・見学受入	岬高校マリンアドベンチャー系の3年生に対し、日本と大阪府の漁業概要を説明し、栽培漁業センター内を案内、解説	2024年6月21日
55	尼崎市中学校技術科研究会	視察・見学受入	尼崎市の中学校技術科教員に対し、大阪の漁業と環境変化に関する講義と水産技術センターの業務紹介、場内の見学解説を実施	2024年8月8日
56	放課後等デイサービス	視察・見学受入	生物多様性センターの見学	2024年11月18日
57	立命館高等学校	視察・見学受入	大気環境の調査研究に関する手法や機器等の見学・説明及び生徒の大気環境研究に対する助言	2024年9月24日
58	阪南市立朝日小学校	資機材貸出	ウミホタル観察(観察用具の貸出)	2024年7月19日
59	阪南市立東鳥取小学校	資機材貸出	ウミホタル観察(観察用具の貸出)	2024年9月14日 (機材貸出期間は 9月11から17日)
60	OSAKAビジネスフェア2024	展示会出展	省エネ・省CO2相談窓口業務の紹介、省エネ手法の情報発信	2024年11月22日

No.	依 頼 元	対応種別	内 容	実 施 日
61	ビジネスマッチングフェア2024	展示会出展	省エネ・省CO2相談窓口業務の紹介、省エネ手法の情報発信	2024年6月11日 2024年6月12日
62	茨田イチョウ祭実行委員会	展示会出展	センター紹介パネルの展示	2024年11月24日
63	株式会社新興出版社啓林館	展示会出展	食と科学のふしぎ博in堺	2024年11月16日
64	松下記念病院	展示会出展	防災グッズ体験をテーマとしたブースの出展	2024年5月25日
65	寝屋川市の自然を学ぶ会	展示会出展	毎年恒例の展示会(寝屋川市の自然環境に関連する諸団体の共同出店)に協力し、展示物を貸与	2025年2月19日から 2025年2月25日
66	大阪信用保証協会	展示会出展	OSAKAビジネスフェア2024(食品に関する技術支援制度・これまでの開発支援商品の紹介)	2024年11月22日
67	大阪府	展示会出展	Welcoming アベノ・天王寺 おおさかもん祭り Road to EXPO 2025	2024年11月9日 2024年11月10日
68	第19 回食育推進全国大会大阪府実行委員会事務局	展示会出展	ワクワクEXPO with 第19 回食育推進全国大会	2024年6月1日 2024年6月2日
69	桃源郷田原旧暦七夕まつり実行委員会	展示会出展	センター紹介パネル等の展示	2024年8月24日
70	日本ヒートアイランド学会	展示会出展	第19回日本ヒートアイランド学会全国大会におけるヒートアイランド対策技術コンソーシアムとしての展示会出展	2024年9月28日 2024年9月29日
71	富田林中学校・高等学校	展示会出展	富田林中学校・高等学校地域フォーラム2024(SSH地域研究フォーラム)でのブース出展	2025年2月8日
72	大阪府内7信用金庫、大阪府信用金庫協会	展示会出展	ビジネスマッチングフェア2024(食品に関する技術支援制度・これまでの開発支援商品の紹介)	2024年6月11日 2024年6月12日

12 (参考) 役員・委員等一覧

所 属	No	依 頼 元	役 職 名
役員・総務部・企画部	1	西日本農業研究センター 近畿中国四国農業研究推進会議	評議員
	2	大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課	大阪府環境審議会幹事
	3	大阪府環境農林水産部水産課	豊かな海づくりプラン推進懇話会委員
	4	一般財団法人大阪府みどり公社	大阪府地球温暖化防止活動推進センター運営委員会委員
	5	日本水環境学会	セミナー部会委員
	6	環境省	環境技術実証事業検討委員（湖沼等水質浄化技術分野）
	7	一般社団法人日本食品保蔵科学会	代議員
環境研究部	8	国土交通省淀川河川事務所	淀川イタセンバラ検討会委員
	9	国土交通省淀川河川事務所	淀川環境委員会委員
	10	国土交通省淀川河川事務所	淀川管内河川レンジャー運営会議委員
	11	国土交通省淀川河川事務所	淀川管内河川レンジャー代表者会議委員
	12	環境省近畿地方環境事務所野生生物課	淀川水系アユモドキ生息域外保全検討委員会専門委員
	13	環境省中部地方環境事務所	木曽川水系イタセンバラ保護協議会委員
	14	環境省	環境汚染事故への対応強化に関する検討会 検討委員
	15	環境省	水域の生活環境動植物登録基準設定検討会 検討委員
	16	環境省	PFAS対策技術等に関する実証運営会議 委員
	17	山梨県	明野処分場水質予測検討委員会 委員
	18	岡山県吉備中央町	吉備中央町原因究明委員会 委員
	19	環境省	光化学オキシダント等総合対策推進検討会
	20	環境省	第5次レッドリスト改定作業に係るアジメドジョウ評価判定員
	21	環境省	城北わんどイタセンバラ協議会
	22	環境省気候変動適応室	中央環境審議会地球環境部会 気候変動影響評価・適応小委員会
	23	瀬戸内海水環境研会議	構成機関
	24	瀬戸内海水環境研会議	瀬戸内海水環境研会議実行委員
	25	特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議	企画委員
	26	特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議	瀬戸内海運営フォーラム運営委員
	27	琵琶湖・淀川流域圏再生協議会	水辺の生態系保全再生・ネットワークWGメンバー
	28	大阪府商工労働部中小企業支援室	大阪府経営革新計画承認等審査会委員
	29	大阪府教育委員会	府立富田林高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導 委員会委員
	30	大阪府都市整備部河川室河川整備課	大阪府河川整備審議会委員
	31	大阪府環境農林水産部 環境管理室環境保全課	環境影響評価連絡会審査部会担当者
	32	大阪府環境農林水産部水産課	大阪府内水面漁場管理委員会アドバイザー

所 属	No	依 頼 元	役 職 名
環 境 研 究 部	33	大阪府環境農林水産部水産課	大阪府内水面漁場管理委員会オブザーバー
	34	大阪府安威川ダム建設事務所	安威川ダムの自然環境保全対策等に関する懇話会員
	35	能勢町	大阪府内水面漁業連絡協議会オブザーバー
	36	枚方市	環境審議委員
	37	寝屋川市	寝屋川市環境保全審議会委員
	38	堺市	生物多様性地域戦略改定懇話会委員
	39	堺市	令和6年度堺市生物多様性ネットワーク会議構成員
	40	和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会	WGメンバー
	41	大東市	大東市史跡飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会 委員
	42	四條畷市	四條畷市史跡飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会 委員
	43	認定NPO法人 大阪生物多様性保全ネットワーク	専門委員
	44	明治の森箕面自然休養林管理運営協議会	委員
	45	神於山保全活動推進協議会	協議会会員
	46	公益財団法人大気環境学会	近畿支部運営幹事
	47	公益財団法人大気環境学会	近畿支部運営幹事
	48	公益財団法人大気環境学会	編集委員
	49	公益財団法人大気環境学会	気候変動研究会幹事
	50	日本農業気象学会	近畿支部幹事
	51	公益社団法人日本水環境学会	関西支部理事兼幹事
	52	公益社団法人日本水環境学会	水環境文化賞選考委員会 主幹事
	53	公益社団法人日本水環境学会	産官学委員会 幹事
	54	公益社団法人日本水環境学会	JWET（英文誌）部会 委員
	55	日本農業学会	常任評議員
	56	一般社団法人日本生態学会	外来種問題検討作業部会
	57	一般社団法人日本生態学会	近畿地区会委員
	58	一般社団法人日本哺乳類学会	2024年度大会実行委員
	59	林野庁近畿中国森林管理局	箕面森林ふれあい推進センター運営推進懇談会委員
	60	大阪府動物愛護畜産課	大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会委員
	61	日本エアロゾル学会	編集委員会 幹事
	62	一般社団法人 日本植物防疫協会 公益財団法人 日本植物調節剤研究協会	環境残留試験委員
	63	関西自然保護機構	運営委員
	64	関西自然保護機構	編集委員

所属	No	依 頼 元	役 職 名
環境研究部	65	同志社大学	嘱託講師
	66	同志社大学	嘱託講師
	67	大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課	大阪府環境審議会 審議会委員 生物多様性計画部会 部会長／環境・みどり活動促進部会委員
	68	大阪府環境農林水産部農政室整備課	大阪府農空間づくり推進検討委員会 座長
	69	大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課	大阪府豊かな環境づくり府民会議 運営委員会 学識委員
	70	大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課	大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会《環境/エネルギー先進技術の万博発信コンテンツ作成業務》 審査委員/座長
	71	大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課	大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会《おおさかCPPプロジェクトによるCFP露出の場の拡大事業》 審査委員/座長
	72	大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課	大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会《大阪ウィークにおけるステージイベント業務》 審査委員/座長
	73	大阪府	おおさかプラスチック対策推進プラットフォーム会議
	74	奈良県水環境・森林・景観環境部 環境政策課	奈良県公害調停委員会 調停委員
	75	兵庫県環境部水大気課	兵庫県環境影響評価審査会 委員・姫路相生太陽光発電所部会委員兼任
	76	兵庫県まちづくり部都市計画課	兵庫県土地利用審査会 委員
	77	奈良県水循環・森林・景観環境部 環境政策課	麗（うるわ）しい奈良県づくり功労賞選定委員会 委員長
	78	奈良県水循環・森林・景観環境部 環境政策課	麗（うるわ）しい奈良県づくり推進協議会 構成員
	79	枚方市環境政策課	枚方市環境審議会 会長
	80	枚方市環境政策課	枚方市公共施設への電力供給事業者選定審査会 会長
	81	堺市建築都市局都市計画部都市景観室	堺市景観審議会 委員
	82	堺市建設局公園緑地部公園緑地整備課	堺市緑の政策審議会 委員
	83	八尾市環境部環境保全課	八尾市環境審議会 審議会 副会長/温暖化対策部会 部会長
	84	河内長野市環境経済部環境政策課	河内長野市環境審議会 会長
	85	大東市市民生活部環境室	大東市環境審議会 会長
	86	川西市市民環境部環境政策課	川西市環境審議会 委員
	87	川西市美化衛生部美化推進課	川西市廃棄物等減量推進審議会 会長
	88	東大阪市環境部環境企画課	東大阪市環境審議会 委員
	89	東大阪市環境部環境企画課	東大阪市地球温暖化対策実行協議会 会長
	90	西宮市環境局環境統括室環境企画課	西宮市環境計画推進パートナーシップ会議 委員
	91	西宮市環境局環境事業部	西宮市廃棄物減量部会 会長
	92	西宮市環境企画課	西宮市環境影響評価専門委員会 委員
	93	尼崎市経済環境局環境部環境創造課	尼崎市環境審議会 審議会委員/環境基本計画改定部会委員兼任
	94	尼崎市総合政策局政策部都市政策課	尼崎市総合計画審議会 委員
	95	茨木市商工労務課	茨木市大規模小売店舗立地審議会 委員
	96	豊中市都市活力部産業振興課	豊中市大規模小売店舗立地審議会 委員
	97	神戸市環境局環境保全課	神戸市環境影響評価審査会 委員
	98	明石市市民生活局環境室環境創造課	明石市環境審議会 会長/資源循環推進部会 部会長
	99	加古川市環境政策課	加古川市廃棄物減量等推進審議会 副会長

所属	No	依 頼 元	役 職 名
環境 研 究 部	100	京都市環境政策局環境企画部	京都市役所環境マネジメントシステム（KYOMS）外部有識者会議 外部有識者会議座長、局区等内部監査（同行）
	101	京都市環境政策局地球温暖化対策室	京都市水垂埋立処分地跡地を活用した大機部太陽光発電事業の候補事業者選定委員会 座長
	102	大東市市民生活部環境室	大東市プロポーザル方式事業者選定委員会（大東市一般廃棄物処理基本計画策定並びに事業系ごみ処理手数料及びごみ収集運搬業務経費の積算・検証業務） 座長
	103	三木市環境政策課	三木市地球温暖化対策実行計画策定委員会 アドバイザー
	104	関西広域連合広域環境保全局（滋賀県琵琶湖環境部）	関西広域環境保全計画に関する有識者会議 有識者委員
	105	近畿財務局管財部	国有財産近畿地方審議会 委員
	106	大阪市環境局総務部	「おおさか環境科」編集委員会 委員長
	107	八尾市環境部環境保全課	ゼロカーボンシティやお推進協議会 会員（学識委員）
	108	一般財団法人 大阪府みどり公社	理事
	109	大阪ごみ減量推進会議	会長/学識経験者（プラスチックごみ排出抑制事業スキーム分科会）
	110	大阪グリーン購入ネットワーク	副理事長
	111	全国グリーン購入ネットワーク	全国グリーン購入ネットワーク アドバイザー懇談会
	112	公益財団法人京都市環境保全活動推進協会	理事
	113	宝ホールディングス	公益信託タカラハーモニストファンド 信託管理人
	114	堺市環境局カーボンニュートラル推進部	堺市エコライフポイント事業連絡会 座長
	115	大阪府地球温暖化防止活動推進センター	「えこっとOSAKA」審査委員会 審査委員
	116	一般社団法人 環境事業協会	環境特使
	117	公益財団法人ブルーオーシャンファンデーション	ブルーオーシャンファンデーション助成団体選考委員会 審査委員
食と農の 研 究 部	118	大阪府環境農林水産部農政室推進課	大阪府なにわの伝統野菜認証委員
	119	大阪府果樹振興会	大阪府果樹品評会審査委員長
	120	大阪府花き園芸連合会	大阪府花き園芸品評会審査委員長
	121	大阪府花き園芸連合会	大阪府花き園芸品評会審査員
	122	大阪府養液栽培研究会	大阪府養液栽培品評会審査委員長
	123	大阪府養液栽培研究会	大阪府養液栽培品評会審査委員
	124	大阪府養鶏協会	大阪府卵質向上共励会審査委員長
	125	大阪府養鶏協会	大阪府卵質向上共励会審査員
	126	大阪府養蜂組合	大阪府はちみつ品評会審査委員長
	127	大阪府農業共済組合	損害評価会委員
	128	一般社団法人日本応用動物昆虫学会	代議員
	129	一般社団法人日本応用動物昆虫学会	代議員
	130	日本防菌防黴学会	評議員
	131	関西病虫害研究会	評議員
	132	近畿作物・育種研究会	評議員、会計幹事
	133	近畿土壌肥料研究協議会	事務局
	134	関西病虫害研究会	編集委員
	135	大阪ワイナリー協会	地理的表示「大阪」（GI大阪）官能審査員
	136	昆虫ビジネス研究開発プラットフォーム	運営委員
	137	大阪公立大学	非常勤講師

所属	No	依 頼 元	役 職 名
水産研究部	138	農林水産省消費安全局	レギュラトリーサイエンス研究運営委員
	139	大阪府環境農林水産部環境管理室環境保全課	大阪府環境影響評価審査会委員
	140	大阪府資源管理協議会	副会長
	141	関西国際空港環境監視機構	環境部会員
	142	大阪府漁業協同組合連合会	魚庭の海づくり大会実行委員
	143	大阪府漁業協同組合連合会	大阪府水産業成長産業化審査会委員
	144	大阪府漁業協同組合連合会	大阪府豊かな海づくり協議会副会長
	145	大阪府漁業協同組合連合会	大阪府資源管理委員会委員
	146	大阪府漁獲情報デジタル化推進協議会	大阪府漁獲情報デジタル化推進協議会委員
	147	公益財団法人大阪府漁業振興基金	理事
	148	一般財団法人みなと総合研究財団	海底地形修復技術に関する検討委員
	149	岸和田市立きしわだ自然資料館	専門員
	150	公益財団法人日本水産学会	近畿支部幹事
	151	日本プランクトン学会	評議員
大学校 農業	152	大阪府学校農業クラブ連盟	大阪府学校農業クラブ連盟研究発表会審査員
	153	大阪府立農芸高等学校	農芸高等学校学校協議会委員

13【数値目標 8】報道資料の提供実績（実績報告書 p30）

No.	タイトル	報道提供日	マスコミ掲載
1	高齢者の熱中症、どうやって予防する？！ 「高齢者に関わる支援者向け 暑さ対策セミナー」 2024 年5月 15 日（水曜日）会場・オンライン同時開催（手話通訳同時実施）	2024年4月16日	○
2	環境配慮型農業の実現と高温下での安定生産、地産地消野菜による地域貢献及び地域活性化をめざし、微生物農業資材を用いた大阪産（もん）の減肥料栽培の共同研究を開始	2024年4月18日	
3	子どもを熱中症から守ろう！ 教育等の現場で子どもと関わる方のための 暑さ対策セミナー 2024 年5月 30 日（木曜日）会場・オンライン同時開催（手話通訳同時実施）	2024年4月25日	
4	図解でよくわかる！病害虫の見分け方と対策 令和6年度第1回家庭園芸セミナー 5月 31 日（金曜日）、環農水研にて	2024年5月2日	
5	現場で役立つ対策技術を紹介します！ 令和6年度第1回 緑化技術研修会 『クビアカツヤカミキリの生態・被害判定・防除技術』 2024 年6月5日（水曜日）、会場・オンライン同時開催	2024年5月2日	○
6	大阪のサクラ、ウメ、モモをみんなで守っていくために 企画展「今こそ知りたいクビアカツヤカミキリ研究の最前線」 2024 年5月 13 日（月曜日）から 2024 年8月9日（金曜日）	2024年5月2日	○
7	電気やガス、水道が止まったらどうする？ 防災グッズを体験してみよう！ 5月 25 日“わくわくフェスタ 2024”に出展します	2024年5月17日	
8	調査船に乗り込んで、大阪湾へ出航！ 夏休み子ども体験「海の教室」を開催します 7月 27 日（土曜日）、環農水研水産技術センターにて	2024年6月11日	○
9	今日から始めよう、脱炭素経営！ 「中小事業者のための省エネ・省 CO2セミナー」 2024 年7月 12 日（金曜日）、会場又はオンラインでご視聴ください	2024年6月14日	
10	家庭でできる野菜と花の育て方 令和6年度第2回家庭園芸セミナー 7月 26 日（金曜日）、環農水研にて	2024年6月18日	
11	環境調査の仕事をしながら学ぼう！ 中学生向け公開講座「ふるさと科学捜査班～おおさかの大气と水を守ろう～」 2024 年8月5日（月曜日）	2024年6月20日	
12	外来生物が日本のサクラを狙っています！ 「サクラをまもろう クビアカツヤカミキリ対策フォーラム」 2024 年7月 17 日（水曜日）	2024年6月24日	○
13	あなたもきっと大阪ぶどうのファンに！ 環農水研シンポジウム2024「大阪ぶどうの魅力とは？」開催 2024 年8月23 日（金曜日）大阪産業創造館にて	2024年6月25日	○
14	みなさまの食卓に届くことを期待して トラフグの稚魚を大阪湾に放流します 国や府県が連携した取組で漁獲量の回復をめざします	2024年6月27日	○
15	環農水研と自然史博の共催イベント！ 第 18 回大阪湾セミナー「大阪湾の藻場とブルーカーボン」 8月 1 日（木曜日）大阪市立自然史博物館 講堂にて	2024年6月27日	○

No.	タイトル	報道提供日	マスコミ掲載
16	生き物たちの楽園を創造しよう！ 令和6年度第2回 緑化技術研修会 「生物多様性に配慮した緑地環境づくり」を開催します 9月 11 日(水曜日)、環農水研 生物多様性センターにて	2024年8月5日	
17	農業に取組みたい方のはじめの一步をお手伝い！ 農業入門講座(令和6年度第1回)の受講者を募集します 9月 27 日(金曜日)、環農水研 本部・環境と食農の技術センターにて	2024年8月13日	
18	生物多様性を楽しく学ぼう！ 「生きものふれあいイベント」 9月 28 日(土曜日) 生物多様性センターにて開催	2024年8月30日	○
19	あなたのまわりにはどんな生きものが暮らしているかな？ 企画展「身近でみつける生物多様性」 2024年9月17 日(火曜日)から 2025年1月10 日(金曜日)	2024年9月12日	○
20	旬を迎える泉州きくなを健康的に！ 官学連携による おいしい減塩レシピの開発 ホームページ等で公開・イベントで配布	2024年9月26日	○
21	大阪城の殿様と曲者大搜索！ 「秋の昆虫見つけ隊 2024」 2024 年10 月19 日(土曜日)、大阪城公園にて開催	2024年9月30日	
22	琵琶湖淀川流域の生物多様性の保全を推進 おおさか環農水研と琵琶湖博物館は連携協定を締結します	2024年10月2日	○
23	農福連携の新たな仲間づくりをめざして！ 農福連携シンポジウム『ぶどうでつくる地域のつながり～支援学校生徒の働く場の創出と継続に大切なこと～』 10 月 25 日(金曜日)開催	2024年10月8日	
24	大阪農大の Web(オンデマンド配信)を活用した先進的農業教育 新課程「短期実践課程」いよいよ始まる！ —オンラインオープンキャンパスでその魅力を体験しよう！—	2024年10月15日	
25	冬場の果樹の管理 令和6年度第3回家庭園芸セミナー 11 月 29 日(金曜日)、環農水研にて	2024年10月16日	
26	北摂地域で初めて開催！ 家庭園芸セミナー「ご家庭でお花を長持ちさせるコツ」 11 月 30 日(土曜日)、連携協定先・千里金蘭大学にて	2024年10月30日	
27	おおさか環農水研生物多様性センターが 環境省の自然共生サイトに認定されました！	2024年11月12日	
28	1年半にわたり良好な成長成績 昆虫・アメリカミズアブでマダイを出荷サイズまで養殖できました 日本水産学会誌に掲載	2024年11月15日	○
29	環農水研との共同研究で新商品開発しませんか？ 「フリーズドライ食品開発セミナー＆公募事業説明会」を開催	2024年11月29日	
30	魚介類資源の増大をめざして 大阪湾でメバル1万尾を放流します 成長や放流適地を調査中！	2024年12月10日	○
31	家庭でできる土壌診断 令和6年度第5回家庭園芸セミナー 令和7年1月 31 日(金曜日)、環農水研にて	2024年12月11日	

No.	タイトル	報道提供日	マスコミ掲載
32	脱炭素経営は成長のチャンスです！ 「中小事業者のための省エネ・省CO2セミナー」 2025年1月22日（水曜日）、会場・オンライン同時開催	2024年12月13日	
33	気象キャスターの井田寛子さんによる基調講演！ 「気候変動と防災」セミナー 治水の歴史から気候変動時代の防災を考える 2025年2月9日（日曜日）グランフロント大阪で開催します！	2024年12月23日	
34	生き物たちの楽園を創造しよう！ 令和6年度第3回 緑化技術研修会【動画配信】 「自然共生サイトの概要と生物多様性センターの取り組み」 1月9日（木曜日）から配信！	2025年1月9日	
35	農業に取組みたい方はじめの一步をお手伝い！ 農業入門講座（令和6年度第2回）の受講者を募集します 2月21日（金曜日）、環農水研 本部・環境と食農の技術センターにて	2025年1月23日	
36	生物多様性センター企画展 「カメラが捉えた！大阪のケモノの現在地」 2025年1月27日（月曜日）から6月13日（金曜日）	2025年1月23日	○
37	大阪公立大学との共同研究により 1枚の画像からブドウの房の3次元形状推定に成功 間引く実を自動選定するシステムの開発へ一歩前進	2025年2月19日	
38	イカナゴしんに漁況予報を発表 初の自主休漁となった2024年と同水準の資源量と予測	2025年2月19日	○
39	小学生向け生物調査イベントを開催します。 親子でチャレンジ！ ケモノしらべ隊 in 万博記念公園	2025年2月26日	○
40	残留農薬一斉分析に関する研究に取り組む 伴野研究員が「日本農薬学会奨励賞」を受賞！	2025年3月25日	
41	おおさか環農水研本部・環境と食農の技術センターが 環境省の自然共生サイトに認定！	2025年3月25日	
42	農業の生産性・収益性向上のためのデータ駆動型農業の実践 通常の栽培作業をしながら生育データを取得できる技術を開発 本技術の商品化に協力いただける企業を募集します！	2025年3月25日	

14（参考）新聞掲載記事、テレビ・ラジオ放送、専門紙掲載記事（実績報告書 p30）

（1）新聞掲載記事

No	掲 載 日	掲 載 紙	掲 載 内 容
1	2024年4月8日	毎日新聞	早期再放流へ再出発 イタセンネット 23年は未確認
2	2024年4月8日	毎日新聞（WEB）	国の天然記念物 イタセンバラ 早期再放流へ再出発 イタセンネット、23年は未確認 城北ワンド群 ノ大阪
3	2024年4月9日	朝日新聞	消えた桜 外来種の浸食 クビアカツヤカミキリ 13都府県で被害
4	2024年4月9日	朝日新聞デジタル	消えた桜、原因は外来種のカミキリムシ 日本は天敵不在の「楽園」
5	2024年4月9日	週刊 大阪日日新聞	大阪いちじくのおいしさ もっと遠くまで届けたい 万博公式「いちじくになわクッキーサンド」発売
6	2024年5月10日	読売新聞	幻のタマネギ ごろごろ 田尻町「吉見早生」
7	2024年5月10日	読売新聞オンライン	幻のタマネギ ごろごろ…田尻町「吉見早生」
8	2024年5月20日	朝日新聞	クビアカツヤカミキリ 防除法学び 木を守る 来月研修会
9	2024年5月20日	朝日新聞デジタル	クビアカツヤカミキリ防除法などの研修会 会場とオンラインで 大阪
10	2024年5月24日	産経新聞（WEB）	外来クビアカツヤカミキリに警戒！ 樹木を枯死、中国・朝鮮半島などに分布も日本で拡大中
11	2024年5月25日	産経新聞	外来カミキリ 府内も脅威
12	2024年6月19日	読売新聞	外来カミキリ警戒中 ネット巻いて予防 検討
13	2024年6月19日	読売新聞オンライン	桜食い荒らす「外来カミキリ」分布拡大、名所各地で警戒強化…早期発見で伐採回避へ
14	2024年6月21日	読売新聞	進む気象観測自動化 天気図「快晴」「ひょう」消えた
15	2024年6月21日	読売新聞オンライン	進む気象観測自動化 天気図「快晴」「ひょう」消えた
16	2024年7月24日	朝日新聞	誕生50年 思い実り ブランド化 収穫時期で色変化 欠点→魅力に
17	2024年7月24日	朝日新聞デジタル	50年越し結実、色の変化を逆手 大阪ブドウ「虹の雫」ブランド化
18	2024年7月31日	読売新聞	「海のゆりかご」市民と守る
19	2024年8月10日	読売新聞	「虹の雫」本格販売スタート
20	2024年8月10日	読売新聞オンライン	大阪発高級ブドウ「虹の雫」本格販売スタート 府、ブランド化図る
21	2024年8月21日	朝日新聞	WANTED「クビアカ」
22	2024年9月3日	産経新聞	消費地と産地 共に探る安定供給
23	2024年9月3日	産経新聞（WEB）	大阪でも昆布が取れる 生産量維持、ポイントは「養殖」 消費地と産地ともに探る安定供給
24	2024年9月13日	読売新聞	生きもののふれあいイベント
25	2024年9月26日	北海道新聞（WEB）	【大阪成蹊大学】旬を迎える泉州きくを健康的に！官学連携による おいしい減塩レシビの開発 ホームページ等で公開・イベントで配布
26	2024年9月26日	沖縄タイムズプラス	【大阪成蹊大学】旬を迎える泉州きくを健康的に！官学連携による おいしい減塩レシビの開発 ホームページ等で公開・イベントで配布
27	2024年10月5日	毎日新聞	滋賀県立琵琶湖博物館と（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所との連携協定締結に際して連携協定締結式および連携展示を開催します
28	2024年10月9日	中日新聞（WEB）	生物多様性の調査・保全で連携協定 琵琶湖博物館が大阪府の研究所と
29	2024年10月18日	京都新聞（滋賀県版）	琵琶湖・淀川流域 淡水魚研究を強化
30	2024年10月18日	京都新聞（WEB）	淡水魚のイチョモジタナゴとイタセンバラを交換 滋賀・琵琶湖博物館と大阪府立水産研究所が連携協定
31	2025年12月24日	日経新聞	古墳集まる街のぶどう酒 大阪・羽曳野 お堀採取の酵母で醸造も
32	2025年12月24日	日経新聞（WEB）	大阪・羽曳野にぶどうの歴史、古墳の酵母でもワイン醸す
33	2025年12月28日	読売新聞	身近な生物の多様性知って 寝屋川で企画展
34	2025年1月5日	読売新聞	本物の植物 身にまとう
35	2025年1月5日	読売新聞オンライン	本物の植物 身にまとう
36	2025年1月22日	朝日新聞	養殖マダイに「昆虫食」

No	掲 載 日	掲 載 紙	掲 載 内 容
37	2025年 1月22日	朝日新聞デジタル	養殖魚のエサに使う魚粉が高騰 研究で探った代用品の可能性は
38	2025年 1月22日	産経新聞 (WEB)	万博盛り上げ 「10歳若返り」メニュー、日本生命が社員食堂で提供
39	2025年 1月23日	産経新聞	健康づくり「10歳若返り」メニュー
40	2025年 3月 1日	朝日新聞	大阪産の菊菜 食べて推して
41	2025年 3月 8日	読売新聞	万博公園の哺乳類 調査して

(2) テレビ・ラジオ放送

No	放 送 日	放 送 局	番 組	放 送 内 容
1	2024年 4月 1日	関西テレビ	よ〜いドン!	サワラの仔魚の画像の提供
2	2024年 4月11日	関西テレビ	newsランナー	クビアカツヤカミキリの被害と防除
3	2024年 4月15日	テレビ大阪	やさしいニュース	桜の木が危ない…「クビアカツヤカミキリ」大阪府内で被害深刻に
4	2024年 4月16日	OSAKA KOUMIN Action Platform	阪南TV	阪南市のブルーカーボン施策推進に関する包括連携協定
5	2024年 5月 4日	TBS	超こどもの日 4時間生放送! バナナマン 小泉孝太郎堀田真由さかなクン&スノーマン	淀川河口での網を用いた子どもたちの魚類・水生生物調査
6	2024年 5月17日	NHK	ほっと関西	高齢者に関わる支援者向け暑さ対策セミナー
7	2024年 5月23日	テレビ大阪	やさしいニュース	カメムシの被害が拡大
8	2024年 5月24日	NHK	ほっと関西	果樹カメムシの状況
9	2024年 6月 8日	テレビ大阪	岡村隆史の川くだり なにわの川を食い倒れ!	道頓堀川のウナギ
10	2024年 7月 2日	朝日放送テレビ	news おかえり	トラフグ放流
11	2024年 7月11日	テレビ大阪	やさしいニュース	道頓堀川のウナギ
12	2024年 7月17日	テレビ大阪	やさしいニュース	クビアカツヤカミキリ
13	2024年 7月19日	読売テレビ	ストレイトニュース	虹の雫について
14	2024年 7月28日	MBS	JNNニュース	海の教室
15	2024年 8月14日	日本テレビ	ZIP	地下の浸水
16	2024年 8月22日	読売テレビ	ten.	虹の雫について
17	2024年 8月23日	NHK総合	巨大魚&幻の魚を追え	キジハタの生態
18	2024年 8月27日	読売テレビ	す・またん! ZIP!	虹の雫について
19	2024年 9月 7日	読売テレビ	土曜のす・またん	虹の雫について
20	2024年 9月 7日	関西テレビ	シン・道頓堀川	道頓堀川の生物調査
21	2024年 9月26日	TBS	THE TIME	カマツカの画像
22	2024年10月 8日	びわ湖放送	ニュース滋賀いろ	環農水研と滋賀県立琵琶湖博物館の連携協定締結
23	2024年10月11日	NHK	関西ラジオワイド	生物種の減少について
24	2024年10月12日	CBCラジオ	北野誠のズバリサタデー	生物種の減少について
25	2024年10月26日	テレビ大阪	あばれる先生の出張授業〜知って楽しい大阪湾〜	大阪湾の魚について
26	2024年10月30日	関西テレビ	newsランナー	海洋ごみについて
27	2024年11月25日	テレビ朝日	スーパーJチャンネル	PFASについて
28	2024年11月27日	フジテレビ	世界の何だコレ! ミステリー	海に現れた影について
29	2024年11月28日	テレビ朝日	スーパーJチャンネル	ボタンウキクサについて
30	2025年 1月 1日	J:COMチャンネル	かもん! おおさかもん!	水産技術センターで行われている陸上養殖について
31	2025年 1月15日	フジテレビ	世界の何だコレ! ? ミステリー	ハダカゾウクラゲ、メリベウミウシの解説
32	2025年 1月22日	テレビ大阪	テレビ大阪ニュース	10歳若返る? ⑧レシビが社員食堂で食べられる?
33	2025年 1月27日	エフエム富士	ACTUS	昆虫の減少について
34	2025年 1月27日	NHK	ニュース (関西)	企画展「カメラが捉えた! 大阪のケモノの現在地」
35	2025年 2月21日	NHK	NHK WORLD JAPAN	大阪の里地里山の自然環境保全の取組について
36	2025年 2月23日	NHK	ダーウィンが来た!	ウスバキトンボという南方系のトンボの生態調査について

No	放 送 日	放 送 局	番 組	放 送 内 容
37	2025年3月3日から 2025年3月7日	J:COMチャンネル	ジモトトピックス・プラス	企画展「カメラが捉えた！大阪のケモノの現在地」
38	2025年3月7日	ABC	おかえり	大阪湾のイカナゴについて
39	2025年3月8日	NHKラジオ	関西発ラジオ深夜便～人ありて、街は生き	里地・里山の生態系の変化について
40	2025年3月23日	ABC	ワンディッシュ ～「おいしい」の向こう側～	難波葱について

(3) 専門紙掲載記事

No	掲 載 日	掲 載 紙	掲 載 内 容
1	2024年4月3日	環境新聞	ブルーカーボン施策推進で連携 逆目の試験育成を柱に 万博共創チャレンジも
2	2024年4月5日	全国農業新聞	開発約50年経て消費者へ 大阪 ブドウ「虹の雫」
3	2024年4月9日	PR TIMES	なにわ特産品使用「いちじくなにわクッキーサンド」
4	2024年4月9日	NIKKEI COMPASS	なにわ特産品使用「いちじくなにわクッキーサンド」 [ダイヤ]
5	2024年4月9日	BIGLOBEニュース	なにわ特産品使用「いちじくなにわクッキーサンド」
6	2024年4月9日	exciteニュース	なにわ特産品使用「いちじくなにわクッキーサンド」
7	2024年4月9日	マピオンニュース	なにわ特産品使用「いちじくなにわクッキーサンド」
8	2024年4月9日	niftyニュース	(プレスリリース) なにわ特産品使用「いちじくなにわクッキーサンド」
9	2024年4月9日	ニコニコニュース	なにわ特産品使用「いちじくなにわクッキーサンド」
10	2024年5月1日	大阪農業時報	動物とともにやってくる・・・マダニによる感染症注意
11	2024年5月10日	キワメテ！水族館	【人物／エピソード】キワメテ10周年特別企画☆道頓堀川のニホンウナギ発見にも関わった毎日放送・尾崎 豪さん（大阪市北区）
12	2024年6月1日	エコチル	環農水研だより（夏休み子ども体験「海の教室」、キジハタの紹介）
13	2024年6月10日	FANY Magazine	親子で学ぶめっちゃレアなウナギ講座と、フースーヤが子どもたちと遊んで笑って「食品ロス」を学ぶ、サステナブルなワークショップを開催！
14	2024年6月10日	食品経済新聞	「第19回食育推進全国大会」を見学 「黒門市場」など中身の濃い研修に 業界活性化委員会「食育チーム」
15	2024年6月11日	日本種苗新聞	試験場の挑戦 若ゴボウのカシ対策 葉柄への局所加温で抑制
16	2024年6月25日	食品経済新聞	食品経済新聞1面 WEBによる安全衛生講習会「ナトカリ」の講演も 関清主催、大阪漬協主管
17	2024年6月26日	環境新聞	連携強め、万博へ向けチャレンジ加速 TEAM EXPO ブルーカーボン連絡会議キックオフ
18	2024年8月13日	日刊水産経済新聞	大阪湾の藻場を考える 第18回セミナー 3人が講演
19	2024年8月13日	日刊水産経済新聞（WEB）	第18回大阪湾セミナー「大阪湾の藻場とブルーカーボン」 大阪環農水研と自然史博が共催
20	2024年8月23日	水産経済新聞	瀬戸内海研究フォーラム in 大阪 漁業・食文化、環境を議論
21	2024年9月1日	大阪農業時報	「虹の雫」の歴史と魅力を紹介 環農水研シンポジウム2024
22	2024年9月1日	エコチル	大阪府の自然について知って楽しもう！
23	2024年9月9日	sakanadia	「淀川河口域を考える会」の議論を通じて干潟の再生を実現 ～JF大阪市による淀川河口域再生の取り組み～
24	2024年9月21日	食料新聞	大阪環農水研へ視察 新品種水なすで栽培省力化
25	2024年9月26日	AFPBB News	【大阪成蹊大学】旬を迎える泉州きくを健康的に！官学連携による おいしい減塩レシピの開発 ホームページ等で公開・イベントで配布

No	掲 載 日	掲 載 紙	掲 載 内 容
26	2024年9月26日	大学Times	【大阪成蹊大学】旬を迎える泉州きくを健康的に！官学連携による おいしい減塩レシピの開発 ホームページ等で公開・イベントで配布
27	2024年9月26日	excite. ニュース	【大阪成蹊大学】旬を迎える泉州きくを健康的に！官学連携による おいしい減塩レシピの開発 ホームページ等で公開・イベントで配布
28	2024年9月26日	Microcomputer Technology	大阪府立環境農林水産総合研究所、[報道]旬を迎える泉州きくを健康的に！官学連携によるおいしい減塩レシピの開発
29	2024年9月26日	ZDNET Japan	【大阪成蹊大学】旬を迎える泉州きくを健康的に！官学連携による おいしい減塩レシピの開発 ホームページ等で公開・イベントで配布
30	2024年10月1日	大阪農業時報	企業の農業参入を支援 大阪府が農業参入セミナー開く
31	2024年10月1日	大阪農業時報	農業委員会活動をテーマに農大講義「大阪農業Ⅰ」
32	2024年10月1日	エコチル	環農水研だより（赤とんぼ、ニホンウナギの紹介）
33	2024年10月5日	日経COMPASS	滋賀県立琵琶湖博物館と（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所との連携協定締結に際して連携協定締結式および連携展示を開催します
34	2025年11月19日	水産経済新聞	第22回魚庭の海づくり大会
35	2024年12月1日	大阪農業時報	農大生と農業経営者がマッチング
36	2025年12月27日	日刊水産経済新聞	メバル1万尾放流調査 大阪府 効果的技術確立へ
37	2025年12月27日	日刊水産経済新聞（WEB）	大阪府 メバル1万尾を放流調査 効果的放流技術確立へ
38	2025年1月22日	環境新聞	災害時に役立つ「子どもクッキング教室」 節水調理法を学び、気候変動への「適応」を身近に
39	2025年1月22日	環境新聞オンライン	災害時に役立つ「子どもクッキング教室」 大阪府 節水調理法を学び、気候変動への「適応」を身近に
40	2025年2月17日	水産経済新聞	豊かな海・大阪湾産PR 府水産技術センターが協力 陸上養殖トラフグやサーモン
41	2025年2月19日	ABCニュース	「不漁が続いている近年中でも最低レベル」 大阪湾のイカナゴ漁 今年も自主休漁
42	2025年3月1日	エコチル	環農水研だより（カキ、ワカメの紹介）

15（参考） 所属学会・参加した学会等・公設試験研究機関等ネットワーク・客員研究員（実績報告書 p32）

（１）所属学会

No	会 の 名 称	No	会 の 名 称	No	会 の 名 称	No	会 の 名 称
1	日本環境化学会	18	日本陸水学会	35	園芸学会	52	水産増殖学会
2	日本分析化学会	19	日本畜産学会	36	養液栽培研究会	53	南紀生物同好会
3	廃棄物資源循環学会	20	日本土壌動物学会	37	日本農業教育学会	54	環境DNA学会
4	化学工学会	21	日本蜘蛛学会	38	日本緑化工学会	55	水産海洋学会
5	日本エアロゾル学会	22	日本地球惑星科学連合	39	関西病虫害研究会	56	日本海洋学会
6	大気環境学会	23	日本生物地理学会	40	応用森林学会	57	日本水産学会
7	日本水処理生物学会	24	食・農データサイエンス部会	41	農業食料工学会	58	日本プランクトン学会
8	日本水環境学会	25	粉体工学会	42	日本食品保蔵科学会	59	日本ベントス学会
9	日本農業学会	26	日本ESD学会	43	日本食品科学工学会	60	日本魚類学会
10	日本農業気象学会	27	近畿作物・育種研究会	44	日本醸造学会	61	日本貝類学会
11	農業農村工学会	28	日本育種学会	45	日本ブドウ・ワイン学会	62	日本付着生物学会
12	日本環境学会	29	日本植物病理学会	46	日本農芸化学会	63	日本生気象学会
13	応用生態工学会	30	日本応用動物昆虫学会	47	日本昆虫学会	64	日本藻類学会
14	関西自然保護機構	31	日本環境動物昆虫学会	48	日本バイオテクノロジー学会	65	産学連携学会
15	日本生態学会	32	日本土壌肥科学会	49	日本熱帯農業学会	66	日本雑草学会
16	日本森林学会	33	農業生産技術管理学会	50	農林害虫防除研究会	67	環境経営学会
17	日本哺乳類学会	34	日本生物環境工学会	51	日本防菌防黴学会		

（２）学会（大会等）・研究会・シンポジウム・フォーラム・セミナー・講演会・ワークショップ

●学会（大会等）

No	会 の 名 称	No	会 の 名 称	No	会 の 名 称	No	会 の 名 称
1	第65回大気環境学会年会	10	地域自然史と保全研究発表会2025年度大会	19	園芸学会 令和7年度春季大会	28	2024年水産海洋学会研究発表大会
2	第32回環境化学討論会（第3回環境化学物質3学会合同大会）	11	JpGU2024	20	園芸学会近畿支部滋賀大会	29	令和6年度日本水産学会秋季大会
3	第35回廃棄物資源循環学会研究発表会	12	日本陸水学会第88回大会	21	育種学会 令和7年度春季大会	30	令和7年度日本水産学会春季大会
4	第50回日本農業学会	13	日本ESD学会第8回近畿地方研究会	22	日本雑草学会第64回大会	31	2024年度日本魚類学会年会
5	第63回日本生気象学会大会	14	第27回国際昆虫学会議	23	日本植物病理学会 令和6年度関西部会	32	日本貝類学会令和6年度大会
6	日本水環境学会第59回年会	15	第69回日本応用動物昆虫学会大会	24	日本植物病理学会 令和7年度大会	33	日本藻類学会第49回大会
7	第72回日本生態学会大会	16	日本土壌肥科学会2024年度福岡大会	25	日本熱帯農業学会講演会	34	環境経営学会2024年度報告会
8	第136回日本森林学会大会	17	日本土壌肥科学会2024年第120回関西支部講演会	26	日本食品科学工学会	35	環境経営学会2024年度秋季報告会
9	第75回応用森林学会	18	園芸学会 令和6年度秋季大会	27	日本水産学会近畿支部後期例会		

●研究会

No	会 の 名 称	No	会 の 名 称	No	会 の 名 称	No	会 の 名 称
36	第39回全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部研究会	43	第28回農林害虫防除研究会大会	50	令和6年度近畿・中国・四国地域果樹研究会	57	近畿土壌肥料研究協議会 第39回研究会
37	第51回環境保全・公害防止研究発表会	44	令和6年度近畿中国四国農業試験研究推進会議 病害虫推進部会問題別研究会（病害・虫害分科会）	51	バイオ産業研究会	58	令和6年度近畿中国四国農業試験研究推進会議 花き推進部会問題別研究会
38	農業環境動態研究会	45	令和6年度近畿中国四国農業試験研究推進会議 土壌肥料推進部会問題別研究会	52	食品ユニバーサルデザイン研究会	59	令和6年度 気候変動適応の研究
39	魚類自然史研究会	46	令和6年度近畿中国四国農業試験研究推進会議 作物生産推進部会問題別研究会	53	稚魚研究会	60	外来魚情報交換会
40	令和6年度魚病症例研究会	47	令和6年度近畿中国四国農業試験研究推進会議 農業環境工学推進部会問題別研究会	54	令和6年度資源海洋調査研究会		
41	淡水貝類研究会	48	令和6年度近畿中国四国農業試験研究推進会議 作物生産推進部会冬作技術研究会	55	第35回魚類生態研究会		
42	関西病虫害研究会第106回大会	49	令和6年度果樹茶業研究会 落葉果樹研究会	56	瀬戸内海水産環境研究集会		

●シンポジウム

No	会 の 名 称	No	会 の 名 称
61	第40回全国環境研究所交流シンポジウム	64	都市農業研究所シンポジウム
62	第4回殺虫剤抵抗性対策シンポジウム	65	消費者行動を変えられない企業行動にもの申す
63	第34回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム		

●フォーラム

No	会 の 名 称
66	瀬戸内海研究フォーラムin大阪

●セミナー・講演会・ワークショップ

No	会 の 名 称
67	日本水環境学会第33回市民セミナー
68	日本水環境学会第70回セミナー
69	行動経済学会第18回大会若手ワークショップ

(3) 公設試験研究機関等ネットワーク

No	会 の 名 称	No	会 の 名 称
1	全国環境研協議会	33	中央ブロック資源評価調査（クルマエビ・クマエビ）検討会（WEB）
2	気候変動適応近畿広域協議会	34	二枚貝生産環境研究会（WEB）
3	瀬戸内海水環境研協議会	35	二枚貝類分科会
4	東海近畿地区農薬残留分析担当者会議	36	関西地区林業試験研究機関連絡協議会育林育種環境部会
5	全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部水環境部会	37	関西地区林業試験研究機関連絡協議会保護部会
6	地域気候変動適応センター定例会議	38	林業研究・技術開発推進近畿・中国ブロック会議
7	自然系調査研究機関連絡会議	39	近畿中国四国ブロック魚類防疫検討会
8	全国林業試験研究機関協議会	40	大阪府理科教育ネットワーク協議会
9	東海近畿農薬残留分析担当者会議	41	内水面関係研究開発推進会議
10	近畿中国四国農業試験研究推進会議 作物生産推進部会	42	全国水産試験場長会
11	近畿中国四国農業試験研究推進会議 病害虫推進部会	43	関西淀川流域チャネルキャットフィッシュ対策情報交換会
12	近畿中国四国農業試験研究推進会議 土壌肥料推進部会	44	花き遺伝育種・生産流通利用研究開発プラットフォーム
13	近畿中国四国農業試験研究推進会議 農業環境工学推進部会	45	果樹系統適応性検定試験成績検討会
14	近畿中国四国農業試験研究推進会議 野菜推進部会	46	全国酒造技術指導機関合同会議
15	近畿中国四国農業試験研究推進会議 花き推進部会	47	食品試験研究推進会議
16	近畿中国四国農業試験研究推進会議 果樹推進部会	48	産技連 近畿地域部会 食品・バイオ分科会
17	近畿土壌肥料研究協議会	49	健康長寿社会実現に向けたセルフ・フードプランニング研究開発プラットフォーム
18	土壌保全調査事業全国協議会	50	バイオ産業研究会（大阪技術研 主宰）
19	瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁況予報会議	51	食品ユニバーサルデザイン研究会（大阪技術研 主宰）
20	中央ブロック資源評価会議（WEB）	52	全国水産試験場長会
21	中央ブロック卵・稚仔、プランクトン調査研究担当者会議	53	水産関係試験研究機関長会議（WEB）
22	太平洋いわし類、マアジ、さば類長期予報会議	54	水産試験場長会瀬戸内ブロック会議
23	太平洋系群いわし類・マアジ資源評価会議（WEB）	55	中央ブロック資源海洋調査研究会
24	カタクチイワシ太平洋系群・瀬戸内海系群担当者会議（WEB）	56	令和6年度トラフグ全国協議会
25	瀬戸内海ブロック資源評価会議（WEB）	57	瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会
26	イカナゴ情報交換会議	58	南海・瀬戸内海洋調査技術連絡会
27	広域種資源造成型栽培漁業推進検討会（WEB）	59	漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮貝毒部会
28	サワラ検討会議	60	瀬戸内海栄養塩環境研究会
29	資源評価調査瀬戸内海・中央ブロック合同検討会（タチウオ）（WEB）	61	瀬戸内海ブロック浅海定線観測等担当者会議
30	瀬戸内海水産環境研究集会	62	暖海性魚類分科会
31	西海ブロック第2回長期漁況漁況予報会議生産力分科会	63	水産庁開発調査推進会議（WEB）
32	東北ブロック貝毒分科会		

(4) 客員研究員（応募を除く）

No	受入れ先の大学・研究機関等の名称	No	受入れ先の大学・研究機関等の名称
1	大阪公立大学（2名）	3	国立研究開発法人 国立環境研究所（1名）
2	静岡県立大学（1名）		

16 (参考) 法人が参加するコンソーシアム(実績報告書 p32-33)

(1) 法人が代表者のもの

分野	No	名 称	他の構成機関	研究課題	事業
環境	1	環境研究総合推進費 環境問題対応型研究	・(国研) 国立環境研究所 ・大阪公立大学 ・神戸大学 ・兵庫県環境研究センター ・沖縄県衛生環境研究所 ・福岡県保健環境研究所	最終処分場浸出水等に含まれるPOPs等の排出機構の解明とリスク低減技術の開発	環境省環境研究総合推進費 環境問題対応型研究

(2) 他機関が代表者のもの

分野	No	名 称	構成機関	研究課題	事業
環境	1	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)	代表機関の(国研) 国立環境研究所のほか、当法人を含む地方環境研究機関計46機関	光化学オキシダント等の変動要因解析を通じた地域大気汚染対策提言の試み	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)
	2	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)	代表機関の(国研) 国立環境研究所のほか、当法人を含む地方環境研究機関計21機関	公共用水域における有機-無機化学物質まで拡張した生態リスク評価に向けた研究	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)
	3	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)	代表機関の(国研) 国立環境研究所のほか、当法人を含む地方環境研究機関計14機関	廃棄物最終処分場の廃止判断と適正な跡地利用に資する多面的評価手法の適用に関する検討	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)
	4	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)	代表機関の(国研) 国立環境研究所のほか、当法人を含む地方環境研究機関計41機関	災害時等の緊急調査を想定したGC/MSによる化学物質の網羅的簡易迅速測定法の開発	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)
	5	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)	代表機関の(国研) 国立環境研究所のほか、当法人を含む地方環境研究機関計8機関	レベル3建材からのアスベスト散逸実態とその影響に関する研究	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)
	6	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)	代表機関の(国研) 国立環境研究所のほか、当法人を含む地方環境研究機関計23機関	海域における気候変動と貧酸素水塊(DO)/有機物(COD)/栄養塩に係わる物質循環との関係に関する研究	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)
	7	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)	代表機関の(国研) 国立環境研究所のほか、当法人を含む地方環境研究機関計13機関	生物応答を用いた各種水環境調査方法の比較検討	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)
	8	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)	代表機関の(国研) 国立環境研究所のほか、当法人を含む地方環境研究機関計11機関	複数プライマーを用いた環境DNA底生動物調査手法の開発	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)
	9	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)	代表機関の(国研) 国立環境研究所のほか、当法人を含む地方環境研究機関計29機関	河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(Ⅱ型)
	10	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(適応型)	代表機関の(国研) 国立環境研究所のほか、当法人を含む地方環境研究機関計9機関	気候変動による暑熱・健康等への影響に関する研究	地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との共同研究(適応型)
	11	農水(RS研究) PFASコンソーシアム	代表機関：(国研) 農研機構 参画機関：(国研) 産業技術総合研究所、兵庫県環境研究センター、神戸大学、他企業4社	農作物中PFASの分析法の確立、農地土壌、水等からのPFAS移行特性の解明	令和6年度安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業のうち課題解決型プロジェクト研究
	12	大阪湾プラごみゼロを目指す資源循環共創拠点	代表機関：大阪大学 参画機関：大阪府、大阪公立大学、立命館大学、サラヤ(株)、他企業11社	大阪湾プラごみゼロを目指す資源循環共創拠点	共創の場形成支援プログラム
	13	環境研究総合推進費 戦略的研究課題S-21テーマ5	代表：東京大学 参画機関：大阪環農水研・新潟大学・(公財) 地球環境戦略研究機関・(一社) 持続可能な地域社会総合研究所・神戸大学・大阪公立大学・大阪大学・名古屋大学・事業構想大学院大学	地域スケールの生物多様性と社会経済的要因からなる統合評価・シナリオ分析と社会適用	環境研究総合推進費 戦略的研究課題S-21テーマ5
農業	14	小さな資源循環推進協議会	南あわじ市、山形屋水産、森の木ファーム、吉備国際大学	小さな資源循環推進	令和4年度補正予算「農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうちフードテックを活用した新しいビジネスモデル実証に対する支援事業」
	15	大阪府スマート農業推進協議会	代表機関の大阪府(5機関)のほか、JA3機関、民間及び当法人	スマート農業技術の導入促進	農林水産省「データ駆動型農業の実践・展開支援事業」
	16	土壌ICT開発コンソーシアム	代表機関の(国研) 農研機構 参画機関：環境変動研究センターのほか、33都道府県及び当法人	土壌情報の集積と活用	農林水産省「『知』の集積と活用の場による革新的技術創造促進事業」(うち「知」の集積と活用の場による研究開発モデル事業)
	17	食品用大豆国内自給コンソーシアム	代表機関の(国研) 農研機構の他、国研2機関、18大学、公設試5機関、民間4社及び当法人	植物性タンパク質(大豆)の育種基盤構築と栽培技術確立	戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」

分野	No	名称	構成機関	研究課題	事業
農業	18	気候変動対策技術研究開発プラットフォームの「土地利用型作物気候変動適応研究」コンソーシアム	代表機関の（国研）農研機構農業環境研究部門のほか、当法人を含む44機関	全国規模での栽培試験と気象等のデータを集積し、作物への温暖化影響の評価と適応技術の効果の検証	農林水産省「『知』の集積と活用による革新的技術創造促進事業」（うち「知」の集積と活用による研究開発モデル事業）
	19	都市農業DX推進コンソーシアム	代表機関の明治大学のほか、2大学、当法人及び民間1社	ネットワーク・コミュニティを活用したDX推進による都市農業振興と人材育成	農林水産省令和3年度補正予算 戦略的スマート農業技術等の開発・改良「スマート農業技術の開発・改良」
	20	ブドウ用小型電動ロボット開発・改良コンソーシアム	代表機関の大阪公立大学の他、当法人、民間2社	中山間地で生産される醸造用ブドウ向け多用途小型電動ロボットの複数台同時運用システムの開発	農林水産省令和5年度予算戦略的スマート農業技術等の開発・改良
	21	外来カミキリコンソーシアム	代表機関の（国研）農研機構のほか、国研1機関、1大学、4県、民間3社及び当法人	相次いで侵入した外来カミキリムシから日本の果樹と樹木を守る総合対策手法の確立	農林水産省「イノベーション創出強化研究推進事業 開発研究ステージ」
水産	22	ワカメ養殖共同研究機関	代表機関の（国研）水産研究・教育機構のほか、当法人を含む公設試2機関、1大学、1高専	フリー配偶体技術による新たな有用株の作出と評価手法の開発、実効性の高い食害技術の開発	（国研）農業・食品産業技術総合研究機構「イノベーション創出強化研究推進事業 開発研究ステージ」
	23	環境研究総合推進費 戦略的研究課題S-23テーマ4	代表：国立環境研究所 参画機関：大阪環農水研・大阪公立大学・広島大学・兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター	自然共生サイト・内湾における低次～高次生態系網モデルの開発	環境研究総合推進費 戦略的研究課題S-23テーマ4
	24	水産資源調査・評価推進委託事業共同実施機関	代表機関の（国研）水産研究・教育機構のほか、当法人を含む公設試43機関、8大学、2社団法人、1財団法人及び民間2社	我が国周辺水域の重要水産資源に係る資源評価等の実施	農林水産省「水産資源調査・評価推進委託事業」
	25	赤潮・貧酸素水塊、栄養塩類共同研究機関	代表機関の（国研）水産研究・教育機構のほか、当法人を含む公設試23機関、13大学、1学校法人、1社団法人、2漁協、45民間会社	赤潮被害防止対策技術の開発	農林水産省「豊かな漁場環境推進事業」（うち海域特性に応じた赤潮・貧酸素水塊、栄養塩類対策推進事業）
	26	環境研究総合推進費 戦略的研究課題S11-10テーマ1	代表：東京海洋大学 参画機関：大阪環農水研・鹿児島大学・水産研究・教育機構・海洋研究開発機構	海底プラスチックごみの実態把握及び回収効率の推定に係る手法・技術の開発	環境研究総合推進費 戦略的研究課題S11-10テーマ1

17-1【数値目標9】競争的外部研究資金による調査研究課題について（実施実績）（実績報告書p47）

No	申請先	代表・共同	事業・課題名	採択年度
1	科学研究費助成事業（若手）	代表	小学校教員を対象とした生物多様性研修プログラムの開発と効果検証	R 1
2	科学研究費助成事業（基盤研究C）	代表	植物のVOC放出量は温暖化によって増加しうるのか：植物起源VOC放出量の将来予測	R 2
3	2020年度国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））	共同	国際ネットワークによる多元素同位体地図解析手法の開発	R 2
4	科学研究費助成事業（基盤研究B）	共同	赤潮発生に必要な栄養基盤形成機構に海洋環境微生物の物質代謝が果たす役割の解明	R 2
5	科学研究費助成事業（基盤研究S）	共同	ウイルス駆動の海洋低次生態系の時計仕掛けと海洋への影響解明	R 2
6	農水省イノベーション創出強化研究推進事業（開発研究ステージ）	共同	優良品種作出と種苗供給の安定化による国産ワカメ養殖のレジリエンス強化と生産増大	R 2
7	科学研究費助成事業（若手）	代表	サイズ選択的漁獲や放流は潜砂性二枚貝の性転換に影響するか？	R 2
8	科学研究費助成事業（基盤研究（C））	代表	新規センサの開発による多点同時観測システムの構築とPM0.1個人暴露の推定	R 3
9	科学研究費助成事業（挑戦的研究（萌芽））	共同	環境中で劣化したプラスチックはエアロゾル化し、肺胞や生物細胞内に到達しているのか？	R 3
10	科学研究費助成事業（基盤研究（C））	代表	河川生態系における食物連鎖による魚類へのマイクロプラスチックの移行と蓄積	R 3
11	環境研究総合推進費 革新型研究開発（若手枠）	共同	特定外来生物クビアカツヤカミキリの新たな定着地の早期発見・早期駆除システムの開発	R 3
12	科学研究費助成事業（基盤研究（C））	代表	水ナス果実のテクスチャー（多汁性）を決定する遺伝子の同定と分子メカニズムの解明	R 3
13	科学研究費助成事業（若手）	代表	昆虫摂食がトリガーとなる海産魚類の魚病耐性獲得機構の解明	R 3
14	（一社）マリノフォーラム21	代表	養殖業成長産業化提案公募型実証事業	R 3
15	農林水産省「令和3年度補正予算 戦略的スマート農業技術等の開発・改良」	共同	ネットワーク・コミュニティを活用したDX推進による都市農業振興と人材育成	R 3
16	農水省イノベーション創出強化研究推進事業	共同	相次いで侵入した外来カミキリムシから日本の果樹と樹木を守る総合対策手法の確立	R 3
17	科研基盤C	共同	ダストモニタの低濃度使用時における性能測定用風洞の最適設計手法の確立	R 4
18	環境研究総合推進費	共同	災害・事故に伴う迅速な化学物質曝露・リスク判断のための現地対応型評価デバイスの開発	R 4
19	科研基盤C	共同	精密鼻腔模型の開発とエアロゾル粒子の鼻腔沈着に関する実験的評価	R 4
20	環境研究総合推進費	代表	最終処分場浸出水等に含まれるPOPs等の排出機構の解明とリスク低減技術の開発	R 4

No	申請先	代表・共同	事業・課題名	採択年度
21	環境研究総合推進費	共同	都市とその周辺地域を対象とした統合評価・シナリオ分析と社会適用（S-21-5(4)）	R 4
22	科研国際共同研究強化（B）	共同	残留性有害化学物質の挙動に及ぼすナノプラスチックの影響と生物への濃縮実態調査	R 4
23	科研基盤C	代表	渓流域における流木の発生・挙動メカニズムの実証的解明	R 4
24	科研基盤C	代表	局所空間把握に基づく、葉かき作業（芽・枝・葉の除去）の自動化アルゴリズムの構築	R 4
25	科研基盤C	代表	会合に基づく、高温高圧条件での色素安定化機構解明と温度による着色制御技術の開発	R 4
26	日本生命財団児童・少年の健全育成功成	共同	画像認識に基づく障がい児農業キャリア教育支援ツールの開発	R 4
27	農水省戦略的スマート農業技術の開発・改良	共同	中山間地で生産される醸造用ブドウ向け多用途小型電動ロボットの複数台同時運用システムの開発	R 4
28	科研基盤A	共同	生態系レジームシフト検知のための微視的特徴づけに基づく早期診断法の構築	R 4
29	松島財団	代表	光反射シートを用いたネギアザミウマおよびネギえそ条斑病の防除体系の実用化	R 4
30	科研基盤C	代表	植物種子へのプラズマ照射が誘導する病害抑制機構の解明	R 4
31	環境研究総合推進費	共同	マイクロプラスチックと吸着物質の相互作用による海洋汚染促進効果の解明	R 4
32	科研基盤B	共同	海洋生態系における寄生性渦鞭毛藻の動態解析と有害藻類の発生防除への新たな可能性	R 4
33	科研基盤C	代表	顕花植物由来セルロースの分解酵素による有殻渦鞭毛藻への影響評価	R 4
34	環境研究総合推進費	共同	漁業者による海底プラスチックごみの回収効率の推定手法の開発	R 4
35	大阪大谷大学共同研究費2024年度	共同	バイオエアロゾルの微生物学的リスク評価法の確立	R 5
36	環境研究総合推進費	共同	廃棄物の処理・処分・再資源化の段階におけるPFASの包括的な評価・管理のためのモニタリング/モデリング手法の開発と応用	R 5
37	科学研究費助成事業（基盤研究B）	代表	ターゲットスクリーニング分析との組み合わせによる迅速・網羅的水相パッシブ法の構築	R 5
38	科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）（研究成果公开发表（B）（ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI））	代表	ふるさと科学捜査班～おおさかの天気と水を守ろう～	R 5
39	科学研究費助成事業（基盤研究C）	共同	患者多発地域をモデルとした日本紅斑熱リケッチアの感染環の解明	R 5
40	科学研究費助成事業（若手）	代表	環境DNAを用いて樹木を利用する昆虫類を網羅的に検出する技術の開発	R 5

No	申請先	代表・共同	事業・課題名	採択 年度
41	科学研究費助成事業（基盤研究C）	代表	農作物への加害性の高いシカを生じさせる要因は何か？生息状況の変遷を考慮した検討	R 5
42	内閣府	共同	戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期 （豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築）	R 5
43	科学研究費助成事業（基盤研究C）	代表	果皮中ホウ素局在の空間的把握による尻腐れ果発生機構の解明	R 5
44	環境研究総合推進費	共同	【S-23】テーマ4 サブテーマ（2）自然共生サイトにおける生態系網の観測・実験による評価	R 5
45	大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成	代表	海域底質によるSOD簡易測定法の構築及び大阪湾内におけるSODの水平分布及び季節変動	R 6
46	プロ・ナトゥーラ・ファンド	代表	天然記念物と泉葛城山ブナ林に迫る温暖化とシカ食害：40年前との植生比較とカメラトラップによるアプローチ	R 6
47	科学研究費助成事業（挑戦的研究（萌芽））	共同	ホウ素中性子捕捉反応を利用した効率的な新規育種法の開発	R 6

17-2【数値目標9】競争的外部研究資金による調査研究課題について(応募実績)(実績報告書p47-48)

No	申請先	代表・共同	事業・課題名	採択年度
1	大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成	代表	海域底質によるSOD簡易測定法の構築及び大阪湾内におけるSODの水平分布及び季節変動	R6
2	科学研究費助成事業（基盤研究C）	代表	浸出水中の共存マトリックスがPFASの活性炭吸着特性に与える影響の解明	R6
3	科学研究費助成事業（若手）	代表	分析対象化合物の構造に基づく残留農薬分析におけるマトリックス効果推定モデルの構築	R6
4	科学研究費助成事業（基盤研究C）	代表	大気質監視プラットフォームを活用した大気中微生物の面的解析手法の開発	R6
5	プロ・ナトゥーラ・ファンド	代表	天然記念物と泉葛城山ブナ林に迫る温暖化とシカ食害：40年前との植生比較とカメラトラップによるアプローチ	R6
6	科学研究費助成事業（基盤研究C）	代表	クビアカツヤカミキリ被害、防除状況及び宿主木分布の地図化と戦略的防除の支援	R6
7	科学研究費助成事業（基盤研究C）	代表	水ナス由来多汁性遺伝子を起点とする果皮の物性・食感を決定する分子機構の解明	R6
8	松島財団	代表	青枯病への耐病性と収量の維持を両立する複数台木苗の利用によるトマトの安定生産技術の実証	R6
9	科学研究費助成事業（挑戦的研究（萌芽））	共同	河川環境におけるPFASの長期変遷を推定する技術の開発：博物館標本を用いた試み	審査中
10	令和7年度オープンイノベーション研究・実用化推進事業 基礎研究ステージ・若手研究者応援タイプ	共同	ポリアクリル酸系高吸水性樹脂（SAP）を用いた汚泥、未利用リン鉱石および土壌蓄積リンからの肥料製造と作物生産技術の開発	審査中
11	令和7年度オープンイノベーション研究・実用化推進事業 開発研究ステージ・現場課題解決タイプ	代表	経営体の生産基盤強化に貢献する複数台木苗を活用した施設水ナスの増収・安定生産技術の確立・実証	審査中
12	令和7年度地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業（環境省R&D事業）	共同	農業用ハウス搭載に向けた緑色光波長選択型有機太陽電池の技術開発・実証	審査中
13	一般財団法人糧食研究会	代表	ワインボディ感の客観的評価法の確立にむけたボディ感寄与物質の特定と旨味センサーの有用性検討	審査中
14	令和7年度オープンイノベーション研究・実用化推進事業 基礎研究ステージ・若手研究者応援タイプ	共同	データに基づくスマート害虫管理を目指した害虫自動モニタリング技術の開発	審査中
15	一般財団法人東洋水産財団 2025年 学術奨励研究	代表	海藻をスタートとするサステナブルな魚類養殖の実現	審査中
16	2025年度 公益社団法人日本愛玩動物協会「家庭動物の適正飼養管理に関する調査研究助成」	代表	ペットやアライグマにおけるSFTSの広がり、および市街地緑地帯でのマダニの分布について	不採択
17	JST 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP ステージⅠ（育成フェーズ）	代表	食品廃棄物を原料としたオンサイト型・昆虫飼料生産プラントの開発	不採択
18	うまみ研究会助成	代表	組換え培養細胞を用いた「減塩におけるうま味物質の役割」に関する検証 ～味覚細胞内GADによるグルタミン酸の代謝はGABA受容体を活性化するか？～	不採択
19	ヤンマー資源循環支援機構助成事業	代表	ミズアブ成虫への給餌による生産性向上	不採択

No	申請先	代表・共同	事業・課題名	採択年度
20	科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）（研究成果公开发表（B）（ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI））	代表	ふるさと科学捜査班～おおさかの大地と水を守ろう～	不採択
21	科学研究費助成事業（基盤研究A）	共同	水圏の気候変動適応のための水温・水環境科学の深化と工学的対応	不採択
22	科学研究費助成事業（基盤研究B）	共同	環境DNA分析と大気観測の融合による生物多様性モニタリング網の構築に向けた挑戦	不採択
23	科学研究費助成事業（基盤研究B）	共同	ブドウ栽培支援のための房の3次元計測手法の開発	不採択
24	科学研究費助成事業（基盤研究B）	代表	河川底泥に漂着したマイクロプラスチックは蓄積し河川生態系に影響を与え続けるのか？	不採択
25	科学研究費助成事業（基盤研究C）	共同	井水を利用した持続可能な作物栽培用温室向け細霧冷房システムの構築	不採択
26	科学研究費助成事業（基盤研究C）	共同	タケ・ササ類の一斉開花が土壌生態系の資源や土壌動物群集の機能に与える影響の評価	不採択
27	科学研究費助成事業（基盤研究C）	共同	消化管寄生原虫を接触マーカーとする在来および外来種の糞口感染伝播メカニズムの解明	不採択
28	科学研究費助成事業（基盤研究C）	代表	大阪府におけるマダニ媒介感染症の宿主動物と感染経路の調査	不採択
29	科学研究費助成事業（基盤研究C）	代表	ナスの湛液型水耕を成功させる樹勢の俯瞰的評価と養分吸収機構の網羅的解析	不採択
30	科学研究費助成事業（基盤研究C）	代表	食料・飼料用昆虫に感染する病原菌の防除技術の確立に向けた基盤研究	不採択
31	科学研究費助成事業（挑戦的研究（萌芽））	代表	塩化物イオンの動態の可視化による塩味応答メカニズム解明への新たなアプローチ	不採択
32	環境研究総合推進費	共同	センサーカメラによる画像データの取得を基盤としたボトムアップ型野生動物モニタリング・管理システムの構築と実装	不採択
33	環境研究総合推進費	代表	閉鎖性水域における貧酸素水塊縮小のための底質酸素消費評価の標準手法の開発と底質環境改善効果評価に関する研究	不採択
34	公益財団法人G-7奨学財団	代表	食品廃棄物を原料としたオンサイト型・昆虫飼料生産プラントの開発	不採択
35	東洋食品研究所	代表	昆虫食味の分析とコントロール技術の開発	不採択

18 競争的資金へのチャレンジ支援研究（実績報告書 p48）

No	研究課題の分野	研究課題名称	研究内容
1	環境保全	浸出水中の共存マトリックスがPFASの活性炭吸着特性に与える影響の解明	廃棄物埋立地の浸出水からペルフルオロアルキル化合物（PFAS）を除去する技術の向上を目指し、活性炭によるPFAS吸着に影響を与える溶存物質、懸濁成分、pHなどの要因を検討する。実際の浸出水環境を模擬した実験を通じて、活性炭の最適な交換タイミングを決定するパラメータを探索し、複雑なマトリックスや環境条件下でのPFAS吸着メカニズムを解明する。
2	園芸科学	水ナス由来多汁性遺伝子を起点とする果皮の物性と生理障害の研究	水ナスの遺伝解析で見出された多汁性遺伝子（JCY）の解析を通じて、他の品目では十分に解明されていない果皮の物性や食感を決定するメカニズムを明らかにする。さらに、多汁性を持ち、現行の水ナスより果皮が柔らかい系統の遺伝解析を行い、jcy 遺伝子型に加算的に作用し果皮を柔らかくする遺伝子座を特定する。

19【数値目標10】競争的外部研究資金により実施する調査研究課題の外部有識者による総合評価

4段階評価 4;大変よい 3;よい 2;やや不十分 1;不十分

(実績報告書 p49)

(1) 事前評価 (7人の委員による評価の平均点)

No	課 題 名	学術的重要性	方法の妥当性	研究遂行能力及び研究環境の適切性	総合評価
1	浸出水中の共存マトリックスがPFASの活性炭吸着特性に与える影響の解明	3.4	2.9	3.3	3.1
2	水ナス由来多汁性遺伝子を起点とする果皮の物性と生理障害の研究	3.3	3.0	3.7	3.6
3	塩味を増強するメカニズムにおけるCl ⁻ イオンチャネルによる過分極の蛍光検出	3.0	2.6	2.9	3.0
4	海藻をスタートとするサステナブルな魚類養殖の実現	2.9	2.0	3.3	2.7
	平均	3.2	2.6	3.3	3.1

(2) 中間評価 (7人の委員による評価の平均点)

No	課 題 名	研究推進体制	研究目的	研究目標	研究方法・計画	研究成果	期待される研究成果	期待される事業効果	総合評価
1	新規センサの開発による多点同時観測システムの構築とPM0.1個人暴露の推定	3.1	3.4	3.3	2.9	3.0	3.1	3.1	3.0
2	画像認識に基づく障がい児農業キャリア教育支援アプリの開発	3.3	3.3	3.1	3.1	3.3	3.3	3.6	3.3
3	顕花植物由来セルロースの分解酵素による有殻渦鞭毛藻への影響評価	3.3	3.3	3.1	3.3	3.0	3.1	3.0	3.1
	平均	3.2	3.3	3.2	3.1	3.1	3.2	3.2	3.1

(3) 事後評価 (7人の委員による評価の平均点)

No	課 題 名	研究推進体制	研究成果	今後の普及方針	総合評価
1	特定外来生物クビアカツヤカミキリの新たな定着地の早期発見・早期駆除システムの開発	3.3	3.6	3.7	3.7
2	昆虫を用いた飼料による養殖魚の長期間成長性確認と肉質評価	3.6	3.9	3.4	3.7
3	ネットワーク・コミュニティを活用したDX 推進による都市農業振興と人材育成	3.4	3.3	3.3	3.3
	平均	3.4	3.6	3.5	3.6

(4) 中間評価及び事後評価の総合評価の平均【数値目標10】

課題	中間No.1	中間No.2	中間No.3	事後No.1	事後No.2	事後No.3	平均
総合評価	3.0	3.3	3.1	3.7	3.7	3.6	3.4

20【数値目標11】学術論文及び学会発表等(実績報告書 p51)

(1) 論文 (法人職員が第一著者の論文；下線付きが法人職員)

No	論文名	掲載誌	著者
1	災害事故時に活用可能な情報基盤の整備	地球環境	中村智
2	夏季の日中の細霧冷房による気温低下が水ナスつやなし果発生に及ぼす影響	園芸学研究	大石(鈴木)真実、森川信也、 <u>瀬上修平</u> 、 <u>鈴木敏征</u> 、 <u>磯部武志</u>
3	大阪湾におけるマイクロプラスチック調査	水環境学会誌	<u>近藤健</u> 、 <u>河田育子</u> 、 <u>栢原博幸</u>
4	Effects of Sorghum Green Manure Crop on Yield and Root zone of 'Mizunasu' Eggplant	Acta Horticulturae	<u>H. Akirich</u> , <u>R. Arakawa</u> , <u>N. Tokuno</u> and <u>S. Segami</u>
5	土壌透水性が醸造用デラウェアの果実品質に及ぼす影響	日本ブドウ・ワイン学会	<u>三浦季子</u> 、 <u>下野雄太</u> 、 <u>三輪由佳</u> 、 <u>磯部武志</u>
6	生物多様性研修による小中学校教員の意識変化	ESD研究	<u>近藤美麻</u> 、 <u>丸山勇気</u> 、 <u>山本義彦</u>
7	大阪府におけるイチゴ灰色かび病菌の薬剤感受性	関西病虫害研究会報	<u>田中貴幸</u> 、 <u>溝手舜</u> 、 <u>西岡輝美</u>
8	飼育環境下および海域におけるタチウオ環境DNAの検出	水産技術	<u>木村祐貴</u> 、 <u>辻村浩隆</u>
9	アメリカミズアブ脱脂粉末を含む飼料の長期給餌がマダイの成長と健康に及ぼす影響	日本水産学会誌	<u>大福高史</u> 、 <u>辻村浩隆</u> 、 <u>平康博章</u> 、 <u>山本圭吾</u> 、 <u>瀬山智博</u>
10	Ovicidal activity of adulticidal insecticides against the invasive wood borer Aromia bungii (Coleoptera: Cerambycidae)	Journal of Economic Entomology	<u>山本優一</u> 、 <u>金子修治</u> 、 <u>浦野忠久</u>
11	Wild spat collection from the Pacific oyster Crassostrea gigas (Thunberg, 1793) in Osaka Bay, Japan, using plastic bottles	Sessile Organisms (日本付着生物学会誌)	<u>Noriko Yasuoka</u> , <u>Ryo Nakayama</u> , and <u>Hiroataka Tsuijimura</u>
12	大阪湾初記録のシロアマダイ	Ichthy	<u>木村祐貴</u> 、 <u>木下亮平</u>
13	Predicting Budbreak Dates for 'Delaware' Grape Considering Chilling and Heat Requirements with PhenoFlex	Agricultural and Forest Meteorology	<u>上森真広</u> 、 <u>細見彰洋</u>
14	Modulation of red sea bream Pagrus major gut microbiota composition by feeding diet with black soldier fly Hermetia illucens larvae meal	Aquaculture Science	<u>Takashi Daifuku</u> , <u>Hiroataka Tsuijimura</u> , <u>Hirofumi Hirayasu</u> , <u>Keigo Yamamoto</u> , <u>Tomohiro Sevama</u>
15	大阪湾初記録となるタイワンアイノコイワシ	Ichthy	<u>大美博昭</u> 、 <u>木村祐貴</u>
16	アメリカミズアブ脱脂粉末を含む飼料の長期給餌がトラフグの成長に及ぼす影響	日本水産学会誌	<u>大福高史</u> 、 <u>辻村浩隆</u> 、 <u>平康博章</u> 、 <u>山本圭吾</u> 、 <u>瀬山智博</u>
17	都道府県におけるニホンジカ管理と総合的な対策の重要性	地球環境	<u>幸田良介</u>

(2) 論文 (法人職員が共著者の論文；下線付きが法人職員)

No	論文名	掲載誌	著者
1	Effect of full-fat two insect meals, yellow mealworm (Tenebrio molitor) and black soldier fly (Hermetia illucens) larva, on growth performance of juvenile yellowtail (Seriola quinqueradiata).	Aquaculture Report	<u>Atsushi Ido</u> , <u>Takayuki Takahashi</u> , <u>Chiemi Miura</u> , <u>Hirofumi Hirayasu</u> , <u>Tomohiro Sevama</u> , and <u>Takeshi Miura</u>
2	Timing of fruiting affects the direction of vertical seed dispersal by mammals and birds across mountain ranges	Oecologia	<u>Yoshihiro Tsunamoto</u> , <u>Shinsuke Koike</u> , <u>Ichiro Tayasu</u> , <u>Takashi Masaki</u> , <u>Shuri Kato</u> , <u>Satoshi Kikuchi</u> , <u>Teruyoshi Nagamitsu</u> , <u>Takashi F. Haraguchi</u> , <u>Tomoko Naganuma</u> , and <u>Shoji Naoe</u>
3	Evaluation of Functional Components in Fruits of Paprika (Capsicum annuum L.) under Different Nitrogen Concentrations	The Horticulture Journal	<u>Kazuki Murashima</u> , <u>Ryota Arakawa</u> , <u>Hayato Maruyama</u> , <u>Toshihiro Watanabe</u> and <u>Takuro Shinano</u>

No	論文名	掲載誌	著者
4	Do exchangeable hydrogens affect the evaluation of partial mycoheterotrophy in orchids?: Insights from $\delta^2\text{H}$ analysis in bulk, α -cellulose, and cellulose nitrate samples	New Phytologist	Ryuta Yagi, <u>Takashi F Haraguchi</u> , Ichiro Tayasu, Kenji Suetsugu
5	超音波流速計を用いた底曳網漁業による底泥の巻き上げ量の定量化	日本船舶海洋工学講演会論文集	川上聖矢、新井勲、 <u>秋山諭</u> 、中谷直樹
6	Multipurpose small collaborative robot for smart viticulture: Concept and design	Acta Horticulture	K. Ohyama, T. Tsukamoto, T. Yamamoto, Y. Utsumi, K. Yoshinaga, R. Sakata, S. Tanaka, <u>T. Isoke</u> , <u>Y. Miwa</u> and <u>Y. Suehiro</u>
7	Skeletal Muscle Strengthening Action of Red Beets in the Prevention of Locomotive Syndrome	Journal of Physical Fitness, Nutrition and Immunology	Tetsuya Adachi, Daisuke Nishimura, Toma Yamaguchi, Koki Yoshida, Kazane Kamikado, Ayumi Tsuneishi, Satoko Aoto, <u>Yuichiro Takai</u> , Tetsuro Matsunaga, Koichiro Yasuda, Takanori Ikeda
8	半促成栽培におけるナスの日焼け果発生に及ぼす有機物管理および土壌の理化学的性の影響	農業生産技術管理学会誌	<u>アクリッシュ穂波</u> 、 <u>荒川竜太</u> 、佐野修司、秋本弘太、猪迫耕二、遠藤常嘉、山本定博
9	大阪湾より得られた大阪府初記録のスミツキザメ	Ichthy	岡田智也、 <u>与那覇結衣</u> 、 <u>木村祐貴</u> 、 <u>國島大河</u>

(3) 学会発表 (下線付きが法人職員)

No	発表課題名	学会等名	発表者
1	3次元位置関係を用いたブドウ果粒のマッチング	情報処理学会CVIM 2024年5月研究会	山崎匠真、内海ゆづ子、 <u>三輪由佳</u> 、岩村雅一、黄瀬浩一
2	環境異常事象の原因究明を目的とした化学分析基盤の強化 — 包括分析法・ノンターゲット分析法に関する共同分析の試み (LC/MS) —	環境化学物質合同大会	松神秀徳、家田曜史、伊藤朋子、江川真文、江口哲史、 <u>小野純子</u> 、頭土泰之、竹峰秀祐、永吉晴奈、宮崎悦子、宮脇崇、山本敦史、吉野共広、橋本俊次
3	環境水中の未知汚染物質の同族列を同定するノンターゲット液体クロマトグラフィー/高分解能質量分析法	環境化学物質合同大会	鈴木茂、上堀美知子、長谷川瞳、八木正博、 <u>小野純子</u> 、吉野共広、竹峰秀祐、西野貴裕、長谷川敦子、東島正哉
4	大阪湾における海洋酸性化と溶存酸素環境改善により期待される緩和効果	瀬戸内海研究フォーラムin大阪	<u>秋山諭</u> 、 <u>近藤健</u> 、 <u>中嶋昌紀</u>
5	大阪湾で水揚げされた養殖マガキの成分分析	日本貝類学会令和6年度大会	<u>安岡法子</u> 、 <u>辻村浩隆</u> 、 <u>高井雄一郎</u> 、 <u>和泉慶子</u> 、 <u>神野有子</u>
6	園芸温室内での細霧冷房用スプレーノズルから噴霧される液滴および蒸発残渣粒子の挙動解析と対策	空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	並木則和、武富萌花、前野禪、 <u>和田匡司</u> 、 <u>大石真実</u>
7	大阪府立環境農林水産総合研究所の大阪湾調査において採取された貝類について	日本貝類学会	中山大成、 <u>木村祐貴</u> 、中山凌
8	画像処理による底曳網水中動画における海底ごみ検知の基礎的検討	日本水産工学会学術講演会	宮本隆典、 <u>大妻博昭</u> 、 <u>日下部敬之</u> 、東海 正
9	水田への牛ふん堆肥施用頻度の違いがリン蓄積および形態に及ぼす影響	日本土壌肥料学会2024年度福岡大会	<u>荒川竜太</u> 、 <u>三浦季子</u> 、 <u>アクリッシュ穂波</u> 、内山知二、佐野修司
10	牛ふん堆肥連用試験下の灰色台地土における短期間での水浸透によるタンパク質および微生物の変化	日本土壌肥料学会2024年度福岡大会	佐野修司、西池駿、小宮山伶、 <u>アクリッシュ穂波</u> 、 <u>荒川竜太</u>
11	亜臨界水抽出アントシアニンの安定化機構および発色の温度依存性の解明	日本食品科学工学会第71回大会	<u>新名世実</u> 、園田素啓
12	河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究(4)	第3回環境科学物質合同大会	鈴木剛、古賀智子、朝倉賢、竹下由布子、笠原翔悟、大内康裕、 <u>相子伸之</u> 、梶原文裕、宇智田奈津代、田中厚資、倉持秀敏、大迫政浩
13	河川・海岸砂マイクロプラスチックの物理・化学的評価に基づく汚染実態把握②	第3回環境科学物質合同大会	宇智田奈津代、田中厚資、比嘉元紀、天野敦子、板木拓也、 <u>相子伸之</u> 、高橋勇介、倉持秀敏、大迫政浩、鈴木剛

No	発 表 課 題 名	学 会 等 名	発 表 者
14	窒素施肥量がエダマメ種子のβアミラーゼ活性およびマルトース生成量に及ぼす影響	日本食品科学工学会第71回大会	高井雄一郎、林和真、神野有子、湯ノ谷彰、新名世実
15	LC/MSによる化学物質分析法の基礎的研究(11) 水質試料中のTAM、NDTAM、4OHTAM及びENDOの分析	環境化学討論会	小野純子
16	最終処分場からのポリ塩化ナフタレン（PCNs）の溶出における腐植物質の影響	環境化学物質合同大会（環境化学討論会）	伊藤耕二、河原雄一朗、水谷聡、矢吹芳教
17	調査期間の違いがパッシブサンプリング法による親水性農薬の測定値に及ぼす影響	環境化学物質合同大会（環境化学討論会）	矢吹芳教、伴野有彩
18	VOC由来二次生成有機化合物のサンプリングアーティファクトを考慮した実挙動解析	第41回エアロゾル科学・技術研究討論会	浅川大地、西村理恵、村上綾子
19	大阪府沿岸域および閑空島におけるメバル複合種群の分布状況	2024年度魚類学会	木村祐貴、周藤大樹、村上透馬、富村泰生、新原早紀、豊西和典、葛原裕恒
20	浸出水処理施設における活性炭処理によるPFAS除去率と水質・運転諸因子との関係	第35回廃棄物資源循環学会研究発表会	矢吹芳教、小野純子、足立里菜、伴野有彩、原晃大、伊藤耕二、吉田弦、遠藤和人、松神秀徳
21	自動撮影カメラによる野生動物モニタリングネットワークの構築：大阪での取組状況	日本哺乳類学会2024年度大会	幸田良介、石塚譲、原口岳
22	大阪府における光化学オキシダント生成への寄与に着目したVOCの高時間分解観測	第65回大気環境学会年会	西村理恵、村上綾子、平松まみ、浅川大地、茶谷聡、菅田誠治
23	バッチ試験を用いたPFCA・PFSAの焼却飛灰への吸着量の評価	廃棄物学会	山内佑典、水谷聡、小野純子、伊藤耕二、足立里菜、矢吹芳教
24	焼却飛灰に含まれるPFCA・PFSAの含有量の把握	廃棄物学会	島谷茜、水谷聡、足立里菜、小野純子、伊藤耕二、矢吹芳教
25	焼却飛灰に含まれるPFCA・PFSAの抽出条件の検討	廃棄物学会	島谷茜、水谷聡、足立里菜、小野純子、伊藤耕二、矢吹芳教
26	電気化学的酸化法による廃棄物処分場浸出水に含有するPFOAの分解処理	廃棄物学会	吉田弦、矢吹芳教、小野純子、井戸優人、伴野有彩、原晃大、井原一高
27	奈良県におけるPM2.5中の有機トレーサー（SOA）及びVOCの高時間分解観測	第65回大気環境学会年会	村上友規、久保友佳子、上林政貴、西村理恵、浅川大地、池盛文数、茶谷聡、菅田誠治
28	大阪府域の黄砂現象時における浮遊粉じん中の化学成分調査	第65回大気環境学会年会	野中優衣、西村理恵
29	市街地のアライグマは栄養段階が高い？	日本哺乳類学会2024年度大会	千葉駿、石井秀空、原口岳、幸田良介、栗山武夫
30	大阪府能勢町におけるRESTモデル適用によるアライグマの生息密度推定の試み	日本哺乳類学会2024年度大会	吉岡憲成、幸田良介、石塚譲、原口岳、岸上真子、片石隆斗
31	DGT-パッシブサンプラーに蓄積した重金属等の前処理迅速化の検討	環境科学会2024年会	森育子、矢吹芳教
32	大阪湾においてナミオウオノエの寄生がマルアジに与える影響	2024年度日本魚類学会	國島大河、木村祐貴、川西亮太、倉狩広人
33	長期観測データを活用したブドウ‘デラウェア’の発育予測モデルの開発	令和6年度近畿中国四国農業試験研究推進会議果樹推進部会果樹研究会	上森真広
34	アメリカミズバ脱脂粉末を含む飼料の長期給餌がトラフグの成長と筋肉性状に及ぼす影響	令和6年度日本水産学会秋季大会	大福高史、辻村浩隆、平康博章、山本圭吾、瀬山智博
35	The relationship between the environmental characteristic of urban parks and users' environmental awareness and pro-environmental behavior	The 14th Conference of International Consortium of Landscape and Ecological Engineering ICLEE 2024	Aemi AHN, Juri HORI, Kyohei MATSUSHITA, Ayumi OHARA, Wen WANG, Mariko HANADA, Takashi HARAGUCHI, Kazuya HIRAMATSU, Masami SAKUMA, Kimihito SHIMONO, Katsue FUKAMACHI
36	大阪湾におけるpHの長期変化と環境要因との関係	瀬戸内海水産環境研究集会	秋山諭、近藤健、中嶋昌紀
37	種苗への異なる波長のLED光照射が養殖アカモクの成長に及ぼす影響	令和6年度日本水産学会秋季大会	瀬田智文、久田哲二、川崎優海
38	大阪湾においてボンゴネット調査で採集されたメバル複合種群仔魚	令和6年度資源海洋調査研究会	木村祐貴、大妻博昭
39	ホルモン処理したナスの花数をカウントするスプレーの開発と収量予測	一般社団法人園芸学会令和6年度秋季大会	瀬上修平、大石真実、森川信也、寺井普幸
40	パブリカの開花後日数および果実部位間における遺伝子発現変動と尻腐れとの関係	園芸学会令和6年度秋季大会	荒川章太、アクリッシュ穂波、丸山隼人

No	発 表 課 題 名	学 会 等 名	発 表 者
41	Pseudoidium sp. によるコマツナうどんこ病（新称）	日本植物病理学会 関西支部	田中貴幸、東條元昭
42	中性かつ高温高圧の垂流界水処理によりアントシアニンが安定して抽出できる機構の解明	第6回公益財団法人東洋食品研究所研究成果発表会	新名世実
43	水相バッチサンプリング(PS)とターゲットスクリーニング分析(AIQS-GG/LC)の組み合わせによる有機化学物質の網羅的な測定	日本水環境学会シンポジウム	小野純子、伊藤耕二、原晃大、伴野有彩、矢吹芳教、高見徹、川崎悦子、久保明日香、勝見良太、長野緋音
44	Potential Bioremediation of PFAS using Bacteria isolated from River Sediments	44th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (POP)	Hideyuki Inui, Chisa Tanaka, Miyune Nakamura, Takuya Kakoi, Hiroshi Kameoka, Junko Ono, Yoshinori Yabuki, Yutaka Kobayashi, Shunsuke Azuma, Chisato Matsumura, Takeshi Nakano
45	バッチ試験を用いたPFCAs・PFSAのガラスビーズへの吸着量の評価	環境技術学会 第24次 年次大会	山内佑典、水谷聡、小野純子、伊藤耕二、足立里菜、矢吹芳教
46	Removal of Per- and Polyfluoroalkyl Substances in Landfill Leachates During Activated Carbon Filtration in Commercial-scale Treatment Plants	Dioxin 2024 – 44th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (POPs)	矢吹芳教、小野純子、足立里菜、伴野有彩、原晃大、伊藤耕二、吉田弦、遠藤和人、松神秀徳
47	大阪府南部の海岸における底質の燃焼温度別強熱減量の特徴	令和6年度日本水産学会秋季大会	秋山諭、辻村裕紀、横松宏幸
48	イチジク株枯病真性抵抗性台木‘肋広台1号’に接いだ‘樹井ドーフィン’の幼木時の樹体生育と果実品質	一般社団法人園芸学会令和6年度秋季大会	上森真広、磯部武志、薬師寺博
49	リアルタイムPCR法を用いた貝毒原因プランクトンAlexandrium属のモニタリング	令和6年度日本水産学会秋季大会	辻村裕紀、上田真由美、田中咲絵、秋山諭
50	大阪湾で操業する底びき網における海底ゴミの入網状況と回収効率の推定について	瀬戸内海研究フォーラムin大阪	大美術昭
51	大阪湾の水産資源の動向と新たな漁業の取り組み	第31回2024年度瀬戸内海研究フォーラムin大阪 大阪湾から考える瀬戸内海の将来像	安岡法子、秋山諭
52	相同性が高いS-RNaseをもつセイヨウナシとニホンナシの交雑不適合・和合性	令和6年度 園芸学会近畿支部滋賀大会	田所晃法、安田(高崎)剛志
53	ナスあるいはトマトを台木として接ぎ木したナス苗の初期生育に及ぼす季節の影響	園芸学会近畿支部	山崎基嘉
54	‘難波’ネギから分離した葉鞘部位の赤色系統と白色系統の生育の特徴	園芸学会近畿支部	山崎基嘉、瀬上修平
55	室内環境中の微小粒子の拡散と沈降に関する検討	第61回全国衛生化学技術協議会年会	味村真弓、和田匡司、那須正夫
56	農作物の形状情報取得システムの開発	第25回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2024)	近藤拓也、山屋裕紀、宮崎智子、宮内俊輔、三輪由佳、瀬上修平、大石真実、田所晃法
57	下水処理施設からの放水が周辺海域へ及ぼす影響について	瀬戸内海水産環境研究会	山本圭吾
58	現場海水中の麻痺性貝毒原因藻Alexandrium属に対する寄生物Amoebophrya sp.の増殖抑制効果	日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会2024	緑川祥太郎、山口峰生、山本圭吾、夏池真史、中山奈津子、大越和加、西谷豪
59	「一酸化炭素を食べる」海洋細菌の同所的時間ニッチ分化	令和6年度日本水産学会秋季大会	今浦由就、山本圭吾、神川龍馬、吉田天士
60	(仮) 3D reconstruction of a plant body whose internal structure is not visible from the outside —Aiming to build an Agricultural Simulator for automation tasks—	JSME The 8th International Conference on Advanced Mechatronics (ICAM 2024)	寺井普幸、安川真輔
61	大阪府におけるアカハネオンブバッタの発生消長	農林害虫防除研究会	城塚可奈子
62	大気粉じん中六価クロム化合物における測定誤差の抑制方法の検討について	第51回環境保全・公害防止研究発表会	西村理恵、武田知也
63	農業水路の水環境におけるマイクロプラスチック汚染実態	日本陸水学会第88回大会（熊本）	近藤美麻、相子伸之、田中周平
64	日本各地のデラウェアを用いた試験醸造ワインの特徴（2020～2022年）	日本ブドウワイン学会2024大会	下野雄太、三浦季子、三輪由佳、磯部武志、平松和也、服部あゆみ、小山和哉、後藤奈美
65	沿岸域におけるピコ・ナノ真核藻類の動態と溶藻因子の探索	2024年微生物生態学会	百合岡咲紀、山本圭吾、神川龍馬、吉田天士
66	オルガネラゲノムを用いたピコ真核藻類Picochlorum種内個体群の検出と季節動態の解明	2024年微生物生態学会	佐野奎志郎、松本真生、山本圭吾、神川龍馬

No	発 表 課 題 名	学 会 等 名	発 表 者
67	環境中のPFASに関する概況及び分析・除去技術について	第68回生活と環境全国大会	矢吹芳教
68	近年の大阪湾における南方系ニシン目魚類卵稚仔の出現状況	令和6年度資源海洋調査研究会	大美博昭
69	下水処理施設からの放水が周辺海域へ及ぼす影響について	2024年度水産海洋学会研究発表大会	山本圭吾
70	EFFECTS OF SHADING TREATMENT ON THE GROWTH AND FLOWERING OF PASSION FRUITES GROWN IN OPEN FIELD	日本熱帯農業学会第136回講演会	Yuichiro TAKAI, Kotaro Matsuda and Akira Sekiguchi
71	異なる窒素条件下におけるパブリカ果皮の元素組成と代謝産物の相互関係に関する考察	園芸学会令和6年度秋季大会	村島和基、荒川竜太、丸山隼人、渡部敏裕、信濃卓郎
72	純粋培養菌根菌が難波ネギの収量およびリン吸収に及ぼす影響	2024年度日本土壌肥科学会 関西支部講演会	荒川竜太、佐藤匠
73	排ガス中PFASの採取方法:既知知見のレビュー	第41回エアロゾル科学・技術研究討論会	和田匡司、矢吹芳教、小野純子
74	MS/MSを用いた残留農薬の多成分一斉分析における凍結および未凍結試料のマトリックス効果	第47回農薬残留分析研究会	伴野有彩、矢吹芳教
75	活力・魅力ある都市農業を目指して	第17回川崎国際環境技術展	都市農業DX推進コンソーシアム（日本大学、明治大学、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所、ヤンマーホールディングス株式会社）
76	GABA高含有水ナスペーストの開発	日本食品科学工学会2024年度関西支部大会	新名世実、和泉慶子、北田康介、高井雄一郎、古川真
77	瀬戸内海的重要魚種における卵仔魚の出現状況	令和6年度日本水産学会秋季大会	河野悌昌、渡井幹雄、安田十也、安江尚孝、大美博昭、西川哲也、魚住香織、津行篤士、戸田竜哉、相田聡、内田喜隆、渋谷駿太、堀切保志、恵崎棋、木本翔、澤田晋吾、植田悠太、橋田大輔、三門哲也
78	リン酸過剰蓄積圃場における純粋培養したアーバスキュラー菌根菌の接種効果の探索的解析：難波ネギ栽培におけるリン酸減肥栽培の可能性	菌根研究会2024年度西東京大会	佐藤匠、高梨光法、荒川竜太
79	生息域外保全集団における遺伝的リスクの実態：全ゲノム解析による絶滅危惧魚類の種間比較	2024年度日本魚類学会年会	井戸啓太、大貫溪介、三品達平、田畑諒一、後藤健宏、山本義彦、渡辺勝敏
80	淀川・点野地区に新設されたワンドの魚類群集の変化	応用生態工学会第27回さいたま大会	石田 裕子、山本 義彦
81	大阪府内の暖温帯広葉樹林における幹材積量の推定	第75回応用森林学会大会	土井裕介、石井亘、池口直樹
82	環境水における水道法の農業類一斉分析法の適用可能性の検討	第39回全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部研究会	渡邊育弥、小野純子、伊藤耕二、矢吹芳教
83	大阪湾内の底質による酸素消費速度の水平分布及び季節変動	第59日本水環境学会年会	近藤健、森育子、秋山諭、石井裕一、見島伊織
84	流木対策の効果検証と地上LiDARの有用性評価	第136回日本森林学会大会	土井裕介、石井亘
85	堆肥長期連用水田における土壌炭素量の経年変化	近畿土壌肥料研究協議会 第39回研究会	三浦季子、荒川竜太、アクリッシュ穂波、内山知二、佐野修司
86	淀川ワンドにおけるマイクロプラスチック汚染実態	第59回水環境学会年会	相子伸之、近藤美麻
87	赤潮原因藻ヘテロシグマによる細菌貪食と栄養摂取についての研究	令和6年度漁場環境保全関係研究開発推進会議 赤潮・貝毒部会	福山誠也、小原静夏、隠塚俊満、近藤健、廣田隆一、小池一彦、植木尚子
88	廃棄物埋立処分場の汚泥中のPFAS溶出条件の検討	第40回全国環境研究所交流シンポジウム	足立里菜、小野純子、伊藤耕二、矢吹芳教
89	アメリカミズアブ前蛹の短期間低温処理が羽化や繁殖能力に及ぼす影響	第69回日本応用動物昆虫学会大会	平康博章、笠井浩司、太福高史、谷本秀夫
90	ホウ素中性子捕捉反応を利用したイネの新品種開発（仮称：ロノヒカリ）について	京大複合研第59回学術講演会	木野内忠稔、服部能英、瀬上修平、大庭悠暉、八島浩、五十嵐康人、藤川陽子、切畑光統
91	大阪湾におけるAlexandrium catenella給餌によるマガキ毒化過程の解明	令和6年度日本水産学会近畿支部後期例会	山崎裕真、山本圭吾、安岡法子、横松宏幸、石田正樹
92	昆虫由来ミールを配合した飼料を用いたアユの成長試験	和歌山県水産試験場成果発表会	和歌山県水産試験場内水面試験地、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所、国立研究開発法人水産研究、教育機構水産技術研究所

No	発 表 課 題 名	学 会 等 名	発 表 者
93	外来種クビアカツヤカミキリが侵入・定着しやすい地点の特徴	日本応用動物昆虫学会	山本優一、原口岳、城塚可奈子、弘岡拓人、松久保康輔、裏垣翔野
94	大阪におけるスマート機器を活用した生産現場支援実証とネットワーク形成	都市農業研究所シンポジウム 都市農業を支える技術とコミュニティの実現（レコード番号49）	大石真実、瀬上修平、田所晃汰
95	大阪産（もん）を活用した加工品の製法開発と技術支援	全国食品関係試験研究場所長会 令和6年度第2回定期総会	和泉慶子
96	調合油乳剤および有効薬剤の交互散布による施設キュウリのタバココナジラミの防除	日本応用動物昆虫学会	城塚可奈子、溝手舜
97	水田畦畔におけるダイカンドラのグラウンドカバープランツとしての検討	日本雑草学会第64回大会	岩本百合香、森川信也
98	被覆・塗布資材を用いたクビアカツヤカミキリの産卵および幼虫の食入阻止効果	日本応用動物昆虫学会	溝手舜、山田倫章
99	摘果処理が水ナスつやなし果発生に及ぼす影響	一般社団法人園芸学会令和7年度春季大会	大石真実
100	水ナスを中心とした東アジアナス遺伝資源の果実形質調査と集団構造解析	日本育種学会春季大会第147回講演会	瀬上修平、西村和紗
101	パブリカ果実における空間的要素局在と尻腐れ果発症との関係	園芸学会令和7年度春季大会	荒川竜太、村島和基、渡部敏裕、信濃卓郎、丸山隼人
102	浸出水処理施設における各処理工程でのPFAS除去特性	水環境学会年会	小野純子、足立里菜、伊藤耕二、原晃大、矢吹芳教、松神秀徳
103	多変量解析を用いた浸出水処理施設における活性炭によるPFAS処理特性の解析	水環境学会年会	矢吹芳教、小野純子、原晃大、足立里菜、伴野有彩、伊藤耕二、吉田弦、松神秀徳、遠藤和人
104	Erysiphe cruciferarum によるチンゲンサイおよびミズナうどんこ病（新称）	令和7年度 日本植物病理学会大会	田中貴幸、東條元昭
105	LC-MS/MSを用いた残留農薬一斉分析における試料由来マトリックス効果およびその補正法に関する研究	日本農薬学会	伴野有彩
106	アカモク養殖種苗の脱落低減に向けた検討	令和7年度日本水産学会春季大会	瀬田智文、久田哲二、川崎優海
107	種苗生産時の青色光強化が養殖アカモクの成長に及ぼす影響	日本藻類学会第49回大会	瀬田智文、久田哲二、川崎優海
108	大阪湾におけるメバル複合种群の年齢と成長	第35回魚類生態研究会	村上透馬、國島大河、木村祐貴
109	交雑による養殖ワカメの品質向上に関する取り組み	令和7年度日本水産学会春季大会	山中智之
110	河川水中の農薬分析におけるAIQSデータベース法の定性評価	第59回日本水環境学会年会	伊藤耕二、伴野有彩、原晃大、矢吹芳教
111	アメリカミズアブを含む飼料の給餌がトラフグとヒラメの腸内細菌叢に及ぼす影響	令和7年度日本水産学会春季大会	大福高史、辻村浩隆、平康博章、山本圭吾、瀬山智博
112	ブドウ新品種「ボンタ」（愛称「虹の雫」）の特徴	園芸学会令和7年度春季大会	徳永由佳、田所晃汰
113	水ナスがもつ多汁性遺伝子に関する研究	令和6年度形質転換植物デザイン研究拠点成果報告会	瀬上修平、小泉望、杉本貢一、松倉千昭
114	ブドウ果実の成熟後期における着色特性と内生ABA含量に関する研究	園芸学会令和7年度春季大会	王逸萌、片山礼子、高居恵愛、上森真広、及川彰、石橋美咲、田尾龍太郎
115	健康な葉画像のみを学習に用いたモデルに基づくブドウの葉の病変検出	農業情報学会2024	最明新太、内海ゆづ子、三輪由佳、岩村雅一、大山克己、黄瀬浩一
116	マルチオミックス解析を用いた大阪湾における原核生物感染性ウイルスの日周動態	日本水産学会春季大会	吉田天士、浜名俊輔、山本圭吾、大姜博昭、神川龍馬
117	鼻腔内エアロゾル沈着の重要性とばく露評価手法の検討	第16回大気バイオエアロゾルシンポジウム	山田丸、緒方裕子、和田匡司、加藤伸之
118	攪乱試料および非接触型DO計を用いた簡便法により算出された大阪湾底質の酸素消費速度と従来法による酸素消費速度の比較	第59回日本水環境学会年会併設全国環境研協議会研究集会	森育子、近藤健、上田真由美、秋山諒、矢吹芳教、石井裕一
119	大気監視試料の特性に応じた活用の可能性	大気環境DNA研究会	和田匡司
120	クビアカツヤカミキリの長距離移動分散に影響を及ぼす景観要因の分析	日本生態学会第72回大会	原口岳、石井亘、弘岡拓人、城塚可奈子、山本優一

No	発 表 課 題 名	学 会 等 名	発 表 者
121	シカ密度の増減履歴は林床植生にどのように影響するのか：9年間の広域比較による検証	第72回日本生態学会大会	幸田良介、石塚謙
122	動体検知技術を用いた自動撮影カメラデータ確認作業の省力化―課題と展望―	「地域自然史と保全研究発表会」 関西自然保護機構2025年度大会	幸田良介、石塚謙
123	地上LiDARによる大阪府下スギ・ヒノキ林分の材積検証	地域自然史と保全研究発表会	土井裕介、石井亘、池口直樹
124	イノシシの土壌攪乱の多様性が草原の植物群集にもたらす効果：人工攪乱による模倣実験	第72回日本生態学会大会	梅田悠起、竹内遼、平岩将良、幸田良介、田中健太、早坂大亮
125	園芸温室で使用される細霧冷房用スプレーノズルから噴霧される液滴および蒸発残渣粒子の挙動把握	空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	栗原真人、並木則和、前野禪、和田匡司、大石真実
126	1959-2023年までの淀川におけるブルーギル、オオクチバスの増加	淀川水系チャネルキャットフィッシュ情報交換会	平松和也
127	大阪府における主要病害の感受性検定	日本植物病理学会第34回 殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム	田中貴幸

(4) 出版物

No	タ イ ト ル	掲 載 誌 等	著 者
1	Establishment of a novel mutation breeding using Boron Neutron Capture Reaction (BNCR)	KURNS Progress Report	M. Kirihata, S. Segami, Y. Hattori, T. Kinouchi, Y. Kinashi
2	最終処分場の浸出水に含まれるPFASの分析	『有機フッ素化合物(PFAS)の規制と分析、代替技術』	矢吹芳教、小野純子
3	大阪湾で漁獲されたイヌノシタの逆位個体	Nature Study	山中智之、松井彰子
4	水環境文化賞・みじん子賞の表彰報告	水環境学会誌	矢吹芳教
5	水ナスがもつ多汁性の遺伝学的研究	月刊「アグリバイオ」	瀬上修平
6	ここまで来た 先行侵入種クビアカツヤカミキリの防除法構築	昆虫と自然	山本優二、弘岡拓人
7	コクチバスにカラスガイ族のグロキディウム幼生が寄生	Nature Study	山本義彦、山口翔吾
8	新農薬情報・殺菌剤	現代農業	西岡輝美
9	新農薬情報・殺虫剤	現代農業	日下部敬之、大妻博昭
10	2022年秋季の大阪湾・紀伊水道産チリモンから得られたカタボシイワシ稚魚	Melange (きしわだ自然友の会)	城塚可奈子
11	病害虫の侵入阻止技術	日本農薬学会	矢吹芳教
12	第2章 瀬戸内海の水質と底質 第2節 CODの変化と要因	「きれいで豊かな瀬戸内海」の実現を目指して―瀬戸内海の現状と未来に向けての提言―	城塚可奈子
13	大阪府とその周辺におけるツキノワグマの出没状況	都市と自然 (大阪自然環境保全協会会報誌)	幸田良介
14	アザミウマ類が難防除になる要因とそれを克服する防除法	植物防疫	柴尾学
15	自動撮影カメラで確認された大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター内の哺乳類相	研究所研究報告	石塚謙、幸田良介、岡田紀
16	森林整備手法マニュアルの作成と普及	森林計画研究会会報495号	土井裕介、石井亘、池口直樹
17	森林環境税を活用した強度間伐施業後の土砂移動量評価	公立林業試験研究機関研究成果No. 22 (令和6年度)	土井裕介、石井亘、尾形信行、相子伸之
18	LiNGAM及びPCアルゴリズムによる塩分測定に係る因果探索	研究所研究報告	近藤健、久保文雄
19	第51回環境保全・公害防止研究発表会各座長によるセッション報告 (大気・騒音Ⅰ、気候変動Ⅰ)	季刊「全国環境研究会誌」	西村理恵
20	大阪府域の黄砂粒子の化学成分調査	クリーンテクノロジー	野中優衣
21	大阪府における「あこう(キジハタ)」増殖の取り組み	日本水産学会誌	辻村浩隆
22	西日本のニホンジカによる森林植生への影響	森林生態系の保全管理	幸田良介
23	大阪湾の水温、塩分、及び底層溶存酸素濃度の長期変動について	沿岸海洋研究	近藤健、秋山諭

21【数値目標12】セミナー、展示会、体験会等のイベント主催・共催（実績報告書 p51）

No	主催・共催	関係する他機関	行 事 名	内 容	主な対象者	開催方式	実施日
1	主催	-	iBPFアメリカミズアブ利用技術分科会 第17回	アメリカミズアブの利用を実施もしくは検討している事業者・研究機関からなる会員間での情報交換を行った。	事業者	WEB	2024年5月29日
2	主催	-	iBPFアメリカミズアブ利用技術分科会 第18回	アメリカミズアブの利用を実施もしくは検討している事業者・研究機関からなる会員間での情報交換を行った。	事業者	WEB	2024年8月28日
3	主催	-	iBPFアメリカミズアブ利用技術分科会 第19回	アメリカミズアブの利用を実施もしくは検討している事業者・研究機関からなる会員間での情報交換を行った。	事業者	WEB	2024年11月27日
4	主催	-	iBPFアメリカミズアブ利用技術分科会 第20回	アメリカミズアブの利用を実施もしくは検討している事業者・研究機関からなる会員間での情報交換を行った。	事業者	WEB	2025年2月26日
5	主催	-	MARU収穫祭	地域の農業振興のためのイベント	事業者	現地	2024年11月10日
6	主催	-	オープンキャンパス	オープンキャンパス	一般府民	現地	2025年11月3日
7	主催	-	サポートスタッフ講習会	サポートスタッフ講習会、ガイダンス	一般府民	現地	2024年5月18日
8	主催	-	サポートスタッフ講習会	サポートスタッフ講習会、バッタ調査	一般府民	現地	2024年9月18日
9	主催	-	サポートスタッフ講習会	サポートスタッフ講習会、野鳥・モズのはやにえ観察	一般府民	現地	2025年1月25日
10	主催	-	だいしん環農水研ラボツアー	包括連携協定を締結している大阪信用金庫との共催で、大阪信用金庫顧客の食品事業者等を対象に施設見学会を開催した。	事業者	現地	2024年3月18日
11	主催	-	だいしん環農水研ラボツアー	包括連携協定を締結している大阪信用金庫との共催で、大阪信用金庫顧客の食品事業者等を対象に施設見学会を開催した。	事業者	現地	2024年6月18日
12	主催	-	だいしん環農水研ラボツアー	包括連携協定を締結している大阪信用金庫との共催で、大阪信用金庫顧客の食品事業者等を対象に施設見学会を開催した。	事業者	現地	2024年9月17日
13	主催	-	だいしん環農水研ラボツアー	包括連携協定を締結している大阪信用金庫との共催で、大阪信用金庫顧客の食品事業者等を対象に施設見学会を開催した。	事業者	現地	2024年12月17日
14	主催	-	フリーズドライ食品開発セミナー&公募事業説明会	R7テーマ設定型共同研究事業の事業説明会とテーマのフリーズドライに関する技術研修会	事業者	現地	2025年1月30日
15	主催	-	ふるさと科学捜査班 ～おおさかの犬と水を守るう～	環境モニタリングに係わる分析の体験や、汚染原因や対策に関する自由討論を通じて、身近な環境問題に興味を持ってもらい、将来の環境保全について考察させることを目的とした。	学生	現地	2024年8月5日
16	主催	-	夏休み子ども体験「海の教室」	水産技術センターの仕事体験ができる小中学生向けイベント。調査船「おおさか」に乗船して大阪湾の水質測定、魚の放流や餌やりなどの栽培漁業を体験してもらった。	一般府民	現地	2024年7月27日
17	主催	-	家庭園芸セミナー（第1回）	一般府民に家庭園芸の基本知識を伝えるセミナー 第1回は病虫害対策	一般府民	現地	2024年5月31日
18	主催	-	家庭園芸セミナー（第2回）	一般府民に家庭園芸の基本知識を伝える （第2回テーマは野菜、花の栽培）	一般府民	現地	2024年7月26日
19	主催	-	家庭園芸セミナー（第3回）	一般府民に家庭園芸の基本知識を伝える （第3回テーマは、冬場の果樹管理）	一般府民	現地	2024年11月30日
20	主催	-	家庭園芸セミナー（第5回）	土壌肥料について	一般府民	現地	2025年1月31日
21	主催	-	環農水研シンポジウム2024	大阪ぶどうの魅力について、さまざまな切り口でお伝えした。	一般府民	現地	2024年8月23日
22	主催	-	出張だいしん環農水研ラボツアー	包括連携協定を締結している大阪信用金庫との共催で、大阪信用金庫顧客の食品事業者等を対象に環農水研の食品に関する技術支援制度の説明会を開催した。	事業者	現地	2025年1月16日
23	主催	-	生きものふれあいイベント	生きもの観察や稲刈り	一般府民	現地	2024年9月28日
24	主催	-	農業大学校農業祭	学生が中心となって栽培した農産物の販売を行った。	一般府民	現地	2024年11月16日
25	主催	-	オープンキャンパス	オープンキャンパス	一般府民	現地	2025年8月3日
26	共催	イタセンネット	イタセンネットヌートリア食害調査	二枚貝死貝の調査	一般府民	現地	2024年12月14日
27	共催	イタセンネット	イタセンネットヌートリア食害調査	二枚貝死貝の調査	一般府民	現地	2025年1月11日
28	共催	イタセンネット	イタセンネットヌートリア食害調査	二枚貝死貝の調査	一般府民	現地	2025年2月8日

No	主催・共催	関係する他機関	行 事 名	内 容	主な対象者	開催方式	実施日
29	共催	イタセンネット	イタセンネットヌートリア食害調査	ニ枚貝死員の調査	一般府民	現地	2025年3月9日
30	共催	イタセンネット	イタセンネットワンド整備活動	枯草の除去	一般府民	現地	2025年1月19日
31	共催	イタセンネット	イタセンネットワンド整備活動	枯草の除去	一般府民	現地	2025年2月16日
32	共催	イタセンネット	イタセンネット定例保全活動	外来生物の駆除、ごみ拾い	一般府民	現地	2024年11月10日
33	共催	イタセンネット	イタセンネット定例保全活動	外来生物の駆除、ごみ拾い	一般府民	現地	2024年11月17日
34	共催	イタセンネット	外来魚駆除釣り大会	淀川での外来魚釣り	一般府民	現地	2024年5月11日
35	共催	イタセンネット	大阪自然史フェスティバル	ブース設営および運営	一般府民	現地	2024年11月16日 2024年11月17日
36	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年4月6日
37	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年4月14日
38	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年4月21日
39	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年5月19日
40	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年5月26日
41	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年6月1日
42	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年6月9日
43	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年6月16日
44	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年7月6日
45	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年7月17日
46	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年7月21日
47	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年8月3日
48	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年8月11日
49	共催	イタセンネット	定例保全活動	淀川での魚類調査、ごみ拾い、外来生物駆除	一般府民	現地	2024年8月19日
50	共催	イタセンネット	定例保全活動	外来生物の駆除、ごみ拾い	一般府民	現地	2024年10月5日
51	共催	イタセンネット	定例保全活動	外来生物の駆除、ごみ拾い	一般府民	現地	2024年10月13日
52	共催	イタセンネット	定例保全活動	外来生物の駆除、ごみ拾い	一般府民	現地	2024年10月20日
53	共催	おおさかスマートエネルギーセンター（大阪府・大阪市）、大阪商工会議所、一般財団法人大阪府みどり公社、経済産業省近畿経済産業局、環境省近畿地方環境事務所	令和6年度第1回中小事業者のための省エネ・省CO2セミナー	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素経営への取組みが急速に広がっており、大手企業だけでなく、中小事業者にも脱炭素化を進めていくことが求められています。本セミナーでは、中小事業者の皆様へ脱炭素経営の実践につなげていただくため、カーボンニュートラルの最新動向や国の支援策、中小事業者における省エネの進め方について、取組事例を交えながらわかりやすく紹介した。	事業者	併用	2024年7月12日
54	共催	大阪府	第1回緑化技術研修会	現場で役立つ対策技術を紹介します！クビアカツヤカミキリの生態・被害判定・防除対策	事業者	併用	2025年6月5日
55	共催	大阪府	第2回緑化技術研修会	生き物たちの楽園を創造しよう！生物多様性に配慮した緑地環境づくり	事業者	併用	2025年9月11日
56	共催	大阪府	第3回緑化技術研修会	自然共生サイトの概要と生物多様性センターの取り組み	事業者	WEB	2025年1月9日から
57	共催	株式会社毎日放送	MBS×おおさか環農水研生物多様性センター クビアカツヤカミキリ特別パネル展	おおさか生物多様性リンクに基づく取り組み。 MBSちゃやまらプラザロビーにて、生物多様性やクビアカツヤカミキリに関するパネル、クビアカツヤカミキリなどの標本を展示した。	一般府民	現地	2024年7月19日から9月2日
58	共催	自然観察学習館moricara	親子でチャレンジ！ケモノしらべ隊in万博記念公園	センサーカメラの設置	一般府民	現地	2025年3月29日

No	主催・共催	関係する他機関	行 事 名	内 容	主な対象者	開催方式	実施日
59	共催	主催：NP0法人大阪・ウナギの森植樹実行委員会、共催：（一社）大阪府木材連合会、NP0法人森は海の恋人、NP0法人シニア自然 大学校地球環境自然学講座、森里海を結ぶフォーラム、大阪市漁業協同組合、（一社）全国日本土士会	ウナギの“想い”を探る 大阪シンポジウム	過去に比べて大きく減少しているニホンウナギを取り巻く環境や取り組みについて、大阪の魚類を研究する研究者、ウナギと人とのかかわりを調べる研究者、野生動物を原告とする訴訟についての研究、森を育ててウナギを育てる取り組みなど多様な講演者によるシンポジウム	一般府民	現地	2024年11月22日
60	共催	主催：桜ノ宮ビーチフェスティバル実行委員会（所属団体：（一社）日本ビーチテニス連盟、大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター（一社）アウトドアコミュニケーション、大阪府府民文化都市魅力創造局魅力づくり推進課、都市整備部西大阪治水事務所水都再生課、大阪市都島区役所総務課（政策企画））	桜ノ宮ビーチフェスティバル2024	大阪ふれあいの水辺（大阪市都島区）の桜ノ宮ビーチを会場にした様々な体験ができるイベント。当センターは、大阪ECO動物海洋専門学校と地引網調査体験および水槽展示・魚類解説を担当した。	一般府民	現地	2024年10月26日
61	共催	千里金蘭大学	家庭園芸セミナー（第4回千里金蘭大学）	一般府民に家庭園芸の基本知識を伝える（第4回テーマは切り花の科学）	一般府民	現地	2024年11月30日
62	共催	大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム、大阪府、大阪市、日本ヒートアイランド学会、日本冷凍空調学会、日本建築学会近畿支部、日本機械学会関西支部、空気調和・衛生工学会近畿支部、日本太陽エネルギー学会関西支部、近畿冷凍空調工業会、大阪公立大学	大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム 公開シンポジウム	「夏の暑さ対策と省エネ・カーボンニュートラルについて考える」をテーマに公開シンポジウムを開催し、研究所が事務局として運営した	一般府民	現地	2024年9月4日
63	共催	大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム、大阪府、日本ヒートアイランド学会、おおさか AIG グリーンエコプラザ実行委員会	令和6年度 第1回 ヒートアイランド対策技術セミナー	「ヒートアイランド対策技術を活用したクールスポットの創出と評価」をテーマにしたセミナーを開催し、研究所が事務局として運営を担当した。	一般府民	併用	2024年7月11日
64	共催	大阪公立大学	未来の博士育成ラボ	環境モニタリングに係わる分析の体験を通じて、身近な環境問題に興味を持ってもらう。	学生	現地	2024年8月7日
65	共催	大阪市立自然史博物館	第18回大阪湾セミナー「大阪湾の藻場とブルーカーボン」	近年、藻場のCO2の吸収・貯留機能が注目されており、各地で保全活動や造成が活発に行われてる。本セミナーでは、大阪湾の藻場の現状やそこに棲む生き物、大阪湾農水研・大阪府のこれまでの取組とこれからの藻場に関する取組について講演する。	一般府民	現地	2024年8月1日
66	共催	大阪府	「気候変動と防災」セミナー	先人が災害にどのように対峙してきたかを学び、気候変動時代の防災を考えていただくために、「気候変動と防災」セミナーを開催	一般府民	現地	2025年2月9日
67	共催	大阪府	夏休み子ども見学会「気候変動に備える防災教室」	大阪府と連携し、防災への理解を深めてもらうため、夏休み期間中に子供たちに自然災害への備えに関する府の取組を知ってもらう「防災教室」を開催した。	一般府民	現地	2024年8月8日
68	共催	大阪府	気候変動に備えるための災害時に役立つ子どもクッキング教室	子ども向けの気象災害における適応策の紹介として、電気やガスがないときの節水調理（バッククッキング）の調理実習	一般府民	現地	2024年12月26日
69	共催	大阪府	気候変動適応 普及強化セミナー	近年の猛暑等の気候変動による影響について理解を深めていただき、地域における適応策に役立てていただくため、市町村職員向けの気候変動適応普及強化セミナーを開催した。	行政	現地	2024年10月24日
70	共催	大阪府	教育等の現場で子どもと関わる方のための暑さ対策セミナー	大阪府と連携し、教育や福祉の現場で子どもと関わる方を対象に、子どもの熱中症の予防や応急処置に役立つ「暑さ対策セミナー」を開催した。	教育関係者	併用	2024年5月30日
71	共催	大阪府	高齢者に関わる支援者向け暑さ対策セミナー	大阪府と連携し、高齢者に関わる方を対象に、高齢者の熱中症の予防や応急処置に役立つ「暑さ対策セミナー」を開催した	事業者	併用	2024年5月15日
72	共催	大阪府	日傘普及啓発イベント	イオンモール鉢池町主催の屋外イベント（ウォーターパーク）における来場者への日傘普及啓発イベントの実施	一般府民	現地	2024年8月16日
73	共催	大阪府、関係市町	大阪ぶどうエキスポ2024@ららぽーと堺	・大阪ぶどうを府内外へ効果的にアピール ・虹の雫の展示、試食、香り体験など	一般府民	現地	2024年8月3日
74	共催	大阪府・大阪府漁連	魚底の海づくり大会	大阪湾の環境・漁業振興のためのイベント運営	一般府民	現地	2024年10月27日
75	共催	大阪府種子協会、大阪府	水稻採種事業研修会	関係機関とともに水稻の採種事業における栽培管理や現状の重要なポイントを解説し、今後の管理の参考としてもらうために開催した。	事業者	現地	2024年7月30日
76	共催	大阪府農政室	スマート農業交流会	スマート農業機器の展示、事例紹介	事業者	現地	2024年11月26日
77	共催	大阪府流通対策室、大阪府泉州農の普及課	乾燥農産物づくりの基本とポイント研修会	最新の食品乾燥に関する技術等に関する講義と関連事業者との意見交換の場を設けた。	事業者	現地	2024年8月5日
78	共催	大和ハウス工業株式会社 サステナビリティ統括部 大和リース株式会社 大阪本店	秋の昆虫見つけ隊	昆虫採集	一般府民	現地	2024年10月19日
79	共催	都市農業DX推進コンソーシアム	スマート農業研修会	大阪府普及指導員やJA営農指導員を対象としたスマート農業技術研修	行政	現地	2024年12月26日
80	共催	都市農業DX推進コンソーシアム	都市農業研究所シンポジウム 都市農業を支える技術とコミュニティの実現	事業の成果報告を含めた取り組み内容を紹介し、スマート農業に関心のある人材を増やす。	一般府民	併用	2025年2月28日

22【数値目標13】外部からの講演・講義依頼への対応（実績報告書 p52）

No.	依頼元	依頼元種類	講演会名、講義名等	内 容	主な対象者	実 施 日
1	大阪成蹊大学	学校関係者	大阪産（もん）による食の6次産業化の取り組み	大阪成蹊大学のオープンキャンパスに合わせて開催される講演会にて講演した。	学生	2024年6月23日
2	桜井市立三輪小学校	学校関係者	気候変動適応策に関する研修	小中学校理科教員を対象とした気候変動適応についての研修	教育関係者	2024年8月28日
3	大阪府立富田林高校	学校関係者	探究活動中間発表会	富田林高校では探究活動（研究）を2年間かけて実施している。中間発表会が開催され、内容について指導委員として指摘・コメントをする。	学生	2024年9月5日
4	大阪府立富田林高校	学校関係者	地域フォーラム（探究活動発表会）	富田林高校では探究活動（研究）を2年間かけて実施している。成果発表会が開催され、内容について指導委員として指摘・コメントをする。	学生	2025年2月7日
5	京都工芸繊維大学	学校関係者	京都工芸繊維大学AGORAプロジェクト	共同研究を促進する活動	研究機関	2024年11月19日
6	大阪府立西浦支援学校	学校関係者	農業実習	西浦支援学校生徒への農業実習（果樹、野菜、花）の計10回	学生	2024年4月19日 2024年6月7日 2024年6月10日 2024年7月5日 2024年9月4日 2024年9月13日 2024年10月11日 2024年11月8日 2024年12月20日 2024年12月23日
7	大阪公立大学	学校関係者	作業科学実習	作業療法における園芸の活用についての講義、実習	学生	2024年4月19日 2024年5月10日 2024年5月31日
8	大阪府立富田林中学校	学校関係者	富中サイエンス・雲をつかむような話～PM2.5ってどんなもの～	中学1年生向けに、PM2.5の現状、分析方法、対策について実習も通して体験、学習してもらう。	学生	2024年6月14日 2024年7月1日 2024年7月5日
9	大阪公立大学	学校関係者	2024年度「国際環境学特論」	大学院生を対象とした講義科目「国際環境学特論」での講義	教育関係者	2024年6月27日 2024年7月4日
10	大阪海区漁業調整委員会	行政	第258回大阪海区漁業調整委員会	令和5年度の漁況について説明した	事業者	2024年4月26日
11	大阪府南河内農と緑の総合事務所	行政	林業向けアプリ（LiDAR）操作研修会	iPadに付属のLiDARを活用した「mapry林業」アプリケーションや小型バックパック型森林測量システム「LA03」を用いた毎木調査の使用事例を紹介した。	事業者	2024年5月8日
12	大阪府環境農林水産部環境管理室 事業所指導課 水質指導グループ	行政	令和6年度異常水質対応研修	異常水質における魚類へい死について講演	行政	2024年5月23日
13	貝塚市立自然遊学館	行政	海岸生物の観察会講師	貝塚市立自然遊学館主催の行事「渚の生きもの観察会」において講師を務めた。	一般府民	2024年5月25日
14	大阪市立自然史博物館	行政	テーマ別自然観察会「石柘綱のよいかす」	大阪湾の石柘綱で獲れた漁屑の観察指導	一般府民	2024年6月2日
15	堺市環境共生課	行政	堺市クビアカツヤカミキリ防除講習会	行政関係者および市民に対するクビアカツヤカミキリの防除方法を紹介した。	行政	2024年6月19日
16	大阪府北部農と緑の総合事務	行政	能勢栗振興会総会における研修会	「くり立ち枯れ症」に関する当所の研究調査の成果を報告した。	事業者	2024年6月21日
17	堺市環境共生課	行政	クビアカツヤカミキリ防除対策ワークショップ	舟渡池公園で実際にクビアカツヤカミキリの成虫の駆除を小中学生と実施するとともに、クビアカツヤカミキリの標本づくりを行い、普及啓発を実施した。	一般府民	2024年6月23日
18	大阪市立自然史博物館	行政	大阪の水辺の生き物を考える・環境DNAからみた大阪の淡水魚類相	大阪府内の河川等から環境DNAメタバーコーディング調査によって得られた魚類相データについて紹介した。	一般府民	2024年6月30日
19	岸和田市立きしわだ自然資料館	行政	海の日ラボでのチリモン探し	海の日にちなむイベントで、チリモン探しの講師を務めた。	一般府民	2024年7月15日
20	大阪府農政室推進課病害虫防除グループ	行政	植物防疫協力員研修	水田雑草について講義を行った。	事業者	2024年7月16日
21	大阪府森林支援グループ	行政	令和6年度森林管理等に係るデジタル技術指導会	次世代を担う若手林業従事者を対象に、ICT等の先端技術活用による森林資源情報の活用方法等の研修を行った。	事業者	2024年7月18日
22	岸和田市立きしわだ自然資料館	行政	オンラインでのチリモン探し	きしわだ自然資料館が実施するオンラインチリモン探しの講師を務めた。	一般府民	2024年7月27日

No.	依頼元	依頼元種類	講演会名、講義名等	内 容	主な対象者	実 施 日
23	大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課	行政	省エネルギー診断に関する研修会	依頼課の転入職員に対し、研究所が実施している省エネ診断の内容や省エネのポイント等について研修を行った。	行政	2024年7月30日
24	大阪府北部農と緑の総合事務所	行政	北摂いちご生産者の会研修会	生産者の栽培環境データ等の解析結果を講演した。	一般府民	2024年7月30日
25	草津市立水生植物園みずの森	行政	チリモン探し	草津市立水生植物園みずの森で開催されたチリモン探しの講師を務めた。	一般府民	2024年8月25日
26	大阪府脱炭素・エネルギー政策課	行政	R6第1回おおさかプラスチック対策推進プラットフォーム流出対策分科会	大阪府内の河川におけるマイクロプラスチック調査結果について話題提供	事業者	2024年9月2日
27	大阪府環境保全課	行政	令和6年度令和の里海づくりモデル事業ミーティング	堺南泊地・環境調査結果（令和5年度）について	学生	2024年9月3日
28	岸和田市立消費生活センター	行政	消費生活モニター研修会	岸和田市の消費生活モニターの市民に対し、大阪の漁業と環境変化に関する講義等を行った。	一般府民	2024年9月4日
29	大阪府 事業所指導課	行政	令和6年度 大気中級研修（石綿編）	大阪府からの依頼を受け、市町村の石綿関連業務担当者向けに、石綿の分析に関する講義を行った。	行政	2024年9月19日
30	大阪港湾局	行政	磯浜見学会	小学生を対象にして魚に関する講義を行った。	学生	2024年9月20日
31	茨木土木事務所	行政	水辺の楽校	安威川での生きもの観察	学生	2024年9月24日
32	岸和田市立きしわだ自然資料館	行政	オンラインでのチリモン探し	きしわだ自然資料館が実施するオンラインチリモン探しの講師を務めた。	一般府民	2024年9月28日
33	大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課	行政	R6年度大阪府地球温暖化防止活動推進員就任式	大阪府地球温暖化防止活動推進員への適応に関する講義	一般府民	2024年10月1日
34	茨木市教育センター	行政	土曜科学教室	小学生を対象とした気候変動に係るセミナー	一般府民	2024年10月5日
35	茨木土木事務所	行政	水辺の楽校	安威川での生きもの観察	学生	2024年10月9日
36	茨木土木事務所	行政	水辺の楽校	安威川での生きもの観察	学生	2024年10月16日
37	羽曳野市	行政	羽曳野市ぶどう就農促進協議会教育カリキュラム（農業機械概論）	教育カリキュラム受講者に対して農業機械概論に関する講義を行った。	事業者	2024年10月18日
38	大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課	行政	高齢者福祉施設向け 省エネセミナー	高齢者福祉施設における省エネのポイントについて講演	事業者	2024年10月22日
39	大阪府動物愛護畜産課	行政	令和6年度 北部地域市町クマ対策連絡会議	大阪府及び周辺域におけるツキノワグマの近年の出没状況と生態について解説	行政	2024年10月22日
40	国土交通省近畿地方整備	行政	令和6年度環境技術研修 ワンド現場研修	国土交通省近畿地方整備局職員の年次研修。担当したのは、淀川城北ワンドでの環境保全の調査研究と取組についての紹介をした。併せて地引網、魚類分類の実習も行った。	行政	2024年10月29日
41	岸和田市立きしわだ自然資料館	行政	ミニ実習でのチリモン探し	きしわだ自然資料館が定期的に開催している「ミニ実習」でチリモン探しの講師を務めた。	一般府民	2024年11月3日
42	高槻市市民生活環境部環境政策課	行政	たかつき市民環境大学	生物多様性と里地里山について解説	一般府民	2024年11月7日
43	大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課	行政	省エネ実践セミナーin八尾市	中小事業者の省エネのポイントについて講演	事業者	2024年11月28日
44	兵庫県水産課	行政	大阪湾・播磨灘合同船びき網役員会議	両海域の役員を招集してイカナゴの資源状況について説明を行った。	事業者	2024年11月28日
45	大阪市立自然史博物館	行政	魚の標本をつくってみよう	一般向けの魚類標本作製イベントで講師として参加した。	一般府民	2024年12月8日
46	大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課	行政	省エネ実践セミナーin 枚方市	中小事業者の省エネのポイントについて講演	事業者	2024年12月13日
47	大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課	行政	省エネ実践セミナーin 和泉市	中小事業者の省エネのポイントについて講演	事業者	2024年12月19日
48	岸和田市立きしわだ自然資料館	行政	オンラインでのチリモン探し	きしわだ自然資料館が実施するオンラインチリモン探しの講師を務めた。	一般府民	2025年1月25日
49	堺市地産地消推進協議会	行政	堺市地産地消推進協議会有機農業講義	トマトの有機農業について説明した。	事業者	2025年1月30日
50	環境省環境調査研修所	行政	令和6年度大気分析研修	大気粉じん中の六価クロム化合物の測定について、環境省マニュアルの手順にそって留意事項の解説とともに説明した。	行政	2025年1月31日

No.	依頼元	依頼元種類	講演会名、講義名等	内 容	主な対象者	実 施 日
51	大阪府南河内農と緑の総合事務所	行政	シャインマスカットの糖度上昇に関する研究について	ブドウ生産者が集まるぶどうの会にて、研究所で取り組んでいる研究について講演した。	事業者	2025年1月31日
52	大阪府農政室	行政	令和6年度大阪府スマート農業推進協議会	「栽培環境データの分析について」のタイトルで情報提供を行った。	事業者	2025年2月5日
53	高槻市農林緑政課	行政	クビアカツヤカミキリ対策に係る会議及び現場視察	高槻市のクビアカツヤカミキリ防除効果の検証や今後の対策の検討のための会議に出席し、説明した。	行政	2025年2月6日
54	大阪海区漁業調整委員会	行政	第264回大阪海区漁業調整委員会	今期のイカナゴ仔魚の発生状況について説明した。	行政	2025年2月14日
55	和泉市環境産業部	行政	土壌分析と施肥設計による肥料の効果的な使い方の講習会	土壌分析の重要性と分析結果を基にした施肥設計について	事業者	2025年2月21日
56	大阪府環境保全課環境監視グループ	行政		PM2.5炭素成分の分析方法の解説および捕集用フィルターカットと分析テストの実施	行政	2025年2月28日
57	堺市環境共生課	行政	堺市クビアカツヤカミキリ防除講習会	特定外来生物クビアカツヤカミキリの防除対策について座学および現地実習を行った。	一般府民	2025年3月4日
58	羽曳野市	行政	羽曳野市地球温暖化対策推進本部での講演	気候変動対策について、市幹部職員に向けて講演した。	行政	2025年3月26日
59	大阪府南河内農と緑の総合事務所	行政	かなん桜まつり	クビアカツヤカミキリ対策コーナーにおける啓発講座ツアーの講師を務めた。	一般府民	2025年3月29日
60	大阪市立自然史博物館	行政	やさしい自然かんさつ会「海べのしぜん」	岬町の長崎海岸において磯観察の指導、採取された種の同定、解説等を行った	一般府民	2024年5月25・26日
61	瀬戸内海環境保全知事・市長会議代表幹事	行政	第48回瀬戸内海水環境研会議	大阪湾の水温、塩分、及び底層溶存酸素濃度の長期変動について解析結果を口頭発表した。	一般府民	2024年8月28・29日
62	事業者	事業者	研修会	〇〇社が新規分譲する宅地について、アサギマダラをシンボル種とする生物多様性保全・向上の取り組みを企画しており、その活動に資する情報提供を行った。	事業者	2024年4月19日
63	大阪府漁業協同組合連合会	事業者	組合長会議	漁協組合長の会合	事業者	2024年4月19日
64	大阪府みどり公社	事業者	令和6年度第1回森づくりサポート研修会	府内市町村向けに森林環境譲与税や大阪府CO2吸収量・木材固定量認証制度などの説明及び事例紹介	行政	2024年4月24日
65	J A 大阪市	事業者	水稲高温障害対策について	水稲の高温障害対策についての講義を行った。	事業者	2024年5月8日
66	松下記念病院	事業者	市民講座「熱中症～備えと対策～」	「気候変動とその影響について」のテーマで気候変動への適応について、概要と熱中症について講演をした。	一般府民	2024年5月20日
67	JA大阪中河内ぶどう同好会	事業者	ぶどう高接ぎ講習会	休眠枝を使った高接法の実演	事業者	2024年5月22日
68	菜菜クラブ	事業者	ぶどう高接ぎ講習会	高接ぎや緑枝接ぎの実演	事業者	2024年5月22日
69	豊能花木研究会	事業者	豊能花木研究会定例会	桜の着色調整技術と保存技術について、研究所で実施した実験を紹介した。	事業者	2024年5月31日
70	株式会社毎日放送、近畿大学、吉本興業株式会社	事業者	Warai Mirai Fes 2024 「目指せ日本一のおさかな博士！親子で学ぶめっちゃレアなウナギ講座」	MBSとのおおさか生物多様性リンクに基づく取り組みとしてワークショップの講師として協力。山本義彦が道頓堀川や大阪府内のウナギの生息状況や、耳石の取り出し等について講演し、耳石取り出し実験を指導した。他に近畿大学田中教授よりニホンウナギの完全養殖について講演。	一般府民	2024年6月2日
71	大阪府漁業協同組合連合会	事業者	牡蠣養殖に関する勉強会	牡蠣養殖に関する勉強会	事業者	2024年6月12日
72	関西漬物協会	事業者	関西漬物協会安全衛生講習会	減塩漬物やナトカリ比について講演	事業者	2024年6月18日
73	日本種苗協会近畿ブロック	事業者	日本種苗協会近畿ブロック第8回総会・大阪におけるスマート農業の取り組み	スマート農業に関する最近の動向、ハウス内環境モニタリング、水ナス複合環境制御、スマートグラスの取り組み等について、寺井と大石から紹介した。	事業者	2024年6月20日
74	JA大阪中央会 農業振興サポートセンター	事業者	令和6年度第1回JA営農農政担当部課長会議	野生鳥獣による農業被害アンケート調査について、昨年度結果を紹介するとともに、今年度調査への協力をお願いした。	事業者	2024年6月21日

No.	依頼元	依頼元種類	講演会名、講義名等	内 容	主な対象者	実 施 日
75	株式会社毎日放送	事業者	日曜日の初耳学10周年記念イベント 「未来を創るのは…君でしょ」	MBSとの生物多様性リンクの取組みの一環として実施。 イベント内ステージの「桜の未来を守ろう！いきもの博士と外来種の標本づくり」にて、特定外来生物であるクビアカツヤカミキリと桜の関係や、その標本作成を山本優一主査が講演、解説した。 またブースで2日間にわたり、生物多様性やクビアカツヤカミキリに関するパネルの展示、クビアカ標本作成のワークショップを行った。	一般府民	2024年7月14日
76	JA大阪市技術部会 平野支部	事業者	土壌診断に基づいた土づくり	・土壌診断と分析値の見かた、考え方 ・水稻、野菜における土づくり ・土壌微生物について	一般府民	2024年8月29日
77	株式会社環境管理センター	事業者	全国環境研協議会研究発表会・廃棄物試験検査法部会	大阪府内の河川におけるマイクロプラスチックの実態調査について	研究機関	2024年9月11日
78	奈良県果樹研究会	事業者	大阪府におけるブドウにかかわる最新の研究状況	当所のブドウの高温障害対策に関する研究などを紹介した。	事業者	2024年10月10日
79	八尾えだめ 相互出荷組合	事業者	講習会	令和5年度大阪産農産物魅力向上価値創造事業の成果を報告し、えだめめの高品質化をすすめた。	事業者	2024年10月18日
80	薬局	事業者	薬局職員研修	薬局職員に対して気候変動に関する講義を行った。	事業者	2024年10月22日
81	大阪府果樹振興会	事業者	ぶどう栽培技術講習会	「虹の雫」の栽培技術講習	事業者	2024年11月5日
82	大阪府漁業協同組合連合会	事業者	船びき網部会	今年のシラスの漁獲状況をまとめて情報提供した。	事業者	2024年11月6日
83	日本自然保護協会	事業者	「NACS-J市民カレッジ ◆シリーズ123 里山の生物多様性 「里山で今起きていること」 (オンラインセミナー)」	石井理事長が、「里山の生物学 里山で今起きていること」という内容で、藤田卓氏と講演した。 https://www.nacsj.or.jp/2024/10/42205/	一般府民	2024年11月6日
84	日本環境動物昆虫学会	その他	第36回日本環境動物昆虫学会年次大会シンポジウム	クビアカツヤカミキリによるバラ科樹木の被害：大阪府および周辺地域の現状と対策について	研究機関	2024年11月17日
85	大阪府漁業協同組合連合会	事業者	牡蠣養殖に関する勉強会	貝毒原因プランクトンと貝毒簡易検査について	事業者	2024年11月20日
86	大阪府漁業協同組合連合会	事業者	刺網部会	マコガレイの漁獲状況、海峡状況をまとめて情報提供した。	事業者	2024年12月4日
87	JA大阪中央会 農業振興サポートセンター	事業者	令和6年度第3回JA営農・農政担当部課長説明会	大阪府における野生鳥獣の生息状況と被害状況について紹介した	事業者	2024年12月24日
88	大阪ガスネットワーク株式会社	事業者	防災セミナー	親子向けイベントとして防災セミナー&クッキングを開催した。	一般府民	2025年1月11日
89	柏原市4Hクラブ	事業者	ぶどうの育種技術について	ぶどうの交配方法や育種の考え方について	事業者	2025年1月17日
90	日本自然保護協会	事業者	モニタリングサイト1000里地調査2024年度シンポジウム 身近な里山で何が起きている？～18年の市民調査で分かった里山里山の危機～	里山里山生態系の衰退要因と回復に向けた取り組みと題して、石井理事長が講演した。	一般府民	2025年1月27日
91	全国農業協同組合	事業者	2025年度 全国農業協同組合 近畿地区会議	「大阪府における害虫発生状況とその防除」というタイトルでクビアカツヤカミキリを含め府内で問題となっている害虫を紹介した。	事業者	2025年2月5日
92	全国農業協同組合	事業者	2025年度 全国農業協同組合 近畿地区会議	「コマツナで発生したうどんこ病（新病害）と大阪府の耐性菌問題」という題で、直近の病害問題について紹介した。	事業者	2025年2月5日
93	株式会社 情報機構	事業者	セミナー 魚粉代替飼料開発の最新動向(仮)	魚粉代替飼料としてのアメリカミズアブの特徴と利用事例についての講演	事業者	2025年2月13日
94	大阪府漬物事業協同組合	事業者	大阪府漬物事業協同組合新年講演会	大阪府漬物事業協同組合新年講演会において講演した。	事業者	2025年2月13日
95	大阪府漁連	事業者	令和7年第1回船びき網漁業管理部会	今期のイカナゴ仔魚の出現状況について説明した。	事業者	2025年2月17日
96	淡路東浦水交会船曳部会	事業者	令和7年第1回大阪湾3地区船曳網役員合同会議	今期のイカナゴ仔魚の出現状況について説明した。	事業者	2025年2月17日
97	大阪府果樹振興会	事業者	いちじく栽培技術講習会	いちじく部会活動	事業者	2025年3月14日
98	NPO法人シニア自然大学校	市民団体	「人と自然の講座」	NPO法人が主催する上記講座の講師として、大阪湾と人とのかわりについて講義を行った。	一般府民	2024年5月13日

No.	依頼元	依頼元種類	講演会名、講義名等	内 容	主な対象者	実 施 日
99	NP0おおさか緑と樹木の診断協会	市民団体	第23回樹木医対象講座	特定外来生物クビアカツヤカミキリの生態と防除対策の講義	事業者	2024年5月18日
100	NP0法人地球環境市民会議	市民団体	第31回地球環境市民講座（第2回講座）温暖化で迫る食糧危機！？～農業・水産業への影響と対策～	講演題目「温暖化による大阪の水産業への影響について」について講演	一般府民	2024年6月22日
101	NP0法人地球環境市民会議	市民団体	第31回地球環境市民講座（第3回講座）「温暖化で迫る食糧危機！？～農業・水産業への影響と対策～」	講演題目「温暖化による大阪の農業への影響について」について講演	一般府民	2024年7月3日
102	堺市三原台自治会	市民団体	クビアカツヤカミキリワークショップ	自治会でのクビアカツヤカミキリの防除対策について現地研修を実施した。	一般府民	2024年7月21日
103	NP0法人森林ボランティアアトモロス	市民団体	大阪府立長野高校での講義	おおさか気候変動適応センター作成の適応ハンドブックについて大阪府立長野高校での講義を行った。	教育関係者	2024年9月18日
104	大阪さとり地域協議会	市民団体	令和6年度 里山保全セミナー	里山における野生動物の分布状況について解説	一般府民	2024年12月9日
105	特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会	市民団体	第31回2024年度「瀬戸内海研究フォーラム in 大阪」	瀬戸内海の環境や地域づくり等の発表を通して、瀬戸内海の環境保全の大切さを提唱する。	一般府民	2024年8月28 - 29日
106	（公財）日本自然保護協会、（一財）自然公園財団、経団連自然保護協議会、環境省	その他	自然保護憲章50周年記念シンポジウム ネイチャーポジティブによる社会変革	パネルディスカッションのコーディネータ	研究機関	2024年9月11日
107	公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構	その他	琵琶湖・淀川流域水質保全に関する検討会（第1回）	大阪府内河川におけるマイクロプラスチック実態調査結果について話題提供	研究機関	2024年9月19日
108	水産学会水産増殖懇話会	その他	大阪府における「あこう（キジハタ）」増殖の取り組み	大阪府におけるキジハタの種苗生産、放流技術開発の取り組みと、ブランド化の取り組みについて発表した。	研究機関	2024年9月24日
109	日本哺乳類学会保護管理専門委員会シカ部会	その他	シカによる植生への影響の勉強会	西日本の森林生態系におけるニホンジカによる植生への影響	研究機関	2024年10月29日
110	日本食品科学工学会関西支部	その他	日本食品科学工学会関西支部大会市民フォーラム講演	大阪産（もん）を活用した加工食品の開発等、食品グループの成果について紹介した。	研究機関	2024年11月16日
111	環境化学会関西地区部会 & 水環境学会MS技術研究委員会 共催	その他	剣持堅志先生・奥村為男先生 追悼講演会	元大阪府環境監視センターの奥村為雄先生と元岡山県の剣持堅志先生の追悼公演会	研究機関	2024年12月10日
112	静岡県害虫研究会事務局	その他	令和6年度静岡県静岡県害虫研究会	外来種クビアカツヤカミキリの生態と防除対策について	研究機関	2025年1月24日
113	大阪府漁業振興基金	その他	西日本種苗生産機関連絡協議会場・所長会議	大阪府のキジハタの栽培漁業について	事業者	2025年1月30日
114	全国食品関係試験研究所場所長会	その他	食品試験研究推進会議	令和6年度優良研究・指導業績表彰での受賞記念講演 業績題目「大阪産（もん）を活用した加工品お製法開発と技術支援」	研究機関	2025年2月14日
115	生態学会	その他	生態学会第72回全国大会	日本の里地里山の生物多様性の危機について石井理事長が講演した。	研究機関	2025年3月16日

23 知的財産保有状況（実績報告書 p52）

（１）特許・実用新案

登録済み						
No	特許（発明）の名称 （未公開のものは仮称）	発明者	共有者	出願番号 出願日	公開番号 公開日	登録番号 登録日
1	多孔質材を使用した食品廃棄物からの機能性成分の吸着濃縮方法及びそれを利用した機能性飼料	藤谷泰裕	(株)堀木工所	特願2005-261090 平成17年9月21日	特開2007-68491 平成19年3月22日	第4512541号 平成22年5月14日
2	飛動生物除去装置及び植物保護装置	草刈真一	カゴメ(株) 学校法人近畿大学	特願2006-14135 平成18年1月23日	特開2007-195404 平成19年8月9日	第4771310号 平成23年7月1日
3	水質モニタリング装置	森 達摩 矢吹芳教	(国研)農研機構	特願2006-88648 平成18年3月28日	特開2007-263723 平成19年10月11日	第4817100号 平成23年9月9日
4	水質評価方法および水質評価システム	谷本秀夫 古川 真	大阪大学 エスベックミック(株)	特願2006-227429 平成18年8月24日	特開2008-51621 平成20年3月6日	第4730786号 平成23年4月28日
5	定量灌水による育苗・栽培方法	森川信也	大阪府立大学 エスベックミック(株)	特願2007-12641 平成19年1月23日	特開2008-178307 平成20年8月7日	第5010931号 平成24年6月8日
6	誘電分極を用いた分生子吸着による防カビ方法、飛動生物除去装置、及び植物保護装置	草刈真一	学校法人近畿大学 カゴメ(株)	PCT/JP2007/052562 平成19年2月14日	W02007/094339 平成19年8月23日	第5599564号 平成26年8月22日
7	スギ材を用いた二酸化窒素の浄化方法	辻野喜夫 吉良靖男	大阪府 (有)ホームアイ	特願2007-258160 平成19年10月1日	特開2009-6310 平成21年1月15日	第4759550号 平成23年6月10日
8	飛動可能生物収集兼オゾン発生装置及び植物栽培装置	草刈真一	学校法人近畿大学 カゴメ(株)	特願2007-51756 平成19年3月1日	特開2008-214119 平成20年9月18日	第5216225号 平成25年3月8日
9	発泡散布装置	森川信也	大阪府立大学 有光工業(株) (株)アワフル	特願2008-191342 平成20年7月24日	特開2010-22340 平成22年2月4日	第5358135号 平成25年9月6日
10	発泡装置	森川信也	有光工業(株) 大阪府立大学 (株)アワフル	特願2009-182639 平成21年8月5日	特開2011-31221 平成23年2月17日	第5563792号 平成26年6月20日
11	水耕栽培用パネル	草刈真一 森川信也 嘉悦佳子	トーホー工業(株) 金山化成(株)	特願2011-28970 平成23年2月14日	特開2012-165680 平成24年9月6日	第5699001号 平成27年2月20日
12	容器（切り花バケツ用）	豊原憲子 森川信也	—	特願2013-100239 平成25年5月10日	特開2014-207665 平成26年11月20日	第6168493号 平成29年7月7日
13	複合体、藻抑制装置及び藻抑制方法	草刈真一 森川信也 鈴木真実	トーホー工業(株)	特願2017-207943 平成29年10月27日	—	第6375041号 平成30年7月27日
14	植物体の害虫抑制方法	柴尾 学	静岡県	特願2015-16822 平成27年1月30日	特開2015-171356 平成27年10月1日	第6540944号 令和元年6月21日
15	反芻動物用の経口投与剤およびそれを含む反芻動物用飼料	瀬山智博 平康博章 笠井浩司 藤谷泰裕	森下仁丹(株)	PCT/JP2015/052754 平成27年1月30日	W0/2015/115618 平成27年8月6日	第6617562号 令和元年11月22日
16	花粉粒捕捉装置	草刈真一 岡田清嗣 柴尾 学	アース環境サービス(株) (株)園田製作所 近畿大学	特願2017-135599 平成29年7月11日	特開2019-018115 平成31年2月7日	第6718846号 令和2年6月15日
17	静電殺虫方法及び静電殺虫装置	草刈真一 岡田清嗣 柴尾 学	アース環境サービス(株) (株)園田製作所 近畿大学	特願2018-10186 平成30年1月25日	特開2019-126302 令和元年8月1日	第6796605号 令和2年11月18日
18	ブラズマ殺菌装置	西岡輝美 高井雄一郎 三島朋子	佐賀大学 琉球大学	特願2016-536967 平成28年5月27日	W02016/190436 平成28年12月1日	第6736063号 令和2年7月1日
19	おかわかめを材料とする食品加工物とその製造方法	谷本秀夫 和泉慶子	J A グリーン大阪	特願2016-137130 平成28年7月11日	特開2018-007588 平成30年1月18日	第6871692号 令和3年4月20日
20	防藻方法及び防藻治具	金剛穂波 草刈真一 森川信也	(株)神戸製鋼所 (株)高秋化学	特願2017-234690 平成29年12月6日	特開2019-097524 平成30年6月24日	第6949330号 令和3年9月27日
21	冷凍だし巻き卵及びその製造方法	橘田浩二 和田利美 谷本秀夫 古川 真 舘太加志	株式会社ミレニウムダイニング	特願2018-233730 平成30年12月13日	特開2020-092665 令和2年6月18日	第6931806号 令和3年8月19日
22	果実酒の製造方法および果汁の製造方法	下野雄太	エースシステム株式会社 公立大学法人大阪	特願2021-103178 令和3年6月22日	—	第7016090号 令和4年1月27日

No	特許（発明）の名称 (未公開のものは仮称)	発明者	共有者	出願番号 出願日	公開番号 公開日	登録番号 登録日
23	動物遺体を処理する方法と処理装置	藤谷泰裕	—	特願2018-053000 平成30年3月20日	特開2019-162598 令和元年9月26日	第7054182号 令和4年4月5日
24	振動を用いた樹木害虫の防除法	金子修治 山本優一	森林総合研究所 電気通信大学 東北特殊鋼株式会社 農研機構果樹茶葉研究部門	特願2020-027836 令和2年2月20日	特開2021-129540 令和3年9月9日	第7055959号 令和4年4月11日
25	害虫防除用静電場スクリーン	草刈真一 岡田清嗣 柴尾 学	アース環境サービス(株) (株)園田製作所 学校法人近畿大学	特願2018-10187 平成30年1月25日	特開2019-126302 令和元年8月1日	第7090276号 令和4年6月16日
26	微小粒子状物質捕捉装置	草刈真一 岡田清嗣 柴尾 学	アース環境サービス(株) (株)園田製作所 学校法人近畿大学	特願2017-135600 平成29年7月11日	特開2019-018116 平成31年2月7日	第7146186号 令和4年9月26日
27	栽培装置	森川信也	エスベックミック株式会社	特願2020-089048 令和2年5月21日	特開2021-182876 令和3年12月2日	第7438508号 令和6年2月16日
28	栽培管理道具にカウント機能を付与 する機構（農作業具）	瀬上修平 寺井晋幸 大石真実 三輪由佳 森川信也	—	実願2023-004438 令和5年12月11日	—	実登3245601 令和6年1月31日
29	大量の種子を連続的に殺菌処理する プラズマ殺菌装置	西岡輝美 西村幸芳	タキイ種苗株式会社 佐賀大学	特願2019-224477 令和元年12月12日	特開2021-090687 令和3年6月17日	第7486098号 令和6年5月9日

出願済み						
No	特許（発明）の名称 (未公開のものは仮称)	発明者	共願者	出願番号 出願日	公開番号 公開日	登録番号 登録日H30:H32
1	空気処理装置及びその処理方法	草刈真一 岡田清嗣 柴尾 学	学校法人近畿大学 園田製作所 株式会社トワロン	特願2021-195456 令和3年12月1日	特開2023-081609 令和5年6月13日	出願中
2	昆虫の繁殖方法	瀬山智博 大福高史 笠井浩司	—	特願2022-051704 令和4年3月28日	特開2023-144629 令和5年10月11日	出願中
3	複数の台木を有する接ぎ木苗および その作成方法	山崎基嘉	—	特願2022-152186 令和4年9月26日	特開2024-046857 令和6年4月5日	出願中
4	カレニア属の渦鞭毛藻に寄生する能 力を有するアメーボフリ属の寄生 性渦鞭毛藻	山本圭吾 中嶋昌紀	国立大学法人東北大学	特願2024-521983 令和6年11月5日	W0/2023/224098 令和5年11月23日	出願中
5	カレニア属の渦鞭毛藻に寄生する能 力を有するアメーボフリ属の寄生 性渦鞭毛藻（米国）	山本圭吾 中嶋昌紀	国立大学法人東北大学	18/867132 令和6年11月19日	W0/2023/224098 令和5年11月23日	出願中
6	カレニア属の渦鞭毛藻に寄生する能 力を有するアメーボフリ属の寄生 性渦鞭毛藻（中国）	山本圭吾 中嶋昌紀	国立大学法人東北大学	202380054647.X 令和7年1月17日	W0/2023/224098 令和5年11月23日	出願中

(2) 品種

No	品種名称	出願者名 育成者権者名	共有者	出願番号 出願日	公開日	登録番号 登録日
1	ボンタ(ぶどう)	細見彰洋 磯部武志 古川 真 三輪由佳 林部寿美雄 ほか4名	—	第28922号 平成26年2月13日	平成26年7月14日	第26657号 平成30年3月9日
2	大阪R N-1(ぶどう)	出願者：地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 ほか育成者1名	—	第33762号 平成31年3月5日	令和元年8月30日	第33762号 令和4年3月28日

(3) 商標

No	商標 (未公開のものは仮称)	出願者	共有者	出願番号 出願日		登録番号 登録日
1	ボンタ シードレス	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	—	商願2016-15420 平成28年2月1日	—	第5891324号 平成28年10月28日
2	宝石フィコ	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	—	商願2017-83338 平成29年6月9日	—	第6023298号 平成30年3月2日
3	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 (ロゴマーク含)	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	—	商願2020-140253 令和2年10月30日	—	登録6398603号 令和3年6月7日
4	環農水研	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	—	商願2020-140307 令和2年10月30日	—	登録6401727号 令和3年6月14日
5	古墳水濠酵母	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	—	商願2023-071411 令和5年6月15日	—	登録6757428号 令和5年11月28日
6	虹の雫	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	—	商願2023-084789 令和5年7月31日	—	登録6765675号 令和5年12月25日

(4) 著作権

No	著作物などの題号 (未公開のものは仮称)	著作者	共有者	登録番号 登録日
1	ユリの開花日予測ソフト	豊原憲子	(国研)農研機構 奈良県 兵庫県	P第10267号-1 平成25年6月24日

24 法人職員が受講した研修及び取得した資格（実績報告書 p57）

（１）専門研修等（他機関が実施したもの）

分類	No	研修実施機関	研修制度名	受講人数	期間
環境	1	株式会社日立ハイテク	日立SEM基礎セミナー	2	1日間
	2	Agilent Technology	PFAS分析の最前線Part2 環境土壤中PFAS分析	5	1日間
	3	Milestone—general社	マイクロ波前処理装置 ETHOS UP/EASYの基礎と応用	2	1日間
	4	Sciex	LC-MSの基礎	3	1日間
	5	オルガノ株式会社、JASIS運営事務局	超純水の最新情報とICP-MSにおける要求水質	2	1日間
	6	サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社	Dionex IC技術説明会 2024	1	1日間
	7	ピーエルテック	ピーエルテック・インハウスセミナー	5	1日間
	8	マイルストーンゼネラル株式会社	マイクロ波前処理装置・分解容器のメンテナンス Ver. 2	2	1日間
	9	マイルストーンゼネラル社	マイクロ波試料前処理ウェビナー	2	4日間
	10	メルク株式会社	固相抽出法の基礎を学ぼう！～食品、医薬品、環境分析を例に	1	1日間
	11	メルク株式会社	超純水・純水の最新技術と超純水の使い方のポイント	2	1日間
	12	一般社団法人日本環境化学会 大気環境部会	大気中有害物質の最新研究：揮発性有機化合物、PFAS、マイクロプラスチックの分析と挙動	5	1日間
	13	一般社団法人日本質量分析学会	日本質量分析学会質量分析技術者研究会	1	1日間
	14	一般社団法人廃棄物資源循環学会	資源循環の物理化学セミナー「ガス吸収と化学平衡」	5	1日間
	15	株式会社島津製作所	PFAS ウェビナー 水質編	7	1日間
	16	環境技術学会、大阪公立大学、日本水環境学会関西支部、廃棄物資源循環学会	第24回環境技術学会年次大会	1	1日間
	17	環境研修所	ダイオキシン類環境モニタリング研修	1	5日間
	18	環境再生保全機構	令和6年度熱中症対策研修 地域対面研修	2	1日間
	19	環境省、全国環境研協議会、奈良県	第51回環境保全・公害防止研究発表会	3	1日間
	20	環境省環境調査研修所	水質分析研修 LC-MS/MSを用いたPFOS, PFOA, PFHxSの分析	1	5日間
	21	公益社団法人日本水道協会	令和6年度日本水道協会全国会議	1	2日間
	22	国立環境研究所	環境研究総合推進費【IMF-2301】机上演習会合	2	1日間
	23	国立環境研究所	地環研Ⅱ型-B共同研究「公共用水域における有機-無機化学物質まで拡張した生態リスク評価に向けた研究」全体会合への参加	1	1日間
	24	国立環境研究所	地環研Ⅱ型-B共同研究「災害時等における化学物質の網羅的簡易迅速分析測定法を活用した緊急調査プロトコルの開発」全体会合への参加	1	1日間
	25	国立環境研究所 気候変動適応センター	令和6年度 第1回気候変動適応セミナー「熱中症対策」	3	1日間
	26	国立環境研究所 神奈川県環境科学センター	令和6年度Ⅱ型研究にかかる環境DNAハンズオン講習会	2	3日間
	27	国立環境研究所環境リスク・健康領域、愛媛大学LaMer、日本環境化学会国際企画部会/SETAC Japan	NIES特別セミナー兼第55回LaMer特別講演会	4	1日間
	28	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	農研機構セミナー 規制の動きと超短鎖および揮発性 PFAS	7	1日間
	29	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所	令和6年度漁場環境保全関係研究開発推進会議有害物質研究会	4	1日間
	30	全国環境研協議会 環境生物部会	生物学的調査研究推進のための研修会	3	1日間
	31	総務省 統計研究研修所	令和6年度 データサイエンスセミナー	1	1日間
	32	大気環境学会 中部支部	大気環境学会 中部支部オンライン講演会 大気環境モニタリングはなぜ必要かー科学的知見の重要性ー	5	1日間
	33	大気環境学会関東支部	光化学オキシダントの低減のために～VOC 排出に着目した最近の取組～	5	1日間
	34	大気環境学会近畿支部エアロゾル部会	植物起源揮発性有機化合物（BVOC）の大気への放出とその後	5	1日間
	35	大阪環境測定分析事業者協会、一般社団法人日本環境測定分析協会関西支部	第40回環境問題特別講演会	3	1日間
	36	大阪高圧ガス溶材共同組合	高圧ガス関係事業所 保安研修会	1	1日間
	37	中央労働災害防止協会	化学物質管理者専門的講習	2	2日間

分類	No	研修実施機関	研修制度名	受講人数	期 間
環境	38	独立行政法人環境再生保全機構	令和6年度熱中症対策研修	1	1日間
	39	日東精工アナリテック社	燃焼-IC（イオンクロマトグラフィー）セミナー	3	1日間
	40	日本ヒートアイランド学会	熱中症予防対策に関するシンポジウム	3	1日間
	41	日本ビュッヒ株式会社	真空凍結乾燥 ～真空度を適切に制御できていますか？～	2	1日間
	42	日本環境化学会関西地区部会、水環境学会MS技術研究委員会	剣持堅志先生と奥村為男先生を偲ぶ追悼講演会	3	1日間
	43	日本環境化学会関東地区部会	PFASをめぐる最近の話題-暴露、リスクなどについて	7	1日間
	44	日本水環境学会	第27回日本水環境学会シンポジウム	1	2日間
	45	日本農業学会	残留農薬分析⼊⾨セミナー	1	1日間
	46	日本農業学会、農薬残留分析研究会、農業環境科学研究会	農薬残留分析研究会・農業環境科学研究会合同研究会	2	2日間
	47	農研機構	PFAS食品分析ワークショップ	1	3日間
	48	廃棄物資源循環学会	第35回廃棄物資源循環学会 研究発表会	2	3日間
	49	廃棄物資源循環学会関西支部	第20回廃棄物法制度に関するセミナー	4	1日間
	50	林純薬工業（株）/ アジレント・テクノロジー（株）	HPC/Agilentセミナーウィーク2024	6	4日間
	計			139	
分類	No	研修実施機関	研修制度名	受講人数	期 間
農林・食品	52	食品分析開発センター（SUNATEC）	機能性表示食品制度の最新動向	3	1日間
	53	環境農林水産部農政室推進課	令和6年度大阪府データ駆動型農業指導者研修	2	3日間
	54	日本植物防疫協会内 日本植物病理学会	第18回植物病害診断教育プログラム	1	5日間
	55	一般社団法人日本植物防疫協会	植物防疫技術研修会（基礎）	1	3日間
	56	農林水産省消費・安全局植物防疫課	令和6年度病害虫防除所職員等中央研修	1	4日間
	57	滋賀県、京都府、農林水産省近畿農政局	令和6年度近畿地区技術研修会	1	1日間
	計			9	
分類	No	研修実施機関	研修制度名	受講人数	期 間
水産	58	水産研究・教育機構	卵稚仔同定研修会	2	1日間
	計			2	
分類	No	研修実施機関	研修制度名	受講人数	期 間
※その他	59	農林水産省	令和6年度農林水産関係若手研修者研修	2	2日間
	60	国立研究開発法人科学技術振興機構	技術移転に係わる目利き人材育成プログラム研究推進マネジメントコースアドバンス編	1	1日間
	61	近畿経済産業局	オープンイノベーションによる新事業創造の極意とプロから学ぶ特許情報入門	1	1日間
	62	近畿経済産業局	中小企業にとっての共創の始め方と理解しておきたい知的財産	1	1日間
	63	近畿経済産業局	弁護士が解説 中小企業にとって必要な知的財産紛争の基礎知識	1	1日間
	64	企業会計基準委員会（ASBJ）	リース会計基準の解説セミナー	2	1日間
	65	公益社団法人全国民営職業紹介事業協会	無料職業紹介事業研修会	1	1日間
	計			9	

(2) 一般研修（法人が実施したもの）

No	研 修 名	受講人数	期 間
1	新規採用職員研修（前期1）	21	3日間
2	コンプライアンス研修	19	1日間
3	安全運転講習	19	1日間
4	情報セキュリティ研修	170	4日間
5	薬品管理研修	49	1日間
6	新規採用職員研修（前期2） 3 研究機関合同新採研修	8	1日間
7	研究倫理教育・研究不正防止研修	25	1日間
8	安全衛生研修	105	1日間
9	研究不正防止研修	106	1日間
10	研究不正防止研修（研究インテグリティ・ラボノートについて）	57	1日間
11	予算・会計研修（契約事務について）	60	1日間
12	マネジメント（人事評価）研修	32	1日間
13	EMS研修	122	4日間
14	環境監査員研修	7	1日間
15	管理職研修 3 研究機関合同研修	17	1日間
16	中堅職員研修（オーナーシップ研修）	32	1日間
17	予算・会計研修（契約事務）	60	1日間
計		909	

(3) 法人職員が取得した資格

No	試験等実施機関名	資格の名称	取得人数
1	一般社団法人日本クレーン協会	クレーン運転業務特別教育	1
2	一般社団法人日本クレーン協会	玉掛け技能講習	1
3	一般社団法人消防試験研究センター	危険物取扱者乙4種	1
4	第五管区海上保安本部	工事作業警戒船管理講習	1
5	第五管区海上保安本部	工事作業警戒船業務講習	1
6	コマツ教習所株式会社近畿センター	小型車両系建設機械（整地等3 t 未満）	1

25 目的積立金使途計画及び実績(実績報告書 p62)

項目	金額(千円)								
	R04年度(第3期)			R05年度(第3期)			R06年度(第4期)		
目的積立金額 (①+②+③)	79,029			60,431			74,100		
① 目的積立金等の年度当初の執行可能額(経営努力分)の合計額	28,414			41,298			(32,490)		
② 前年度の決算剰余金のうち目的積立金(経営努力分)として新たに承認された額	50,615			19,133			(20,794)		
③ 会計上の剰余金のうち自己金融効果のあるもの(現金の裏付けができたもの)	—			—			(9,550)		
④ 特定運営費交付金で措置されなかった退職金の代替として特別に次年度以降に使用が認められた金額	—			—			(11,266)		
⑤ 前中期目標期間から繰り越した繰越積立金として新たに承認された額	—			—			74,100		
	内訳	計画	実績	内訳	計画	実績	内訳	計画	実績
調査研究資金	羽曳野サイト								
	純水・超純水製造装置	3,405	3,091	多換体濃縮装置	3,740	3,025	全有機体炭素(TOC)計	7,480	7,238
	ワイン貯蔵室	2,497	2,497	純水・超純水製造装置	3,685	3,256	雨よけぶどう園設置工事	3,857	3,769
	ICP発光分光分析装置	12,870	12,760	イチゴ高設栽培用設備(3棟分)と非破壊糖度(酸度)計	4,568	4,568	教室カメラシステムの導入	1,725	1,689
				ブドウ育種ほ場雨よけ設備	6,828	4,993	凍結乾燥機	1,206	1,059
							HPLC用PC	972	972
							LCワークステーション用PC	711	711
	岬サイト								
	デジタルマイクロスコープ	5,357	5,357	温水ヒーター	2,500	2,489	船外機船	3,200	3,058
	キャピラリーシーケンサー	6,875	6,864	ろ過揚水ポンプ	8,100	6,490			
	寝屋川サイト								
	ウルトラマイクロ天秤(除振台含む)	4,531	3,597	無停電電源装置	3,562	3,120	実体顕微鏡(ニコンシステム実体顕微鏡、ソニービデオカメラ)等	4,212	4,102
	FTIR一式	2,134	2,117						
	自動研磨機	1,671	1,448						
合計		39,340	37,731		32,983	27,941		23,363	22,598

・地方独立行政法人会計基準により、中期目標期間の最終年度における当期末処分利益、目的積立金、前中期目標等期間繰越積立金はいったん積立金に振り替えし、府の承認を受けた金額を次期中期目標期間に繰越【上記④】しており、残りは府に返還している。

※①②③の()の合計金額が④に記載されている。

・上記金額(前中期目標等期間繰越積立金)は、現金以外の会計上の剰余金を除いた金額(現金のみ)を記載している。